

多文化共生に関するアンケート 調査結果

2018年9月 小牧市

目次

○ 調査の概要	P. 3
○ 日本人市民向け調査	P. 5
調査結果	P. 6
＜地域での生活に関する事＞	P. 9
＜小牧市多文化共生推進プランについて＞	P. 12
＜外国人市民との交流に関する事＞	P. 14
＜その他＞	P. 16
調査票	P. 23
○ 外国人市民向け調査	P. 29
調査結果	P. 30
＜生活の情報＞	P. 36
＜言語について＞	P. 43
＜あなたの住んでいる地域での生活＞	P. 53
＜子どもの教育について＞	P. 59
＜保険・医療・福祉＞	P. 61
＜防災・防犯・交通安全＞	P. 66
＜イベントへの参加について＞	P. 69
＜小牧市多文化共生推進プランについて＞	P. 72
＜その他＞	P. 73
調査票（やさしい日本語版）	P. 77

調査の概要

1. 調査の目的

2011年3月に策定した「小牧市多文化共生推進プラン（以下「プラン」といいます。）」の改定に向け、プラン策定時からの市民の意向の変化やプランの認知度を調査し、プラン改訂に向けた現状の整理を行うことを目的として実施しました。

2. 調査方法

区分	日本人市民向け調査	外国人市民向け調査
調査対象者	18歳以上の市内在住 日本人市民	18歳以上の市内在住 外国人市民
抽出方法	無作為	
調査票の配布・回収	郵送配布・郵送回収	
調査期間	2018年3月1日～2018年3月23日	
質問数	最大19（設問数19）	最大57（設問数51）
配布数	1,000	2,000
実配布数（※）	972	1,974
回収数	342	292
回収率	34.2%	14.6%
実回収率	35.2%	14.8%

※実配布数は、配布数から宛所不明等により返送された調査票を除いた数。

3. 図表の見方

- 回答の比率は、その設問の有効回答数を基数（N）として算出しました。
- 回答率（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しました。したがって、合計が100%にならない場合があります。
- 有効回答とした中には、年齢、性別、居住地等の不詳があります。したがって、全体の回答数と属性別の回答数の合計が一致しない場合があります。
- 図表中、「2010年調査」とあるのは2010年2月～3月に実施した「多文化共生アンケート」の調査結果です。

4. 標本誤差

- 本アンケートでは、日本人市民 342 人、外国人市民 292 人から回答結果を得ていますが、これがどの程度の精度を持った回答結果であるのかを示す指標として、「標本誤差」があります。
- 本アンケートにおける標本誤差の範囲は、信頼度を 90%とした場合、次表のように算出されます。基準値からの比較などには、次表を加味してご確認ください。
- 標本誤差の早見表（信頼度 90%）

この表の見方は、例えば日本人市民向け調査で「設問の回答数が 300 人あり、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は 90%の確率で±4.6%以内（55.4%～64.6%）である」とみることができます。

・日本人市民向け調査

回答数	回答比率				
	10%or90%	20%or80%	30%or70%	40%or60%	50%
341 人	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.4%
300 人	±2.8%	±3.8%	±4.3%	±4.6%	±4.7%
250 人	±3.1%	±4.2%	±4.8%	±5.1%	±5.2%
200 人	±3.5%	±4.6%	±5.3%	±5.7%	±5.8%
150 人	±4.0%	±5.4%	±6.2%	±6.6%	±6.7%
100 人	±4.9%	±6.6%	±7.5%	±8.1%	±8.2%
69 人	±5.9%	±7.9%	±9.1%	±9.7%	±9.9%

・外国人市民向け調査

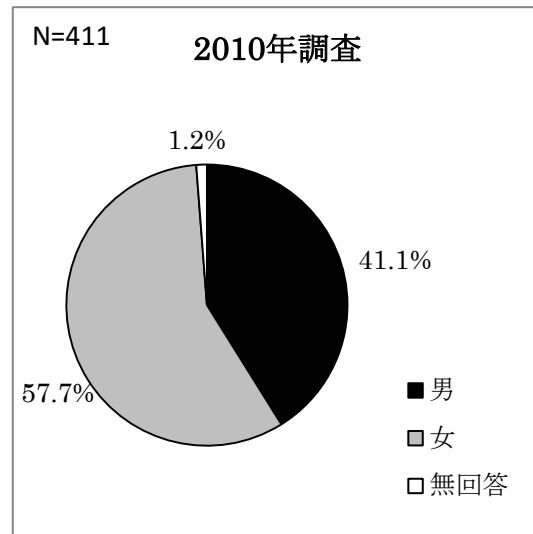
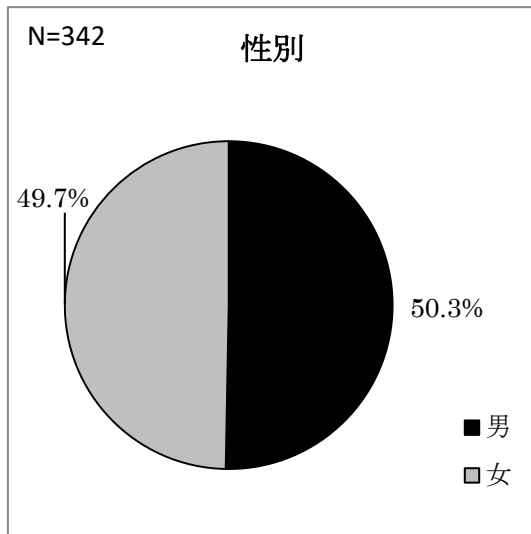
回答数	回答比率				
	10%or90%	20%or80%	30%or70%	40%or60%	50%
292 人	±2.8%	±3.8%	±4.3%	±4.6%	±4.7%
250 人	±3.1%	±4.1%	±4.7%	±5.0%	±5.1%
200 人	±3.4%	±4.6%	±5.3%	±5.6%	±5.7%
150 人	±4.0%	±5.3%	±6.1%	±6.5%	±6.6%
100 人	±4.9%	±6.5%	±7.5%	±8.0%	±8.2%
68 人	±6.0%	±7.9%	±9.1%	±9.7%	±9.9%

日本人市民向け調査

調査結果

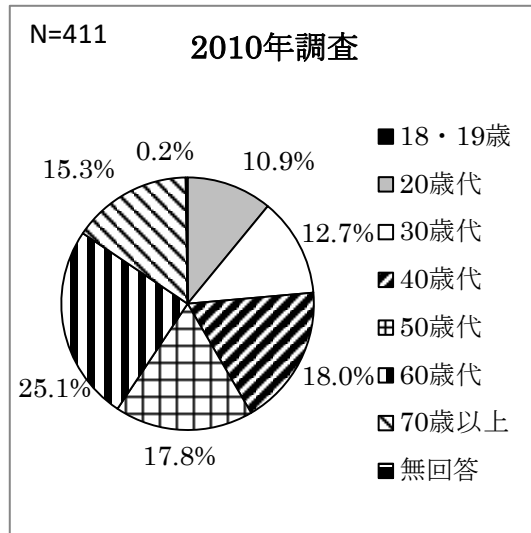
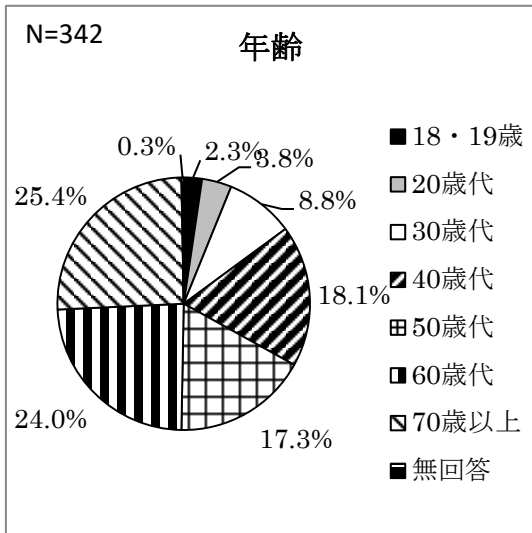
問 1 . 性別

	男	女	無回答	有効計	無効	合計
全体	172	170	0	342	0	342
2010年調査	169	237	5	411	0	411



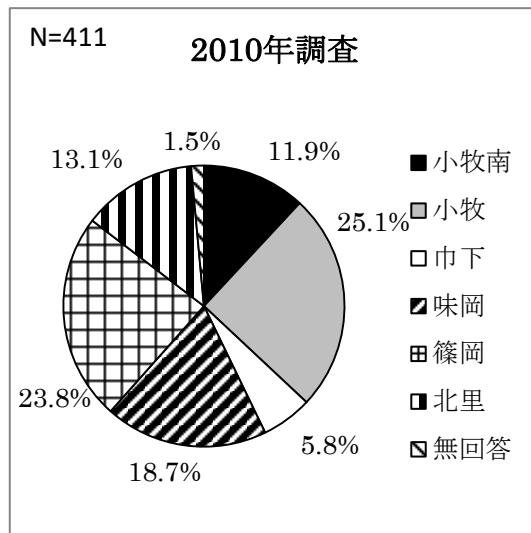
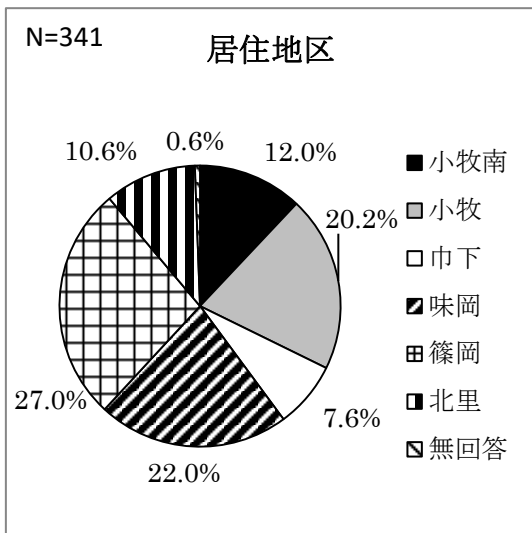
問 2 . 年齢

	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答	有効計	無効	合計
全体	8	13	30	62	59	82	87	1	342	0	342
2010年調査	0	45	52	74	73	103	63	1	411	0	411



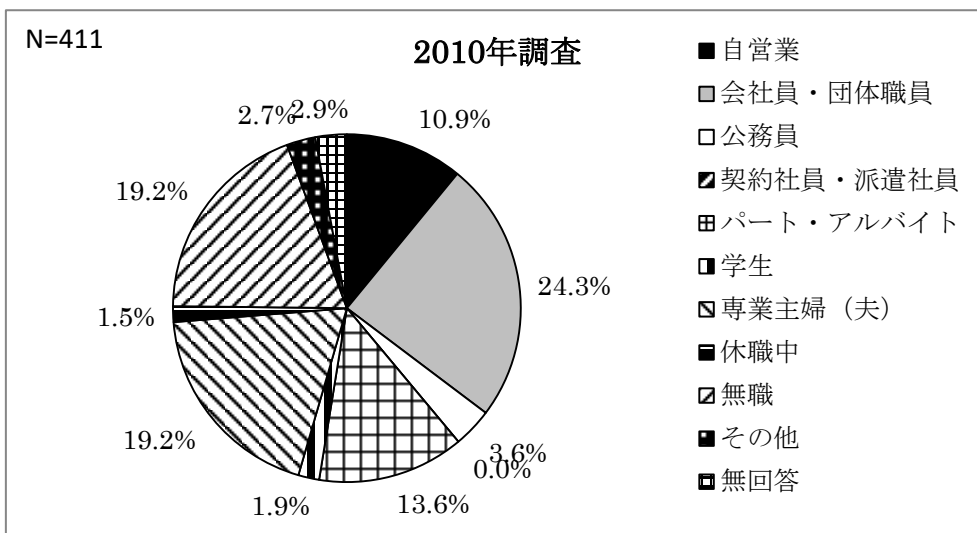
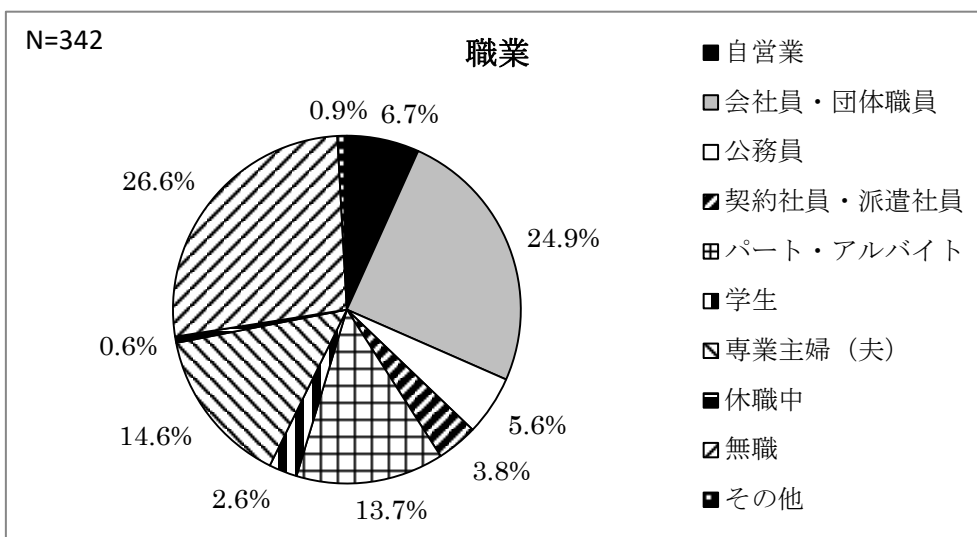
問3. 居住地区

	小牧南	小牧	巾下	味岡	篠岡	北里	無回答	有効計	無効	合計
全体	41	69	26	75	92	36	2	341	1	342
2010年調査	49	103	24	77	98	54	6	411	0	411



問 4 . 職業

	自営業	会社員・団体職員	公務員	契約社員・派遣社員	パート・アルバイト	学生	専業主婦（夫）	休職中	無職	その他	無回答	有効計	無効	合計
全体	23	85	19	13	47	9	50	2	91	3	0	342	0	342
2010年調査	45	100	15	0	56	8	79	6	79	11	12	411	0	411



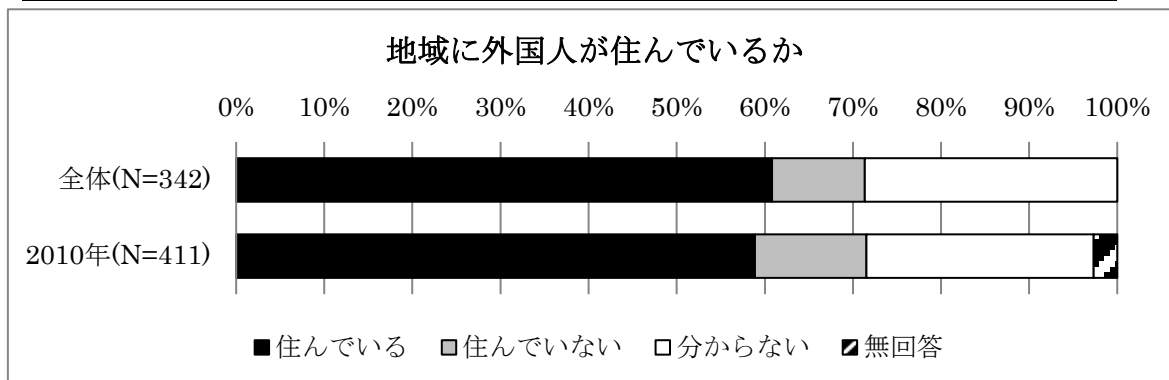
<地域での生活に関すること>

問5. あなたの地域（区・自治会）に外国人市民は住んでいますか。

- ① 住んでいる ② 住んでいない ③ 分からない

6割以上が「住んでいる」と回答。2010年調査と比べ大きな変化はない。

	①	②	③	無回答	有効計	無効	合計
全体	208	36	98	0	342	0	342
2010年調査	242	52	106	11	411	0	411

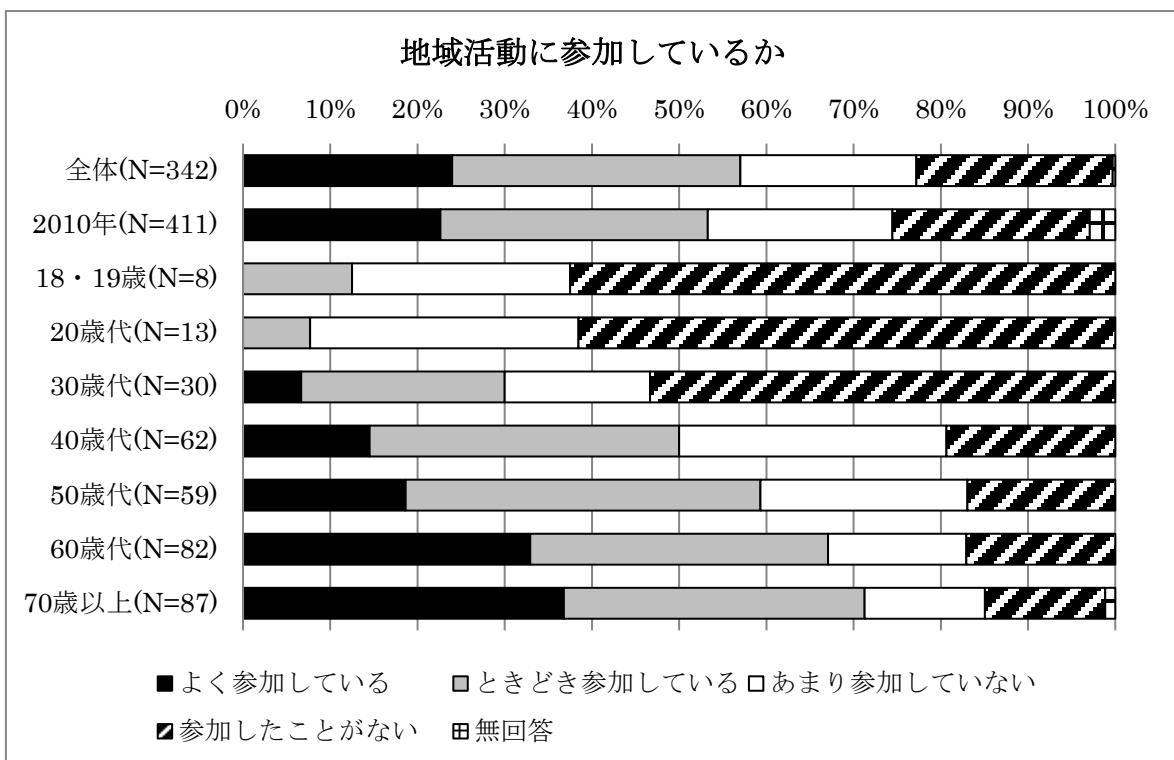


問6. あなたは、自治区（会）活動（住民によるまちの掃除や防犯の活動など）や地域の行事など、地域活動に参加していますか。

- ① よく参加している ② ときどき参加している
 ③ あまり参加していない ④ 参加したことがない

6割近くが「よく参加している」「ときどき参加している」と回答。2010年調査と比べ大きな変化はない。年齢別には、年齢が高くなるほど参加している割合が高くなる傾向がある。

	①	②	③	④	無回答	有効計	無効	合計
全体	82	113	69	77	1	342	0	342
2010年調査	93	126	87	93	12	411	0	411
18・19歳	0	1	2	5	0	8	0	8
20歳代	0	1	4	8	0	13	0	13
30歳代	2	7	5	16	0	30	0	30
40歳代	9	22	19	12	0	62	0	62
50歳代	11	24	14	10	0	59	0	59
60歳代	27	28	13	14	0	82	0	82
70歳代以上	32	30	12	12	1	87	0	87

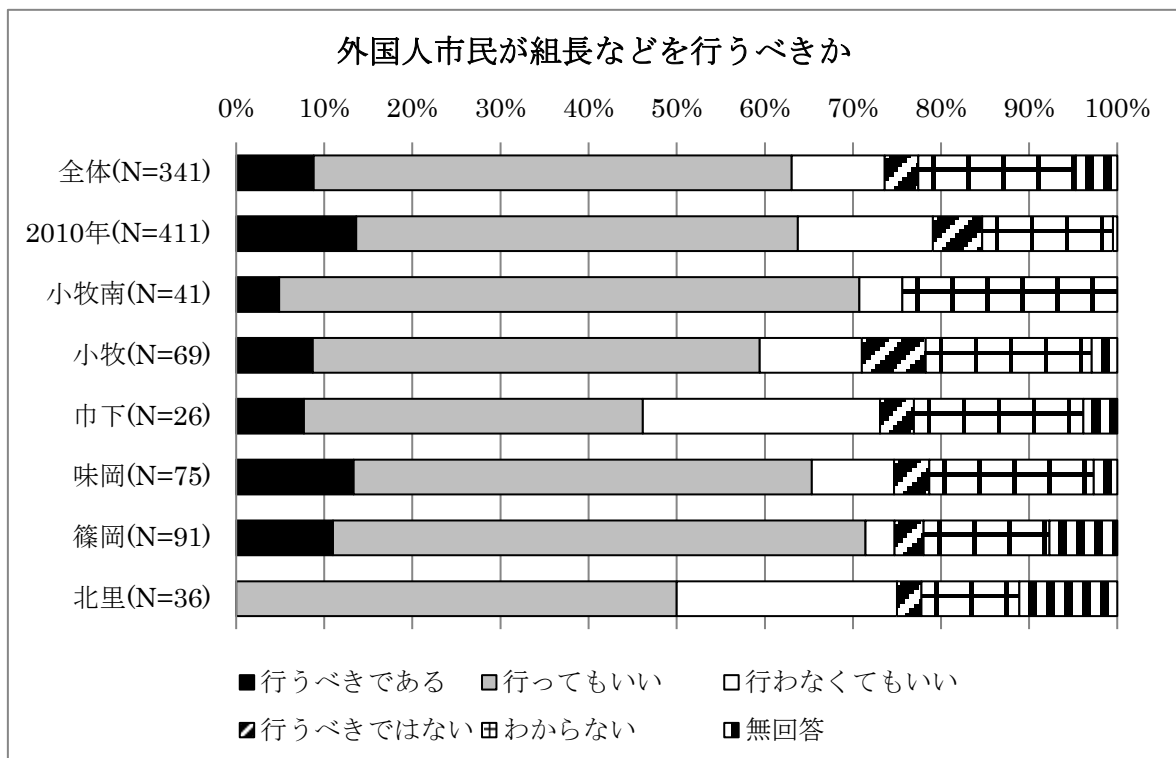


問7. あなたは、区や自治会で、外国人市民が組長や班長などの役割を行うことについてどう思いますか。

- ① 行うべきである ② 行ってもいい
 ③ 行わなくてもいい ④ 行うべきではない ⑤ わからない

「行うべきである」「行ってもいい」との回答が6割を超える。2010年調査と比べ大きな変化はない。居住地区別では、巾下地区と北里地区で「行わなくてもいい」の割合が高い。

		①	②	③	④	⑤	無回答	有効計	無効	合計
全体		30	185	36	13	61	16	341	1	342
2010年調査		56	206	63	23	61	2	411	0	411
居住地区	小牧南	2	27	2	0	10	0	41	0	41
	小牧	6	35	8	5	13	2	69	0	69
	巾下	2	10	7	1	5	1	26	0	26
	味岡	10	39	7	3	14	2	75	0	75
	篠岡	10	55	3	3	13	7	91	1	92
	北里	0	18	9	1	4	4	36	0	36



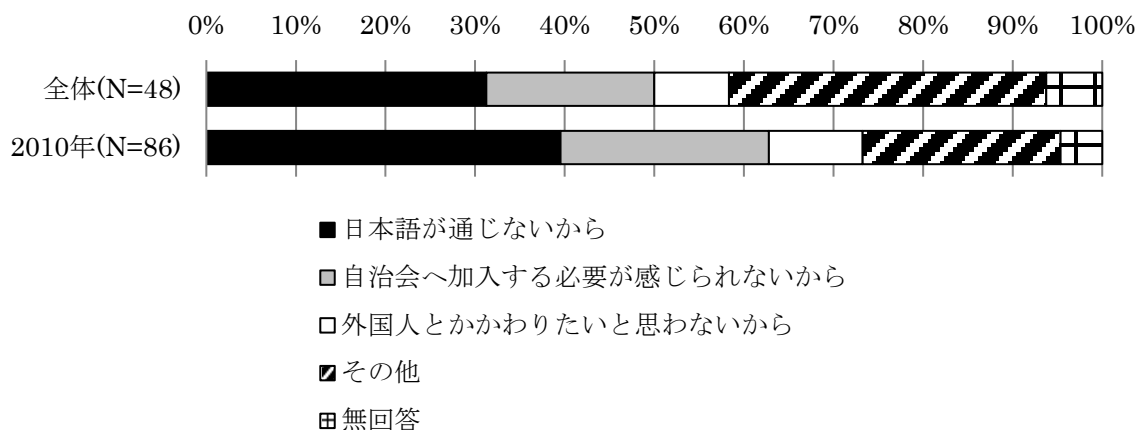
問 8. 理由を教えてください。(問 7 で③か④と回答した人のみ)

- ① 日本語が通じないから ② 自治会へ加入する必要を感じられないから
 ③ 外国人とかかわりたいと思わないから ④ その他

「日本語が通じないから」が最も多く 3 割を超える。

	①	②	③	④	無回答	有効計	無効	合計
全体	15	9	4	17	3	48	1	49
2010 年調査	34	20	9	19	4	86	0	86

外国人市民が組長などを行うべきでない理由



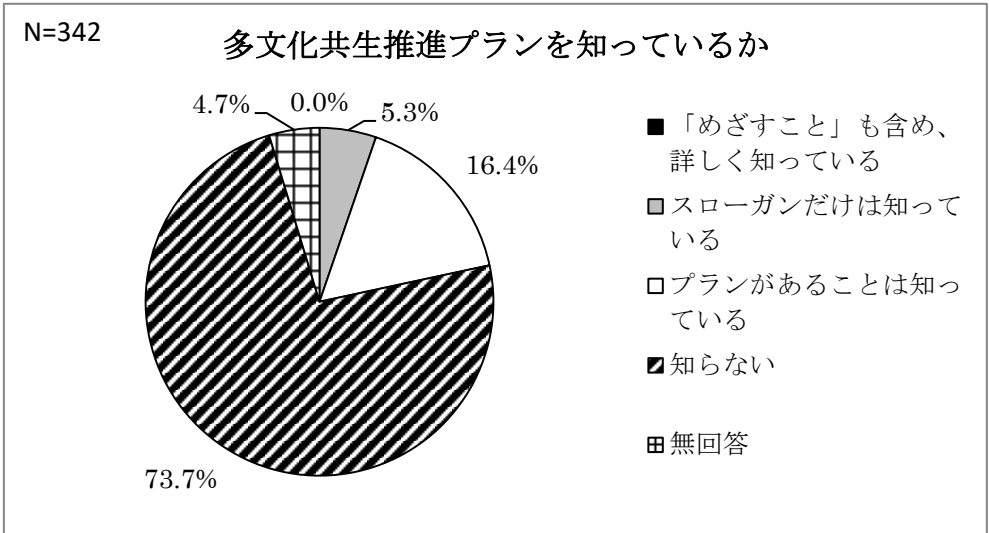
<小牧市多文化共生推進プランについて>

問 9. あなたは、小牧市多文化共生推進プランを知っていますか。

- ① 「めざすこと」も含め、詳しく知っている
 ② スローガンだけは知っている ③ プランがあることは知っている
 ④ 知らない

プランの認知度は 21.7%、知らない人は 7 割以上。「詳しく知っている」との回答はない。

	①	②	③	④	無回答	有効計	無効	合計
全体	0	18	56	252	16	342	0	342

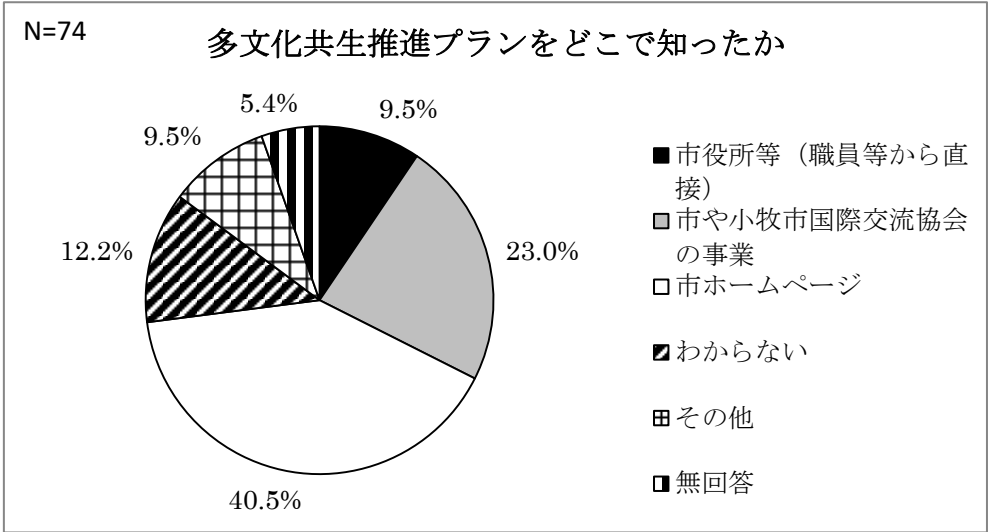


問 10. どこで知りましたか。(問9で①、②、③と回答した人のみ)

- ① 市役所等（職員等から直接）
- ② 市や小牧市国際交流協会の事業
- ③ 市ホームページ
- ④ わからない
- ⑤ その他

市ホームページで知ったとの回答が最も多く4割を超える。

	①	②	③	④	⑤	無回答	有効計	無効	合計
全体	7	17	30	9	7	4	74	0	74



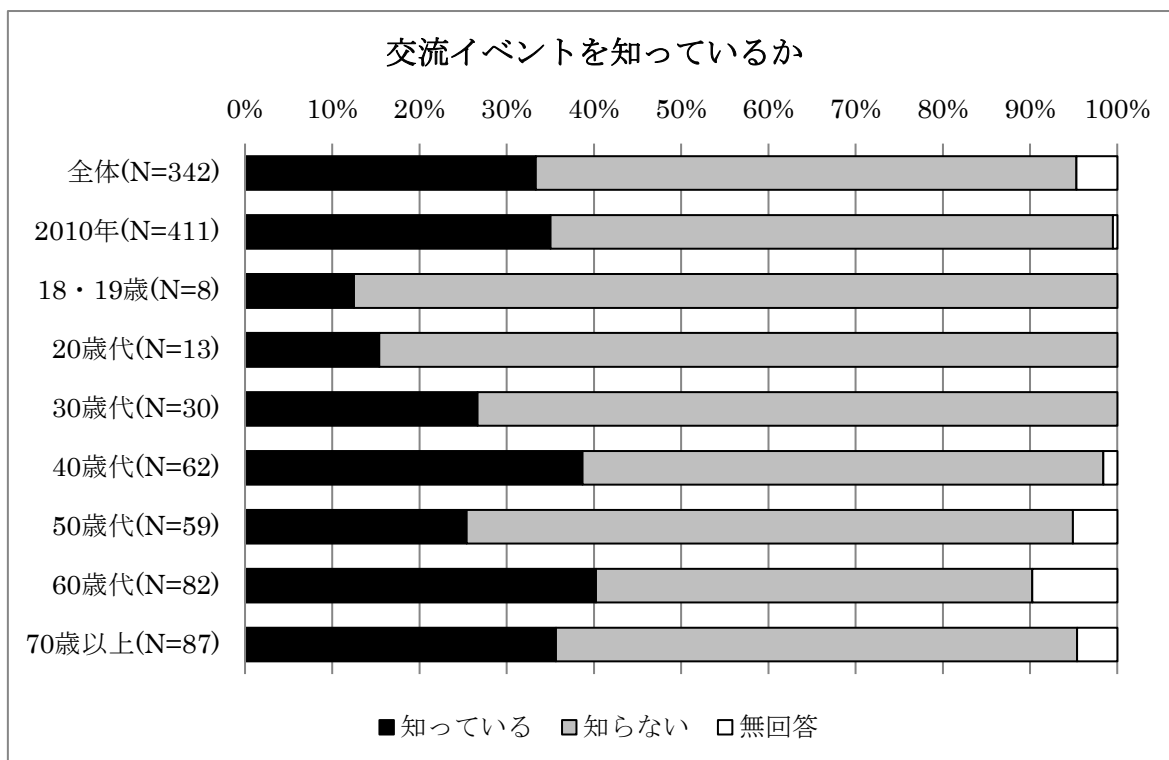
<外国人市民との交流に関すること>

問 1 1. あなたは、小牧市に外国人市民と交流できるイベント（国際交流協会のイベントなど）があることを知っていますか。

① 知っている ② 知らない

「知っている」との回答は全体の 3 分の 1 にとどまる。2010 年調査と比べ大きな変化はない。年齢別では、30 歳未満の層で「知っている」と回答した割合少ない。

		①	②	無回答	有効計	無効	合計
全体		114	212	16	342	0	342
2010 年調査		144	265	2	411	0	411
年齢	18・19 歳	1	7	0	8	0	8
	20 歳代	2	11	0	13	0	13
	30 歳代	8	22	0	30	0	30
	40 歳代	24	37	1	62	0	62
	50 歳代	15	41	3	59	0	59
	60 歳代	33	41	8	82	0	82
	70 歳代以上	31	52	4	87	0	87

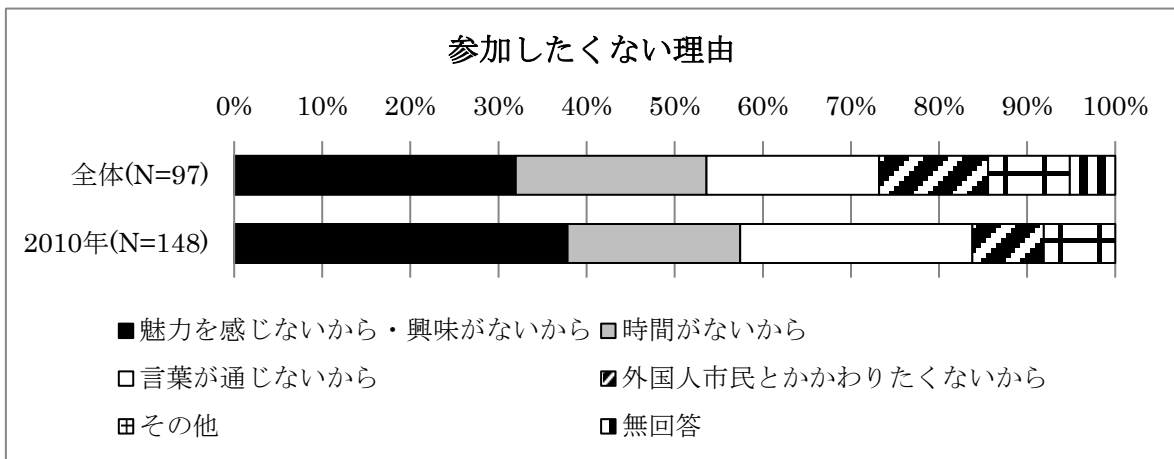


問 1 3. 理由を教えてください。(問 1 2 で③または④と回答した人のみ)

- ① 魅力を感じないから・興味がないから ② 時間がないから
 ③ 言葉が通じないから ④ 外国人市民とかかわりたくないから
 ⑤ その他

「魅力を感じない・興味がない」との回答が 3 割を超え最も多い。2010 年調査と比べ大きな変化はない。

	①	②	③	④	⑤	無回答	有効計	無効	合計
全体	31	21	19	12	9	5	97	3	100
2010 年調査	56	29	39	12	12	0	148	1	149



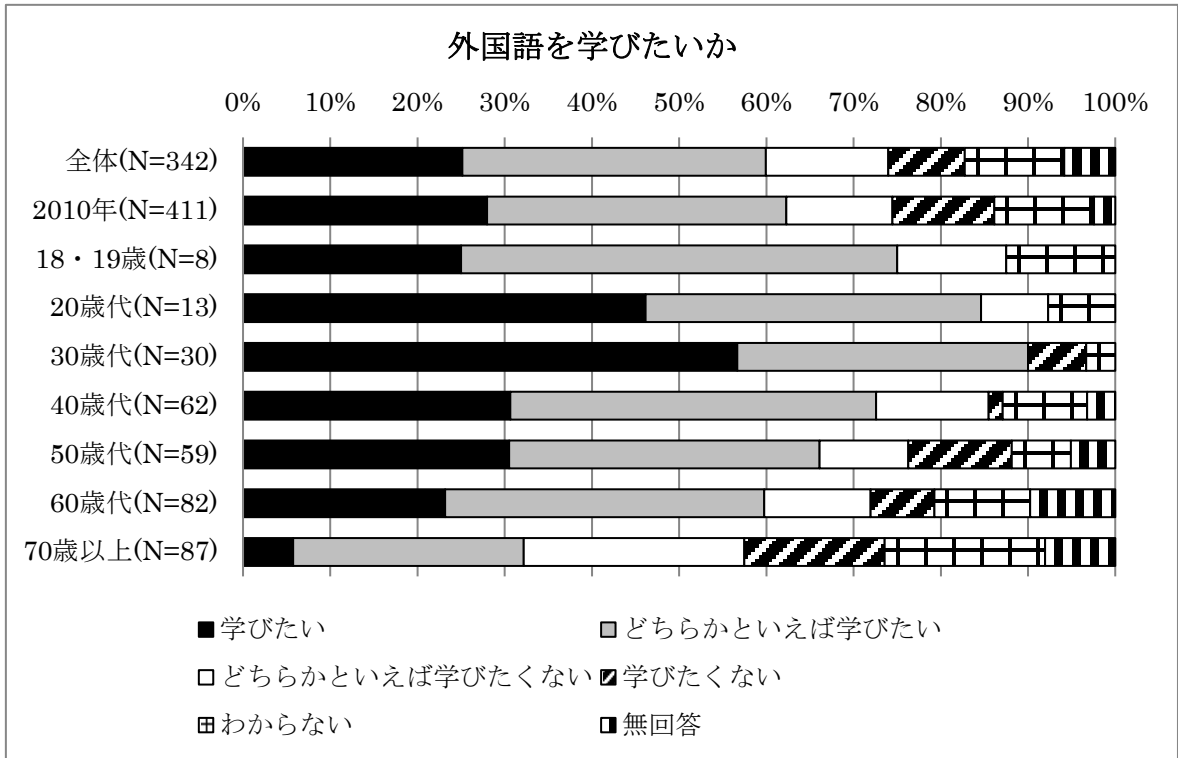
<その他>

問 1 4. あなたは、日本語以外の言語を学びたいと思いますか。

- ① 学びたい ② どちらかといえば学びたい
 ③ どちらかといえば学びたくない ④ 学びたくない
 ⑤ わからない

「学びたい」「どちらかといえば学びたい」との回答が約 6 割。2010 年調査と比べ大きな変化はない。年齢別では、20 歳・30 歳代で「学びたい」「どちらかといえば学びたい」との回答が 8 割を超える。

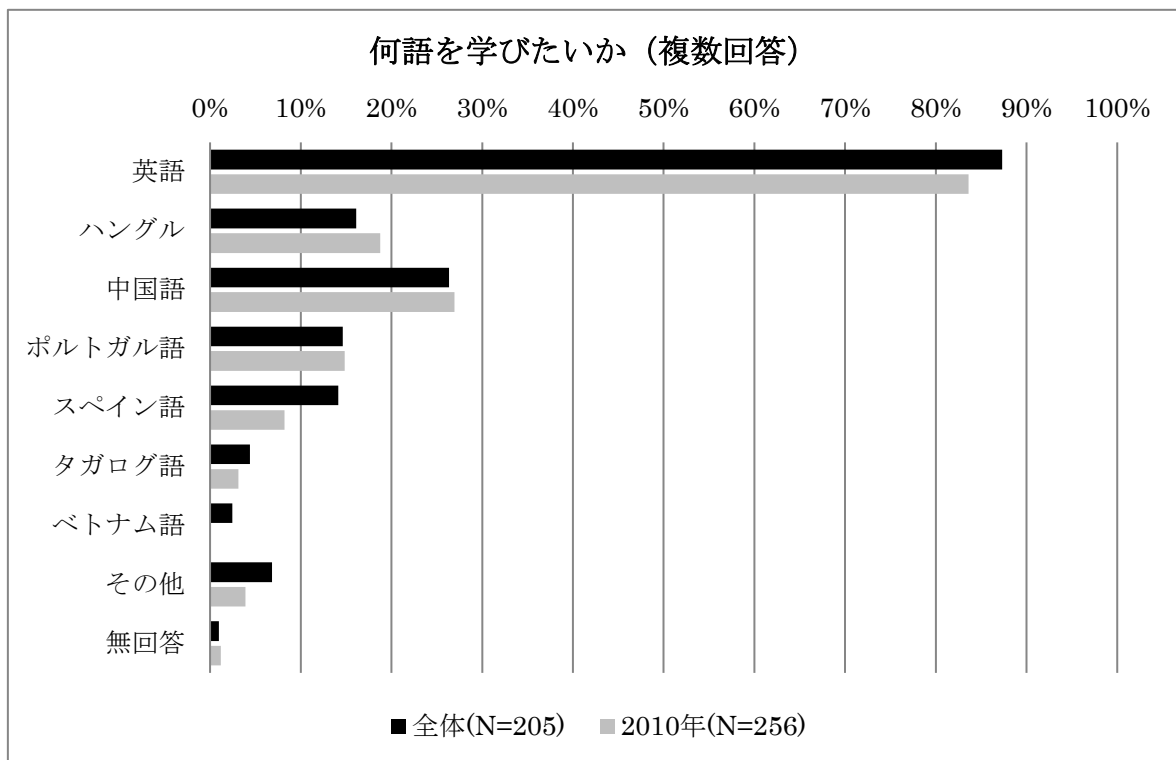
		①	②	③	④	⑤	無回答	有効計	無効	合計
全体		86	119	48	30	39	20	342	0	342
2010年調査		115	141	50	48	47	10	411	0	411
年齢	18・19歳	2	4	1	0	1	0	8	0	8
	20歳代	6	5	1	0	1	0	13	0	13
	30歳代	17	10	0	2	1	0	30	0	30
	40歳代	19	26	8	1	6	2	62	0	62
	50歳代	18	21	6	7	4	3	59	0	59
	60歳代	19	30	10	6	9	8	82	0	82
	70歳代以上	5	23	22	14	16	7	87	0	87



問 1 5 . 何語を学びたいですか。(複数回答)(問 1 4 で①または②と回答した人のみ)

8 割を超える回答者が「英語」と回答している。2010 年調査と比べると、スペイン語が若干増加している。

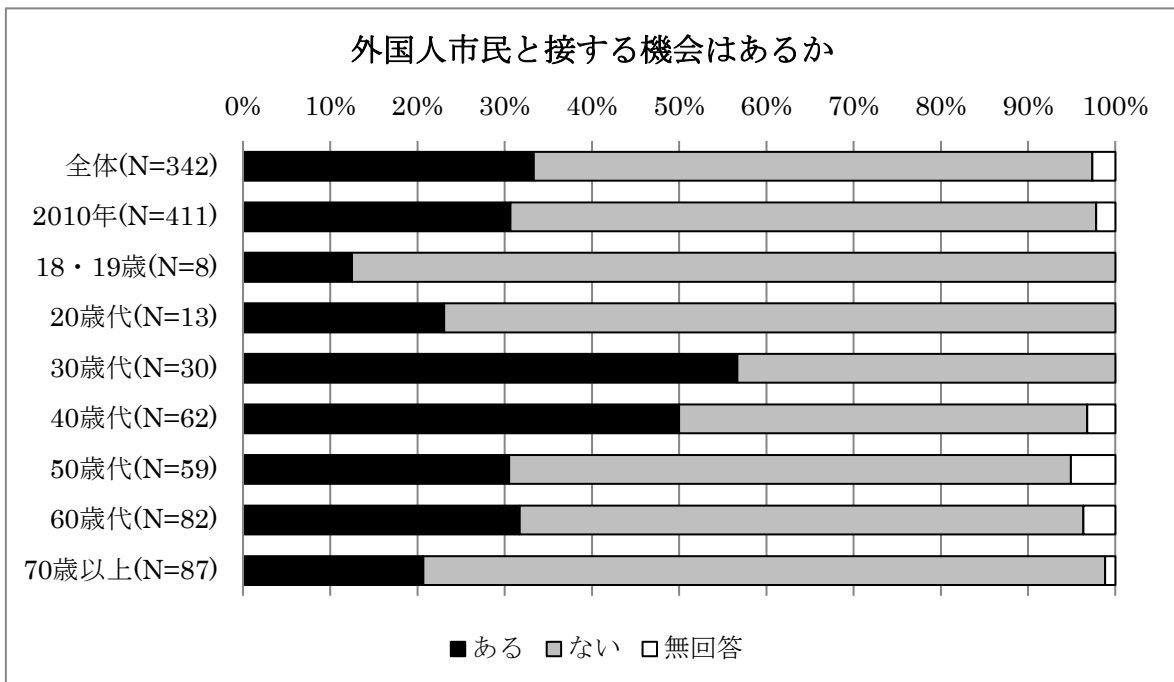
	英語	ハン グル	中国 語	ポ ル ト ガ ル 語	ス ペ イ ン 語	タ ガ ロ グ 語	ベ ト ナ ム 語	そ の 他	無 回 答	有 効 計	回 答 者 数
全体	179	33	54	30	29	9	5	14	2	353	205
2010 年 調査	214	48	69	38	21	8	-	10	3	408	256



問16. あなたは、日常生活で外国人市民と接する機会がありますか。

**「ある」との回答が3割を超える。2010年調査と比べ大きな変化はない。
年齢別では、30歳代及び40歳代で「ある」との回答が5割を超える。**

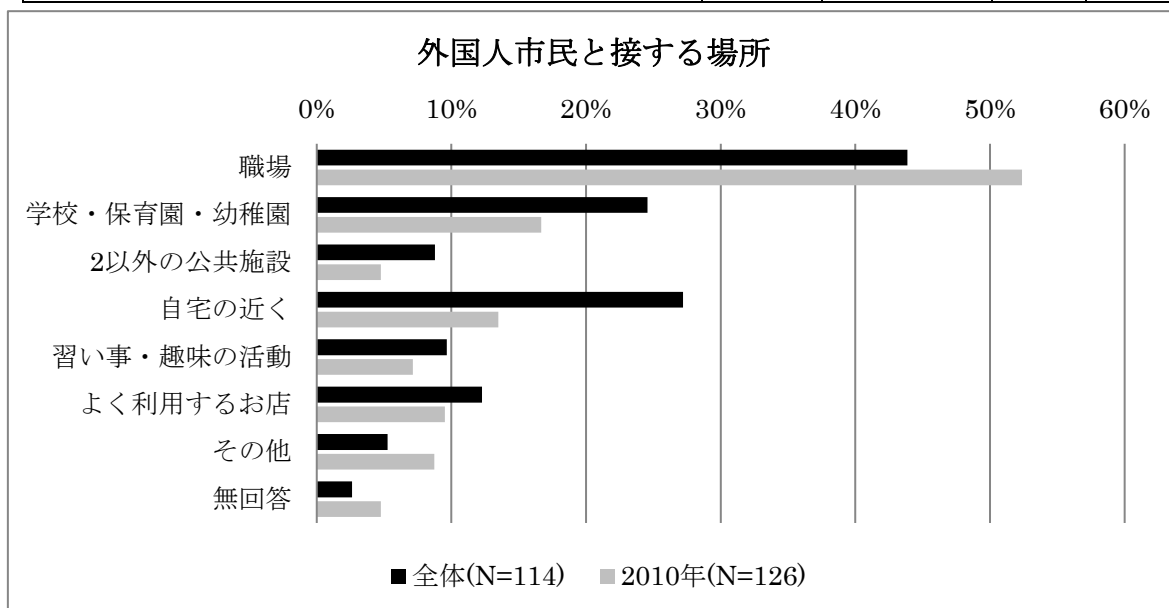
		ある	ない	無回答	有効計	無効	合計
全体		114	219	9	342	0	342
2010年調査		126	276	9	411	0	411
年齢	18・19歳	1	7	0	8	0	8
	20歳代	3	10	0	13	0	13
	30歳代	17	13	0	30	0	30
	40歳代	31	29	2	62	0	62
	50歳代	18	38	3	59	0	59
	60歳代	26	53	3	82	0	82
	70歳代以上	18	68	1	87	0	87

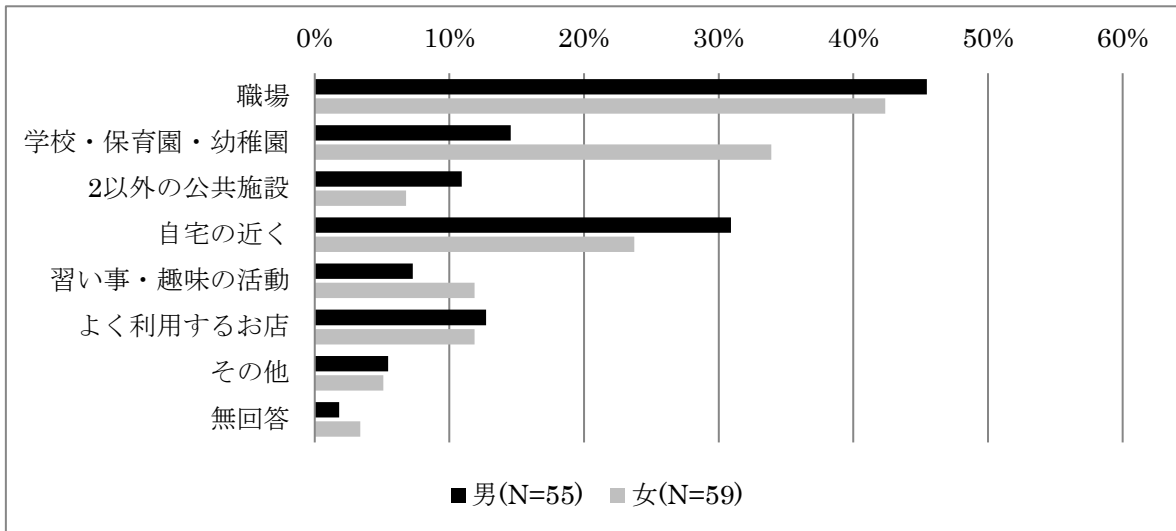


問 1 7 . 外国人市民と接する場所はどこですか。(複数回答)(問 1 6 で①と回答した人のみ)

「職場」が回答者の 4 割を超え最も多く、「自宅の近く」「学校・保育園・幼稚園」と続く。2010 年調査と比べ、「職場」は減少しているが「自宅の近く」「学校・保育園・幼稚園」は増加している。男女別では、女性が「学校・保育園・幼稚園」と回答した割合が多い。

		全体	2010 年 調査	性別	
				男	女
1	職場	50	66	25	25
2	学校・保育園・幼稚園（子どもを通じた交流を含む）	28	21	8	20
3	②以外の公共施設	10	6	6	4
4	自宅の近く（自治会などの集まりを含む）	31	17	17	14
5	習い事・趣味の活動	11	9	4	7
6	よく利用するお店	14	12	7	7
7	その他	6	11	3	3
無回答		3	6	1	2
有効計		150	142	70	80
回答者数		114	126	55	59



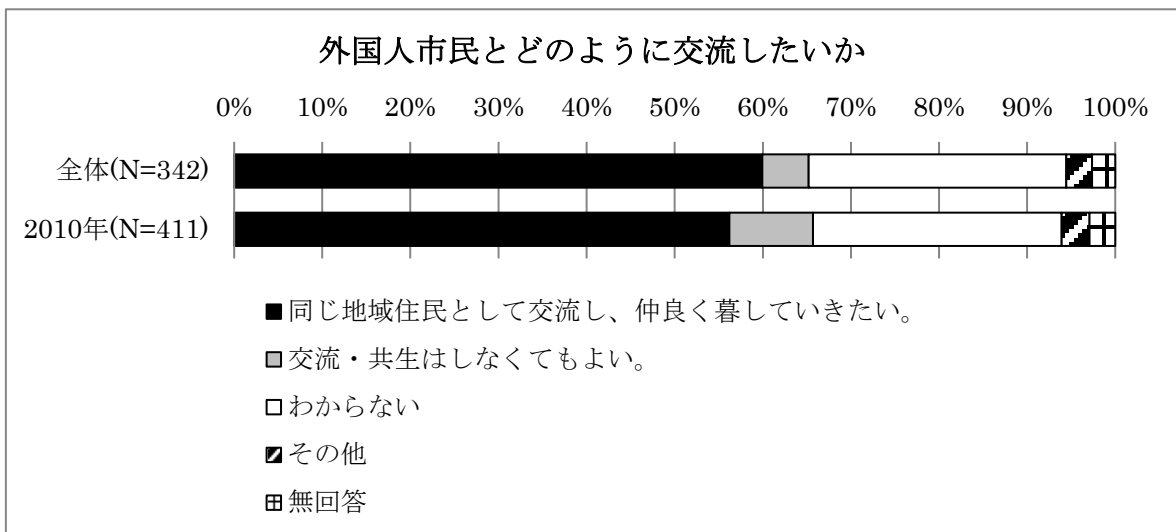


問 18. あなたは、今後、小牧市で外国人市民とどのように交流したいと思いますか。

- ① 同じ地域住民として交流し、仲良く暮していきたい。
 ② 交流・共生はしなくてもよい。 ③ わからない ④ その他

「同じ地域住民として交流し、仲良く暮していきたい。」との回答が 6 割弱。2010 年調査と比べ「交流・共生はしなくてもよい。」と回答した割合が減少している。

	①	②	③	④	無回答	有効計	無効	合計
全体	205	18	100	10	9	342	0	342
2010 年調査	231	39	116	13	12	411	0	411



問 19. あなたは毎日の生活の中で、外国人市民が地域になじみ、彼らと交流・共生していくためには、何か必要だと思いますか。(地域の日本人に必要なこと。外国人に必要なこと。市に必要なこと。市内の企業に必要なこと。など、自由意見をお書きください。)

- ・自由意見については、342人中213人(62.3%)から回答があった。
- ・「交流」に関する意見が最も多かった。その内容として、交流イベントや、地域での行事、あいさつなどを行うべきとの意見が多かった。
- ・「地域の日本人」に対しては、外国人市民に対する理解や思いやりをもつべきとの意見が多かった。
- ・「外国人」に対しては、日本や地域のルール・マナーを知ってほしいとの意見が多かった。その中で、特にゴミの出し方に関する意見が多かった。
- ・「市」に対しては、交流イベントを開催したり、外国人に対して地域のルール等を教えてほしいとの意見が多かった。
- ・「企業」に対しては、雇用している外国人に、日本語や日本に住む上でのルール等を教えてほしいとの意見が多かった。

調査票

多文化共生に関するアンケートのお願い

時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、小牧市では、平成23年3月に「小牧市多文化共生推進プラン（以下「プラン」といいます。）」を策定し、市全体で多文化共生を推進してきました。このプランの策定から5年以上が経っており、今後は、平成31年度に策定予定の「小牧市まちづくり推進計画」にあわせ、プランの改定を行っていく予定です。このため、プラン策定時からの市民の意向の変化やプランの認知度を調査し、プラン改定に向けた現状の整理を行うことを目的に、アンケートを実施いたします。

このアンケートは、18歳以上で小牧市内にお住まいの方から無作為に3,000人（日本人市民1,000人、外国人市民2,000人）に送付しております。なお、ご回答いただいた内容につきましては、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございません。

つきましては、趣旨をご理解いただき、別紙アンケートの回答にご協力をお願いいたします。

平成30年3月 小牧市

アンケートの回答のしかた

- 1 このアンケートが届いたご本人がご記入ください。ただし、ご本人が記入することが難しい場合は、18歳以上のご家族の方がご記入ください。
- 2 各問いの右側にある□（四角）の中に、該当する番号を1つ記入してください。ただし、「複数選択可」と記載されている場合は、該当する番号を全て記入してください。その他を選んだときは、その内容を（____）の中に記入してください。
- 3 アンケートを記入したら、同封の封筒に入れて、**3月23日（金）まで**に郵便ポストに入れてください（切手はいりません）。

【問合せ先】

小牧市 地域活性化営業部 シティプロモーション課 にぎわい創出係
〒485-8650 小牧市堀の内三丁目1番地 電話：0568-76-1173

用語の説明

○多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

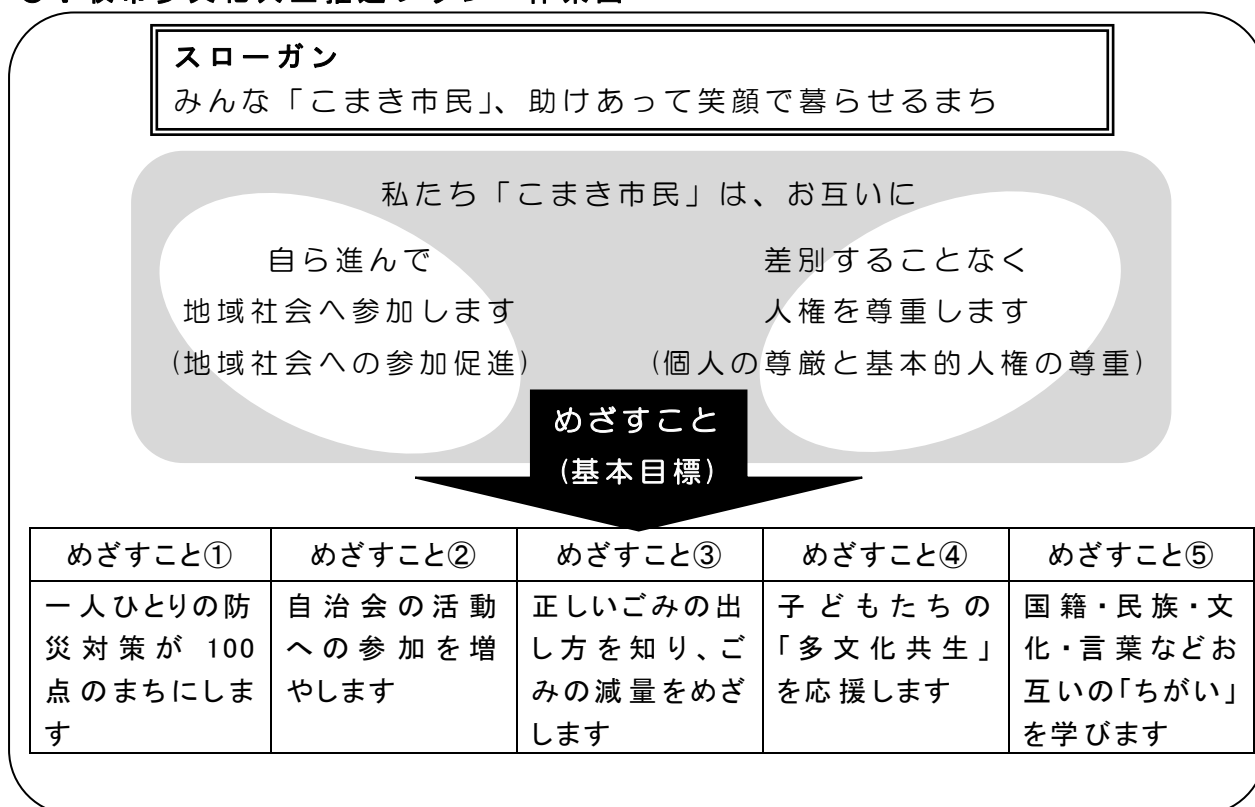
○外国人市民

一般的には外国籍の人を表しますが、当アンケートでは外国にルーツを持つ日本国籍の人も含みます。

○多文化共生推進プラン

平成23年3月に小牧市が外国人雇用に関わる企業や多文化共生に関わる日本人市民、外国人市民などと共に策定したプランです。外国人住民の滞在の長期化や定住化、日本で生まれ育った外国にルーツを持つ子どもの増加などにより、表面化した様々な日常の地域生活の課題を解決するため、行政サービスだけでなく、市民と企業と行政が一体となり、実際に生活をしている地域の目線に立った取り組みを掲げています。「みんな「こまき市民」、助けあって笑顔で暮らせるまち」をスローガンに、下の図のとおり、5つの「めざすこと」を掲げています。

○小牧市多文化共生推進プラン 体系図



多文化共生に関するアンケート

<あなた自身に関すること>

問 1 あなたの性別を教えてください。

- ① 男性 ② 女性

問 2 あなたの年齢を教えてください。

- ① 18・19歳 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代
⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代 ⑦ 70歳以上

問 3 あなたの居住地区を教えてください。(地区が分からない場合は、居住している地区の郵便番号を教えてください。)

- ① 小牧南地区(北外山など) ② 小牧地区(小牧など)
③ 巾下地区(舟津など) ④ 味噌地区(岩崎など)
⑤ 篠岡地区(桃花台など) ⑥ 北里地区(藤島など)

問 4 あなたの職業を教えてください。

- ① 自営業 ② 会社員・団体職員 ③ 公務員
④ 契約社員・派遣社員 ⑤ パート・アルバイト ⑥ 学生
⑦ 専業主婦(夫) ⑧ 休職中 ⑨ 無職
⑩ その他(_____)

<地域での生活に関すること>

問 5 あなたの地域(区・自治会)に外国人市民は住んでいますか。

- ① 住んでいる ② 住んでいない ③ 分からない

問 6 あなたは、自治区(会)活動(住民によるまちの掃除や防犯の活動など)や地域の行事など、地域活動に参加していますか。

- ① よく参加している ② ときどき参加している
③ あまり参加していない ④ 参加したことがない

問 7 あなたは、区や自治会で、外国人市民が組長や班長などの役割を行うことについてどう思いますか。

- ① 行うべきである ② 行ってもいい ③ 行わなくていい
④ 行うべきではない ⑤ わからない

問 8 ‘問 7’ で③および④と答えた方にお聞きします。理由を教えてください。

- ① 日本語が通じないから
② 自治会へ加入する必要を感じられないから
③ 外国人と関わりたいと思わないから
④ その他 (_____)

<小牧市多文化共生推進プランについて>

問 9 あなたは、小牧市多文化共生推進プランを知っていますか。

- ① 「めざすこと」も含め、詳しく知っている。
② スローガンだけ知っている
③ プランがあることは知っている
④ 知らない（このアンケートで初めて知った）

問 10 ‘問 9’ で①～③と答えた方にお聞きします。どこで知りましたか。

- ① 市役所等（職員等から直接）
② 市や小牧市国際交流協会の事業
③ 市ホームページ ④ わからない
⑤ その他 (_____)

<外国人市民との交流に関すること>

問 11 あなたは、小牧市に外国人市民と交流できるイベント（国際交流協会のイベントなど）があることを知っていますか。

- ① 知っている ② 知らない

問 17 ‘問 16’で①と答えた方にお聞きします。その場

所はどこですか。(複数回答可)

- ① 職場 ② 学校・保育園・幼稚園(子どもを通じた交流を含む)
- ③ ②以外の公共施設 ④ 自宅の近く(自治会などの集まりを含む)
- ⑤ 習い事・趣味の活動 ⑥ よく利用するお店
- ⑦ その他(_____)

問 18 あなたは、今後、小牧市で外国人市民とどのように交流したいと思えますか。

- ① 同じ地域住民として交流し、仲良く暮らしていきたい。
- ② 交流・共生はしなくてもよい。 ③ わからない
- ④ その他(_____)

問 19 あなたは毎日の生活の中で、外国人市民が地域になじみ、彼らと交流・共生していくためには、何が必要だと思えますか。(地域の日本人に必要なこと。外国人に必要なこと。市に必要なこと。市内の企業に必要なこと。など、自由意見をお書きください。)

≪ご協力いただき、大変ありがとうございました。≫

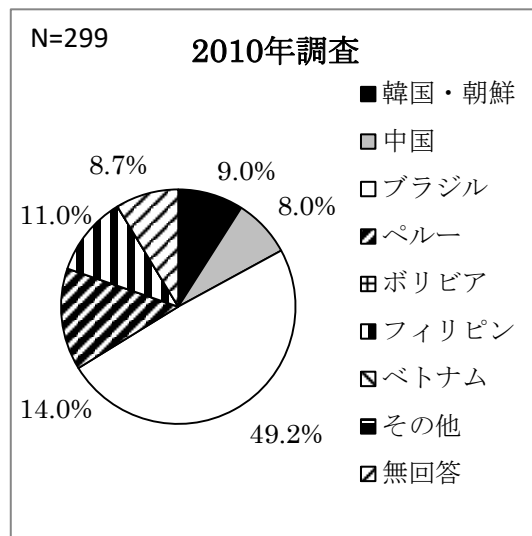
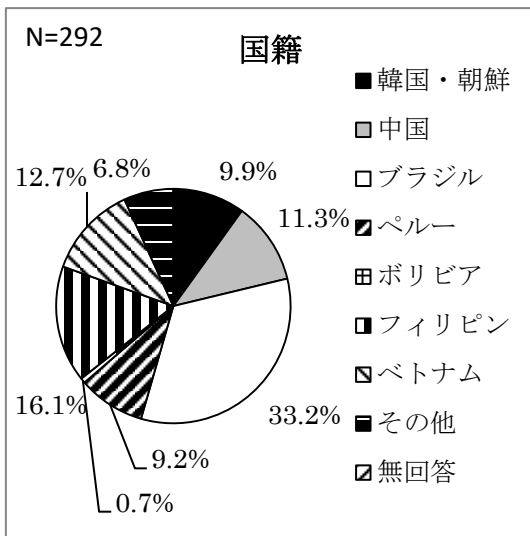
ご記入が済みましたら、このアンケートを同封の封筒に入れて、3月23日(金)までにポストに入れてください(切手はいりません)。

外国人市民向け調査

調査結果

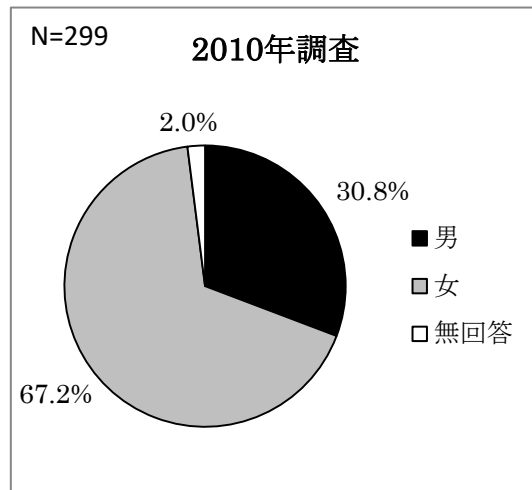
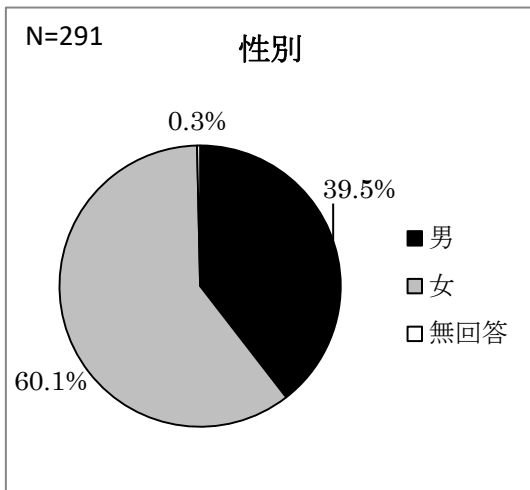
問 1 . 国籍

	韓国・朝鮮	中国	ブラジル	ペルー	ボリビア	フィリピン	ベトナム	その他	無回答	有効計	無効	合計
全体	29	33	97	27	2	47	37	20	0	292	0	292
2010年調査	27	24	147	42	0	33	0	0	26	299	0	299



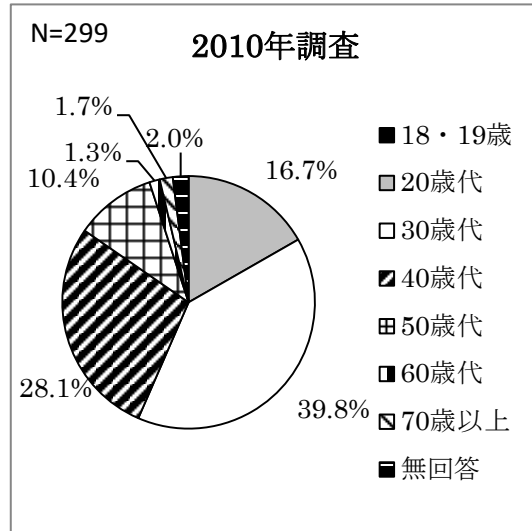
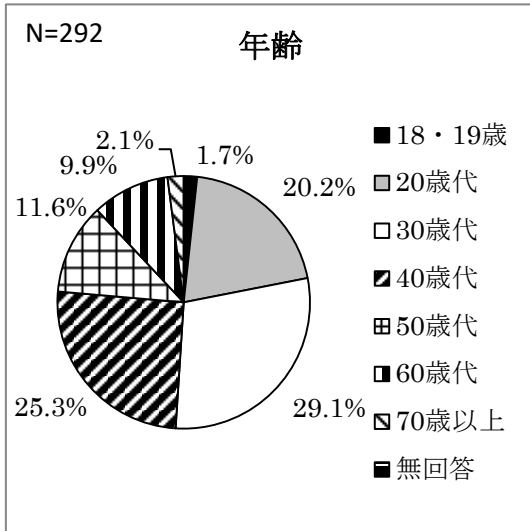
問 2 . 性別

	男	女	無回答	有効計	無効	合計
全体	115	175	1	291	1	292
2010年調査	92	201	6	299	0	299



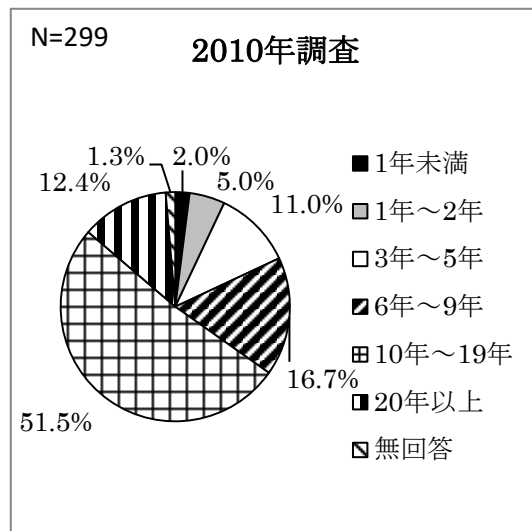
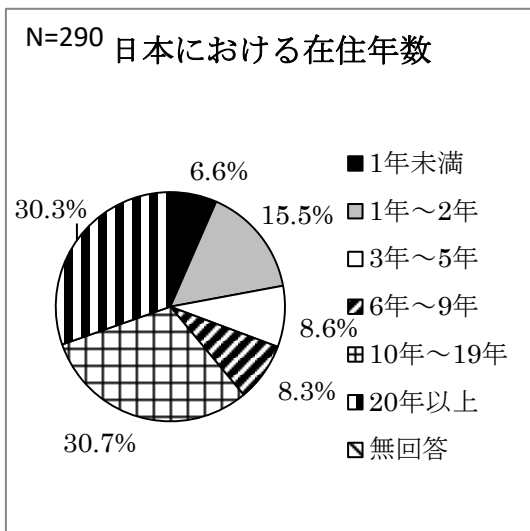
問 3 . 年 齢

	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	有効計	無効	合計
全体	5	59	85	74	34	29	6	0	292	0	292
2010年調査	0	50	119	84	31	4	5	6	299	0	299



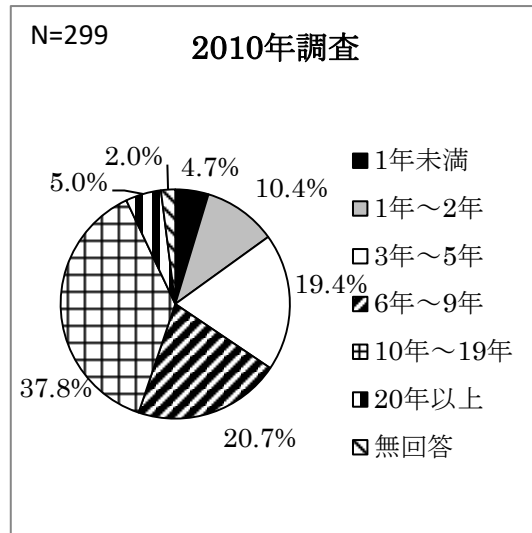
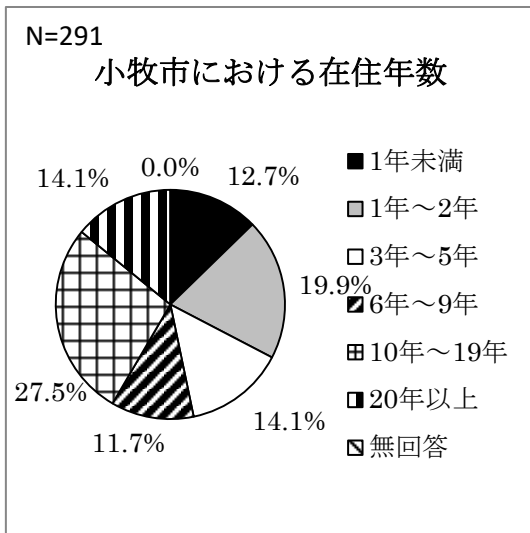
問 4 . 日本における在住年数

	1年未満	1年～2年	3年～5年	6年～9年	10年～19年	20年以上	無回答	有効計	無効	合計
全体	19	45	25	24	89	88	0	290	2	292
2010年調査	6	15	33	50	154	37	4	299	0	299



問 5 . 小牧市における在住年数

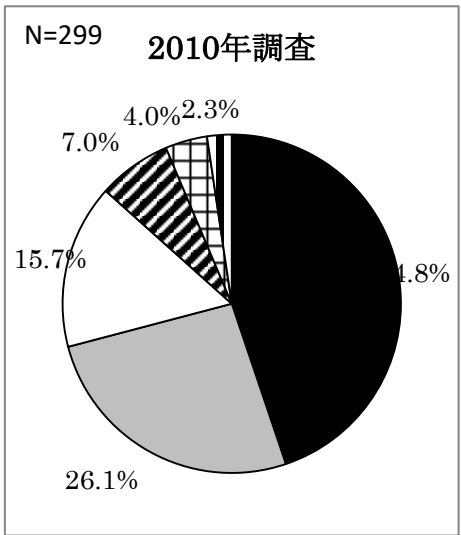
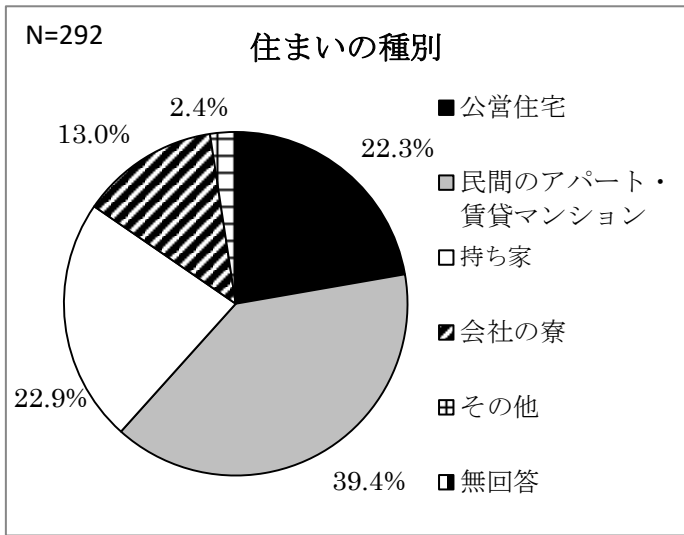
	1年未満	1年～2年	3年～5年	6年～9年	10年～19年	20年以上	無回答	有効計	無効	合計
全体	37	58	41	34	80	41	0	291	1	292
2010年調査	14	31	58	62	113	15	6	299	0	299



問 6 . 住まいの種別

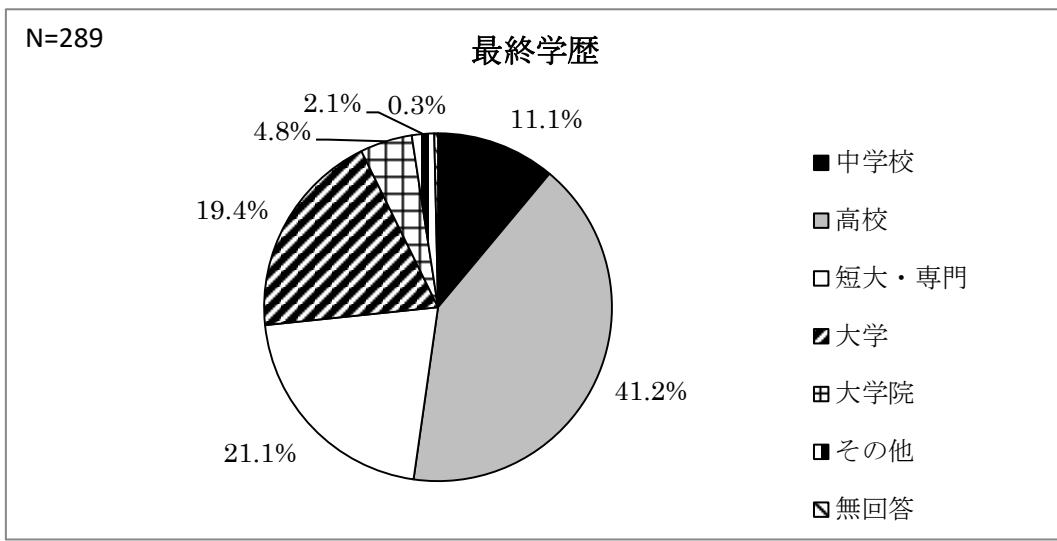
- ① 公営住宅（県営・市営住宅など）
 ② 民間のアパート・賃貸マンション ③ 持ち家
 ④ 会社の寮 ⑤ その他

	①	②	③	④	⑤	無回答	有効計	無効	合計
全体	65	115	67	38	7	0	292	0	292
2010年調査	134	78	47	21	12	7	299	0	299



問 7 . 最終学歴

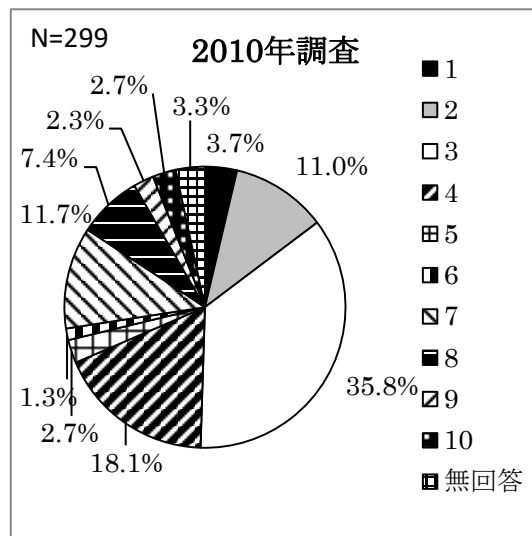
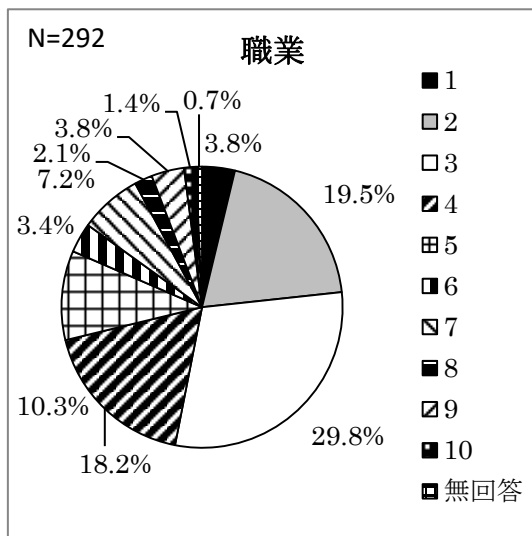
	中学校	高校	門 短大・専	大学	大学院	その他	無回答	有効計	無効	合計
全体	32	119	61	56	14	6	1	289	3	292



問 8 . 職業

- ① 自営業 ② 会社員 ③ 契約社員・派遣社員
 ④ パート・アルバイト ⑤ 研修生・技能実習生 ⑥ 学生
 ⑦ 専業主婦（夫） ⑧ 休職中 ⑨ 無職 ⑩ その他

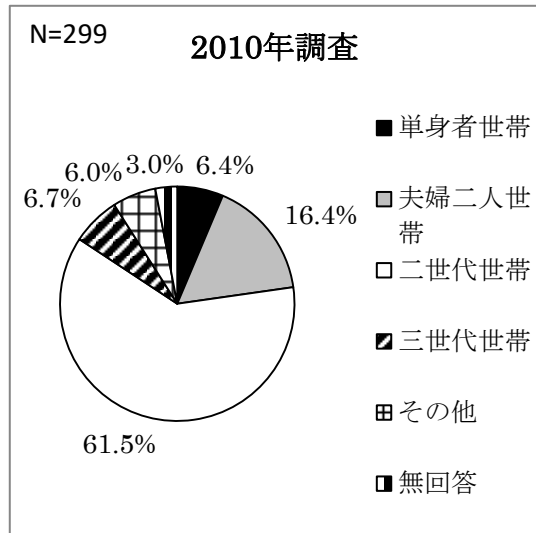
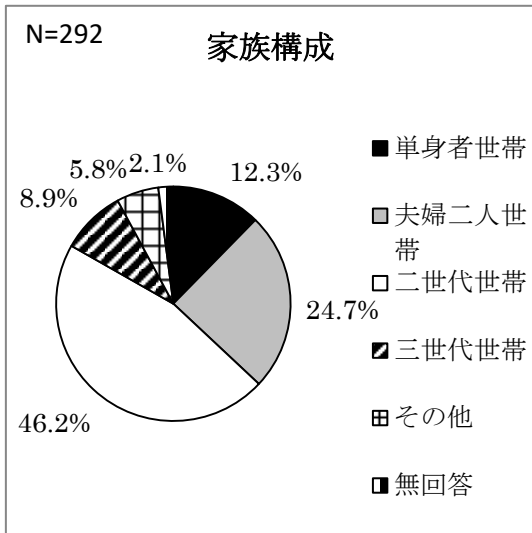
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答	有効計	無効	合計
全体	11	57	87	53	30	10	21	6	11	4	2	292	0	292
2010年調査	11	33	107	54	8	4	35	22	7	8	10	299	0	299



問 9 . 家族構成

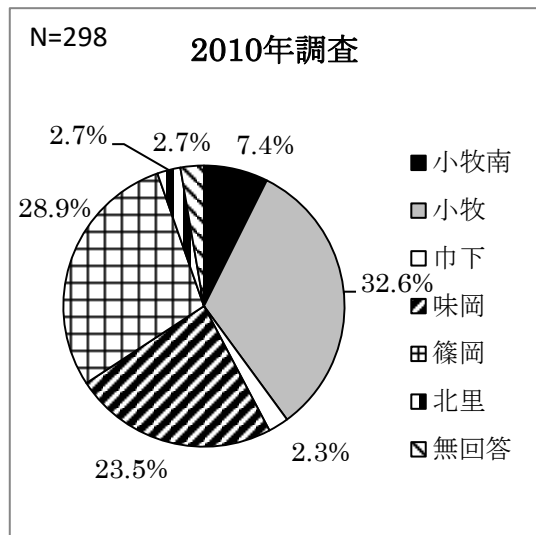
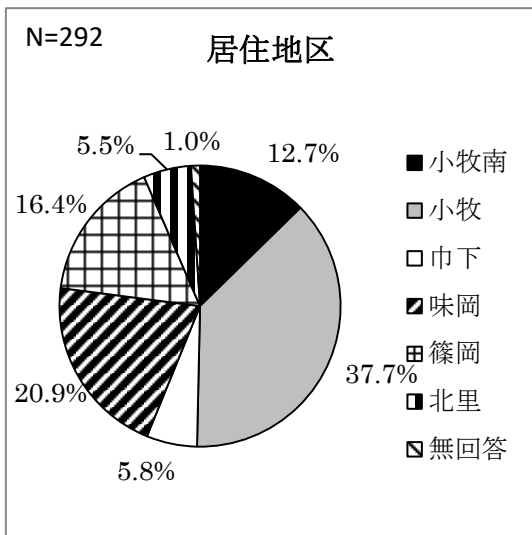
- ① 単身者世帯（自分一人） ② 夫婦二人世帯
 ③ 二世帯世帯（親と子） ④ 三世帯世帯（祖父母と子と孫）
 ⑤ その他

	①	②	③	④	⑤	無回答	有効計	無効	合計
全体	36	72	135	26	17	6	292	0	292
2010年調査	19	49	184	20	18	9	299	0	299



問 1 0 . 居住地区

	小牧南	小牧	巾下	味岡	篠岡	北里	無回答	有効計	無効	合計
全体	37	110	17	61	48	16	3	292	0	292
2010年調査	22	97	7	70	86	8	8	298	1	299



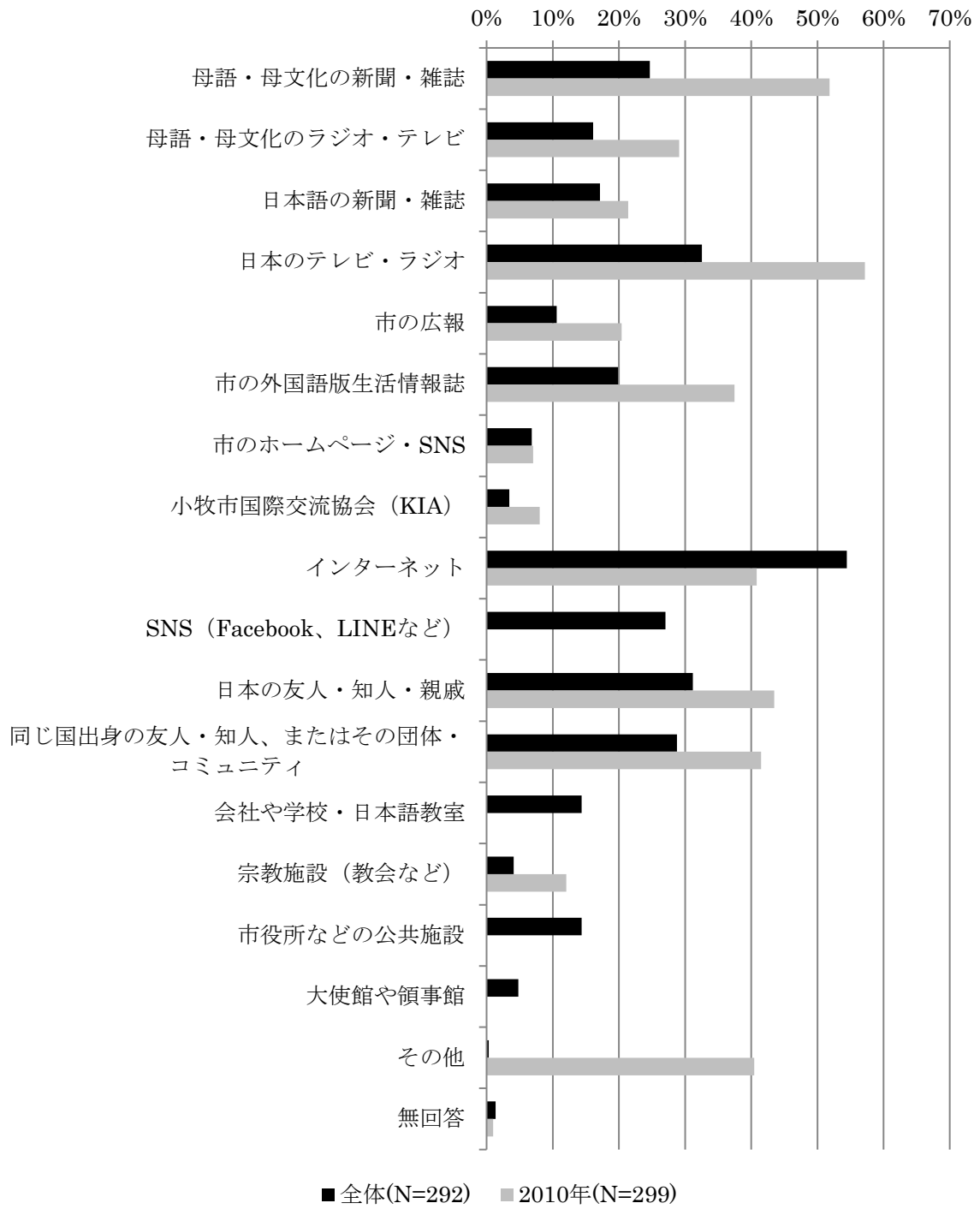
<生活の情報>

問 1 1. あなたは生活に必要な情報を、何を通して得ていますか。(複数回答)

「インターネット」と回答した割合が 5 割を超えて最も多く、「日本のテレビ・ラジオ」「日本の友人・知人・親戚」「同じ国出身の友人・知人・またはその団体・コミュニティ」が 3 割前後で続く。2010 年の調査と比べると、「インターネット」と回答した割合が増え、「母語・母文化の新聞・雑誌」「日本のテレビ・ラジオ」「市の外国語版生活情報誌」と回答した割合が減少している。

		全体	2010 年 調査
1	母語・母文化の新聞・雑誌	72	155
2	母語・母文化のラジオ・テレビ	47	87
3	日本語の新聞・雑誌	50	64
4	日本のテレビ・ラジオ	95	171
5	市の広報	31	61
6	市の外国語版生活情報誌	58	112
7	市のホームページ・SNS	20	21
8	小牧市国際交流協会（KIA）	10	24
9	インターネット	159	122
10	SNS（Facebook、LINE など）	79	-
11	日本の友人・知人・親戚	91	130
12	同じ国出身の友人・知人、またはその団体・コミュニティ	84	124
13	会社や学校・日本語教室	42	-
14	宗教施設（教会など）	12	36
15	市役所などの公共施設	42	-
16	大使館や領事館	14	-
17	その他	1	121
無回答		4	3
有効計		907	1228
回答者数		292	299

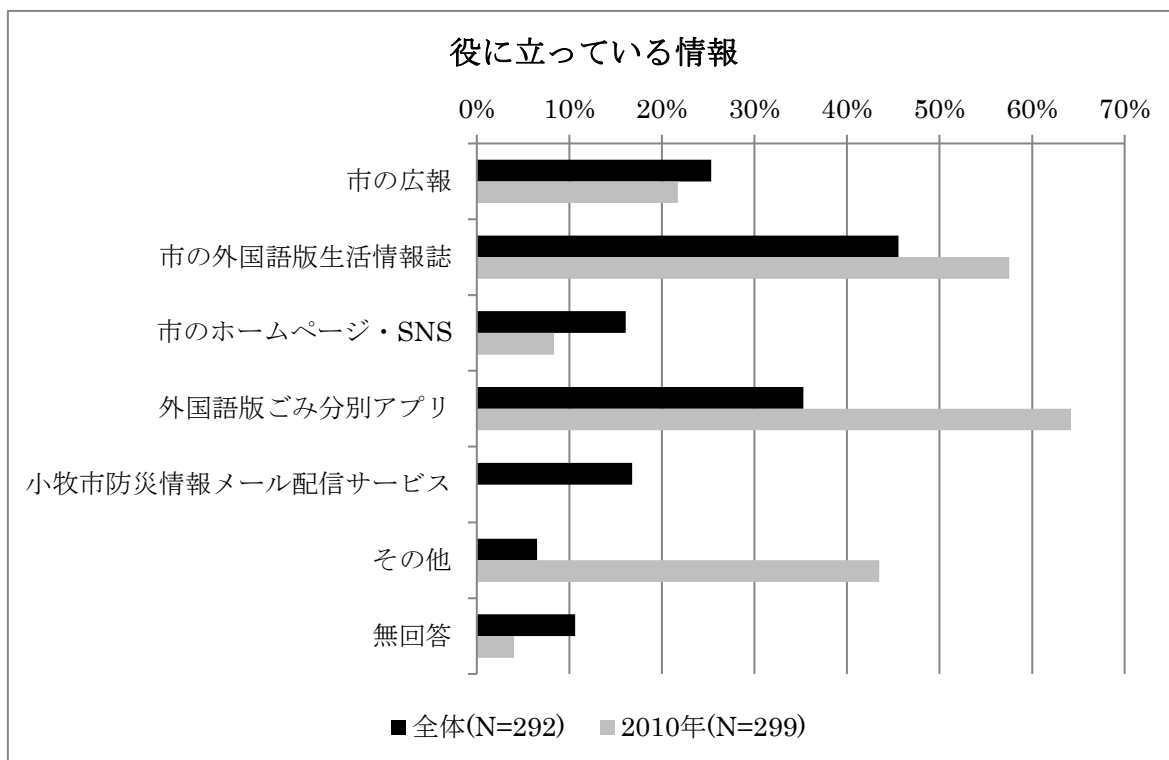
生活に必要な情報を得る手段



問 1 2. 小牧市が提供している生活に関する情報の中で、あなたの役に立っているものはなんですか。(複数回答)

「外国語版生活情報誌」や「ごみ分別アプリ」が役立っていると回答した割合が3割を超える。2010年調査と比べると、全体的に回答の割合が減少しているが、「市のホームページ・SNS」と回答した割合は増えている。

		全体	2010年調査
1	市の広報	74	65
2	市の外国語版生活情報誌	133	172
3	市のホームページ・SNS	47	25
4	外国語版ごみ分別アプリ	103	192
5	小牧市防災情報メール配信サービス	49	-
6	その他	19	130
無回答		31	12
有効計		425	584
回答者数		292	299

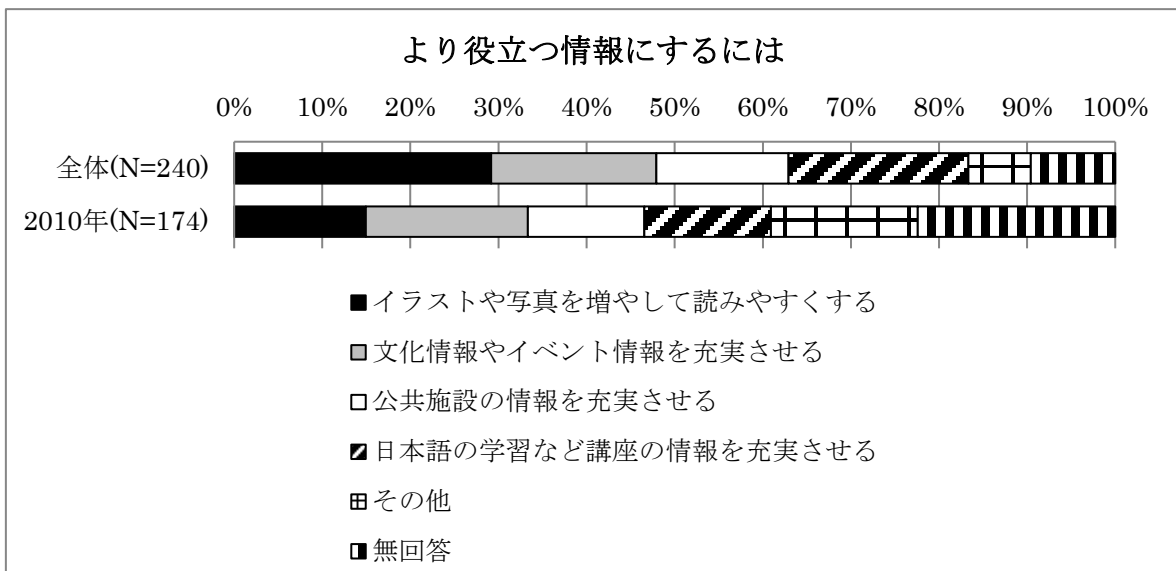


問 1 3 . 外国語版生活情報誌や市のホームページを、より役立つものにするためには、どうすればよいと思いますか。

- ① イラストや写真を増やして読みやすくする
- ② 文化情報やイベント情報を充実させる
- ③ 公共施設の情報を充実させる
- ④ 日本語の学習など講座の情報を充実させる
- ⑤ その他

「イラストや写真を増やして読みやすくする」と回答した割合が3割近くと最も多い。2010年調査と比べても、回答した割合が増加している。

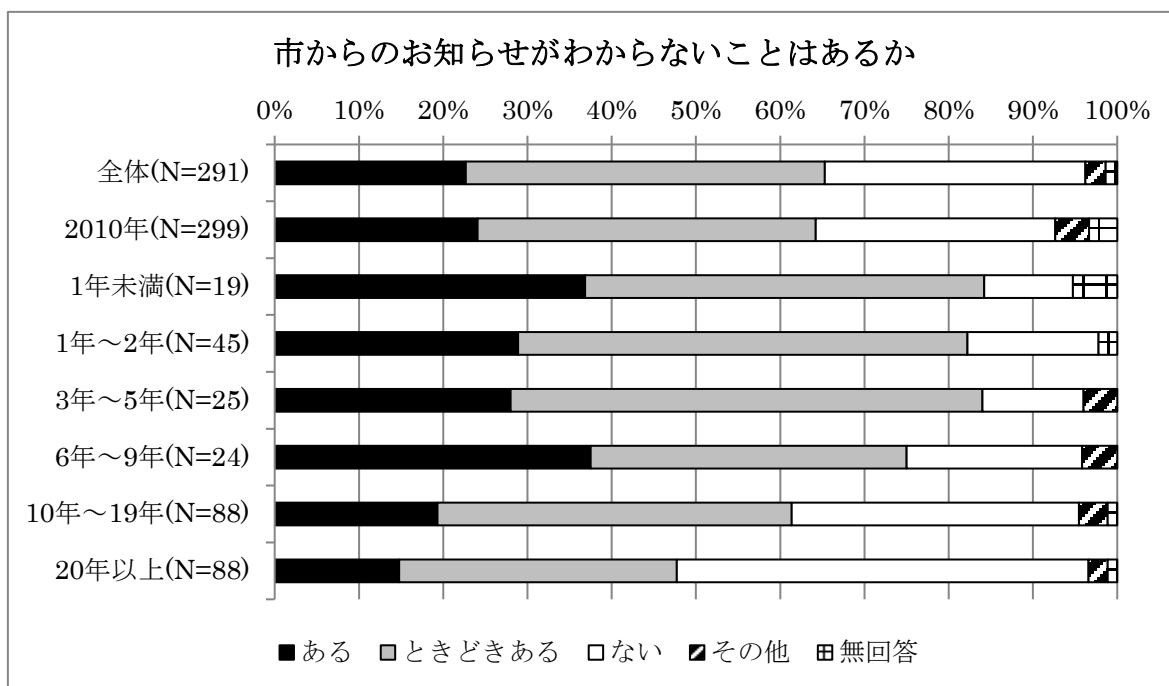
	①	②	③	④	⑤	無回答	有効計	無効	合計
全体	70	45	36	49	17	23	240	52	292
2010年調査	26	32	23	25	29	39	174	125	299



問 1 4 . あなたは市からののお知らせや回覧板などの郵便物が届いたときに、書いてある内容が分からないことはありますか。

「ある」「ときどきある」と回答した割合が合わせて 6 割を超える。2010 年調査と比べ大きな変化はない。在住期間別では、10 年以上在住している人は「ある」「ときどきある」と回答した割合が減少している。

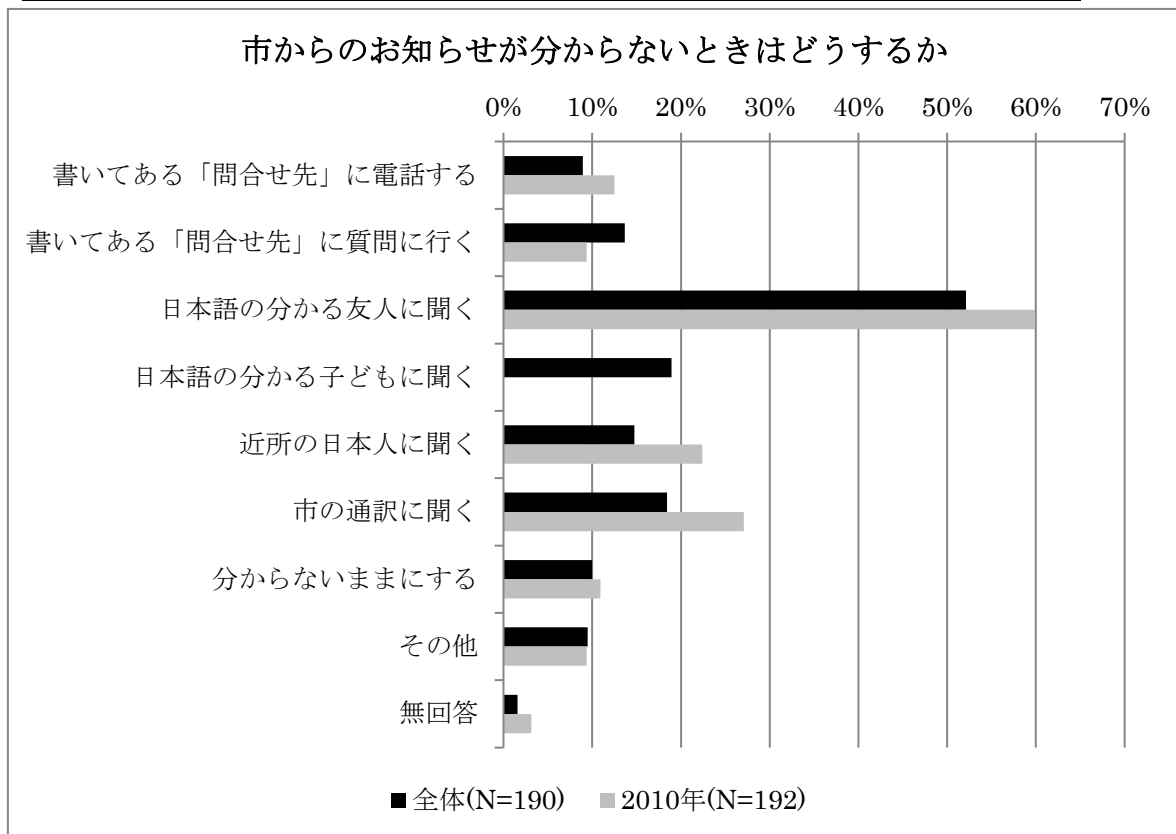
		ある	ときどきある	ない	その他	無回答	有効計	無効	合計
全体		66	124	90	7	4	291	1	292
2010 年調査		72	120	85	12	10	299	0	299
在住年数 日本における	1 年未満	7	9	2	0	1	19	0	19
	1 年～2 年	13	24	7	0	1	45	0	45
	3 年～5 年	7	14	3	1	0	25	0	25
	6 年～9 年	9	9	5	1	0	24	0	24
	10 年～19 年	17	37	30	3	1	88	1	89
	20 年以上	13	29	43	2	1	88	0	88



問 1 5 . 分からないときはどうしますか。(複数選択)(問 1 4 で①または②と回答した人のみ)

「日本語の分かる友人に聞く」と回答した割合が最も多く 5 割を超える。2010 年調査と比べると、全体的に回答の割合が減少しているが、「書いてある問合せ先」に質問に行く」と回答した割合が増加している。

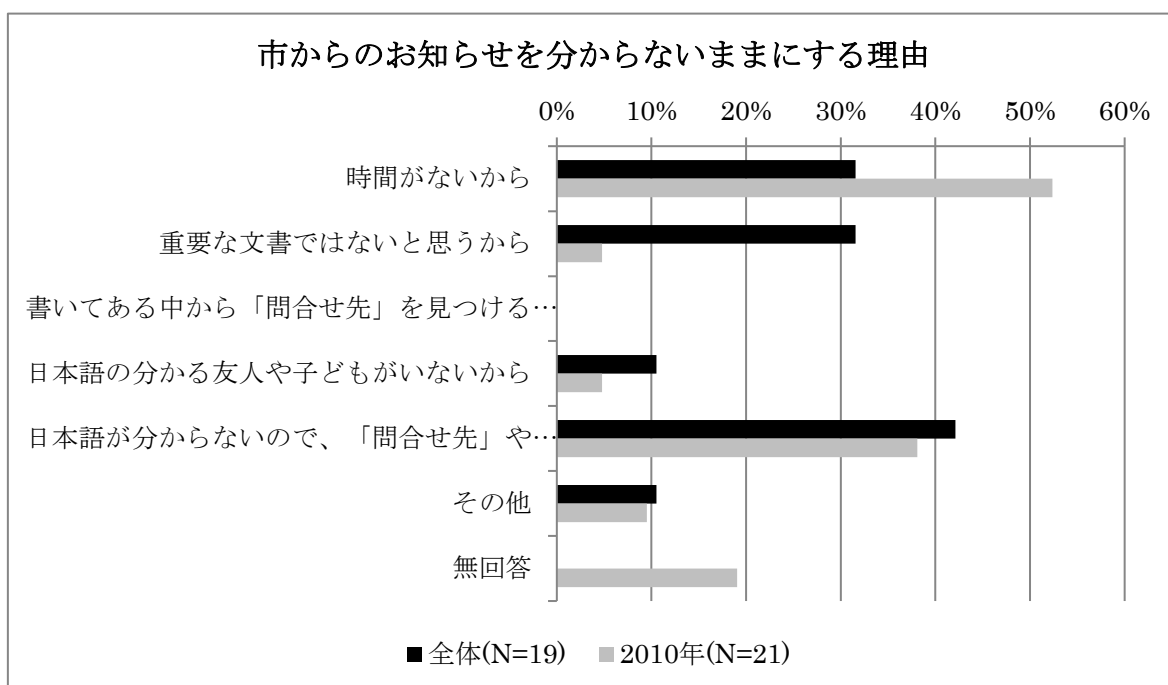
	全体	2010 年調査
1 書いてある「問合せ先」に電話する	17	24
2 書いてある「問合せ先」に質問に行く	26	18
3 日本語の分かる友人に聞く	99	115
4 日本語の分かる子どもに聞く	36	-
5 近所の日本人に聞く	28	43
6 市の通訳に聞く	35	52
7 分からないままにする	19	21
8 その他	18	18
無回答	3	6
有効計	278	291
回答者数	190	192



問 1 6 . 分からないままにする理由を教えてください。(複数選択)(問 1 5 で⑦と回答した人のみ)

「日本語が分からないので「問合せ先」や近所の日本人に質問ができないから」「時間がないから」「重要な文書ではないと思うから」との回答が多かった。

		全体	2010年調査
1	時間がないから	6	11
2	重要な文書ではないと思うから	6	1
3	書いてある中から「問合せ先」を見つけることができないから	0	0
4	日本語の分かる友人や子どもがいないから	2	1
5	日本語が分からないので、「問合せ先」や近所の日本人に質問ができないから	8	8
6	その他	2	2
無回答		0	4
有効計		24	23
回答者数		19	21



<言語について>

問 17. あなたは日本語がどの程度できますか。

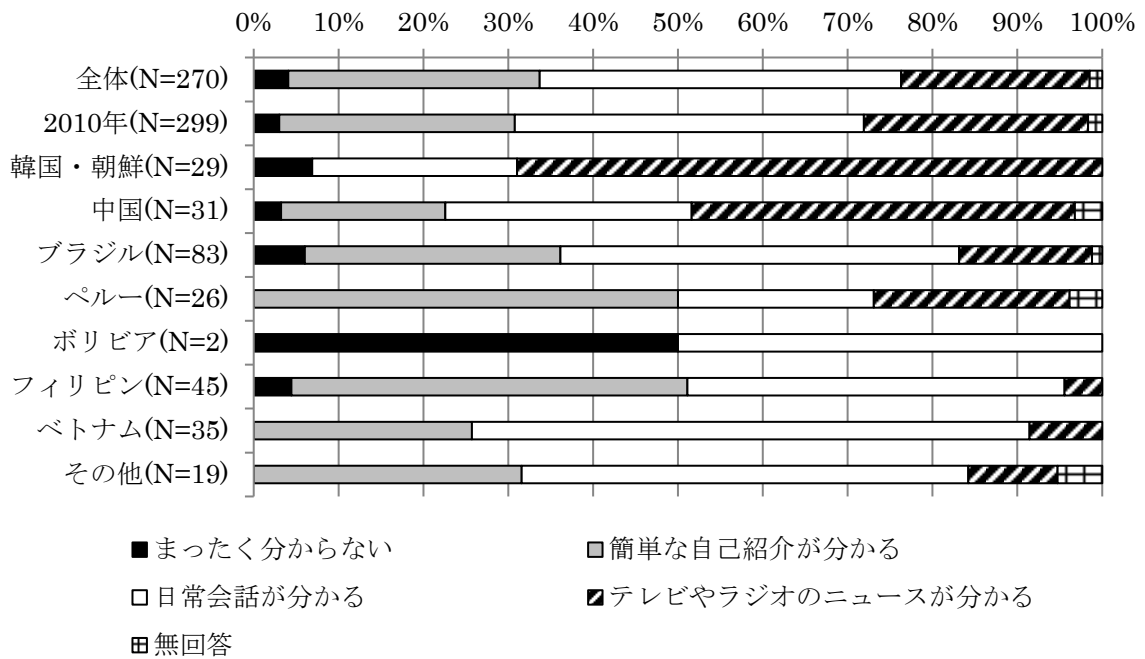
- (1) 聞く：① まったく分からない ② 簡単な自己紹介が分かる
 ③ 日常会話が分かる ④ テレビやラジオのニュースが分かる
- (2) 話す：① まったく話せない ② 簡単な自己紹介ができる
 ③ 日常会話ができる ④ 仕事や学校で打合せができる
- (3) 読む：① まったく読めない ② ひらがな（カタカナ）を読める
 ③ 看板など、日常生活で見る漢字がわかる
 ④ 漢字を使った長い文章が読める
- (4) 書く：① まったく書けない ② ひらがな（カタカナ）を書ける
 ③ 漢字を使って短い文章が書ける
 ④ 漢字を使って長い文章が書ける

2010年調査と比べ大きな変化はない。国籍別に見ると、「韓国・朝鮮」「中国」「ベトナム」国籍の人の日本語能力が比較的高い。

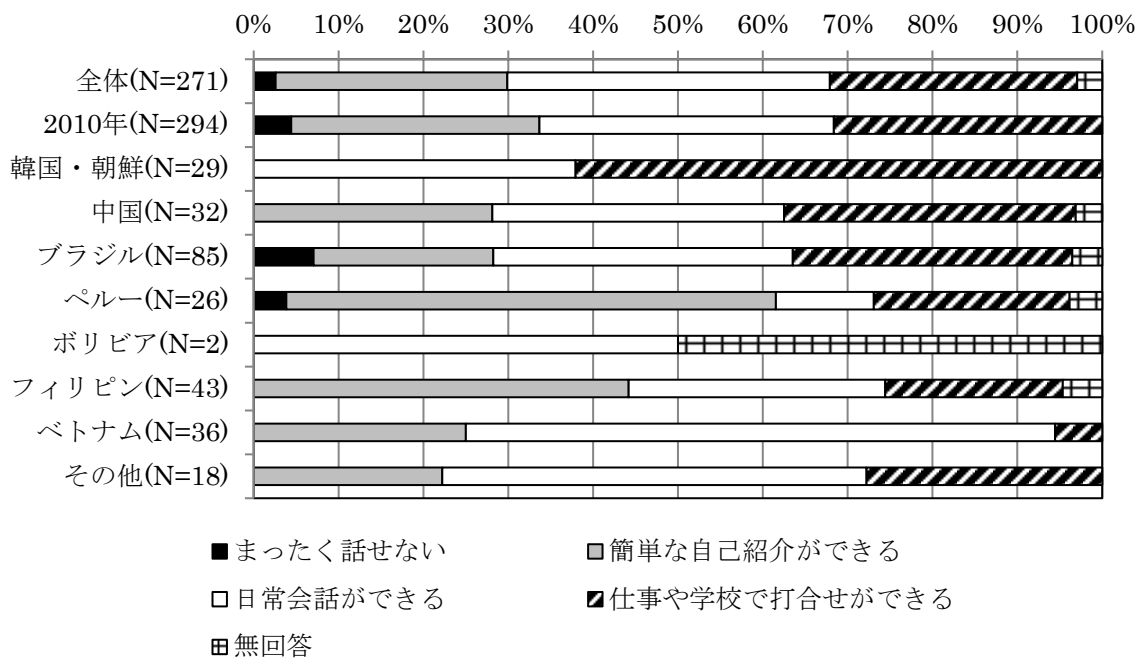
		全体	2010年調査	国籍							
				韓国・朝鮮	中国	ブラジル	ペルー	ポリビア	フィリピン	ベトナム	その他
聞く	1	11	9	2	1	5	0	1	2	0	0
	2	80	83	0	6	25	13	0	21	9	6
	3	115	123	7	9	39	6	1	20	23	10
	4	60	79	20	14	13	6	0	2	3	2
	無回答	4	5	0	1	1	1	0	0	0	1
	有効計	270	299	29	31	83	26	2	45	35	19
	無効	22	0	0	2	14	1	0	2	2	1
話す	1	7	13	0	0	6	1	0	0	0	0
	2	74	86	0	9	18	15	0	19	9	4
	3	103	102	11	11	30	3	1	13	25	9
	4	79	93	18	11	28	6	0	9	2	5
	無回答	8	0	0	1	3	1	1	2	0	0
	有効計	271	294	29	32	85	26	2	43	36	18
	無効	21	5	0	1	12	1	0	4	1	2

読む	1	42	34	0	0	20	7	1	12	0	2
	2	125	137	1	7	43	12	1	29	23	9
	3	45	81	3	9	12	5	0	1	10	5
	4	51	37	25	14	5	2	0	1	2	2
	無回答	6	10	0	1	2	1	0	1	0	1
	有効計	269	299	29	31	82	27	2	44	35	19
	無効	23	0	0	2	15	0	0	3	2	1
書く	1	50	44	0	1	23	6	1	17	0	2
	2	142	151	3	11	57	14	1	25	20	11
	3	37	59	3	10	8	2	0	1	10	3
	4	44	33	23	9	2	2	0	1	5	2
	無回答	10	12	0	2	4	2	0	1	0	1
	有効計	283	299	29	33	94	26	2	45	35	19
	無効	9	0	0	0	3	1	0	2	2	1
合計		292	299	29	33	97	27	2	47	37	20

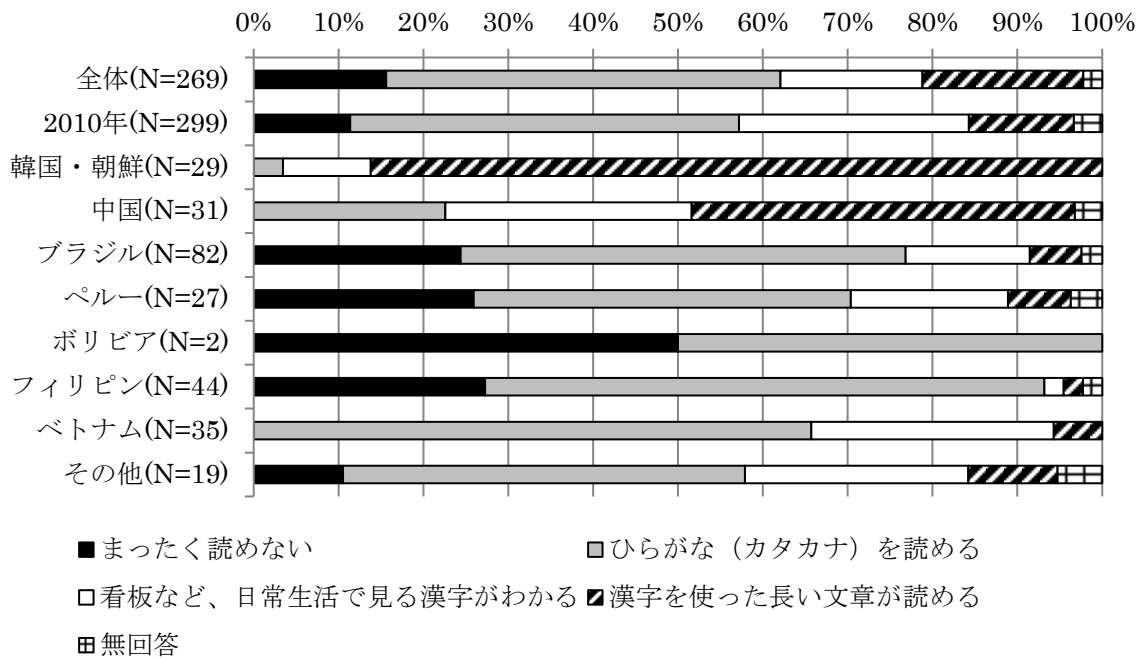
日本語能力（聞く）



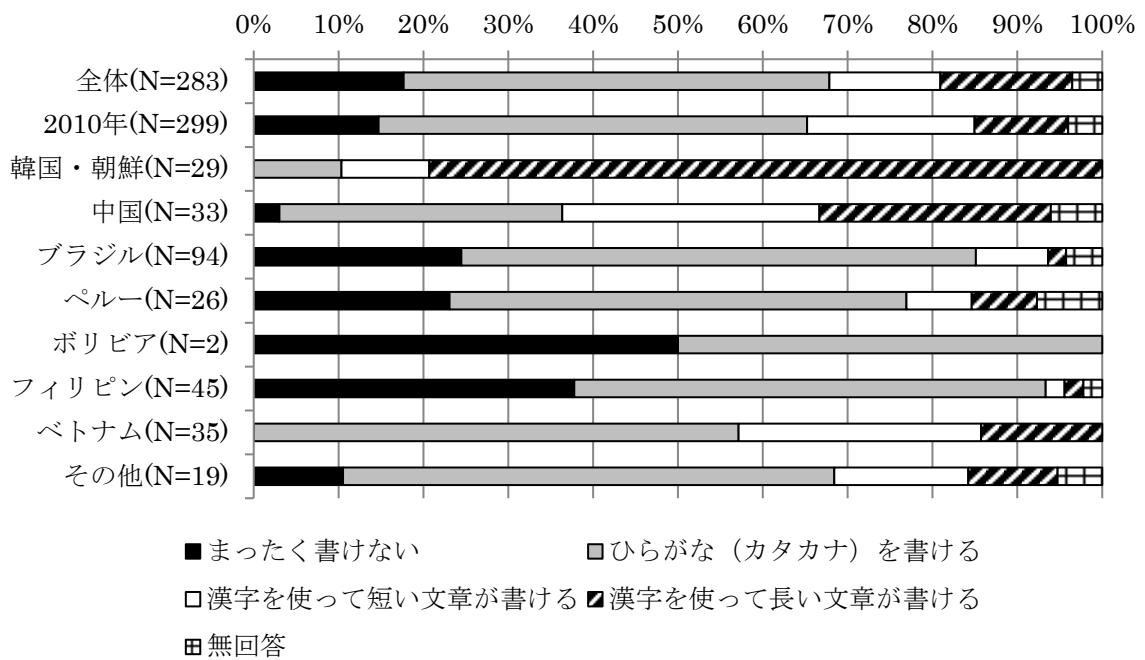
日本語能力（話す）



日本語能力（読む）



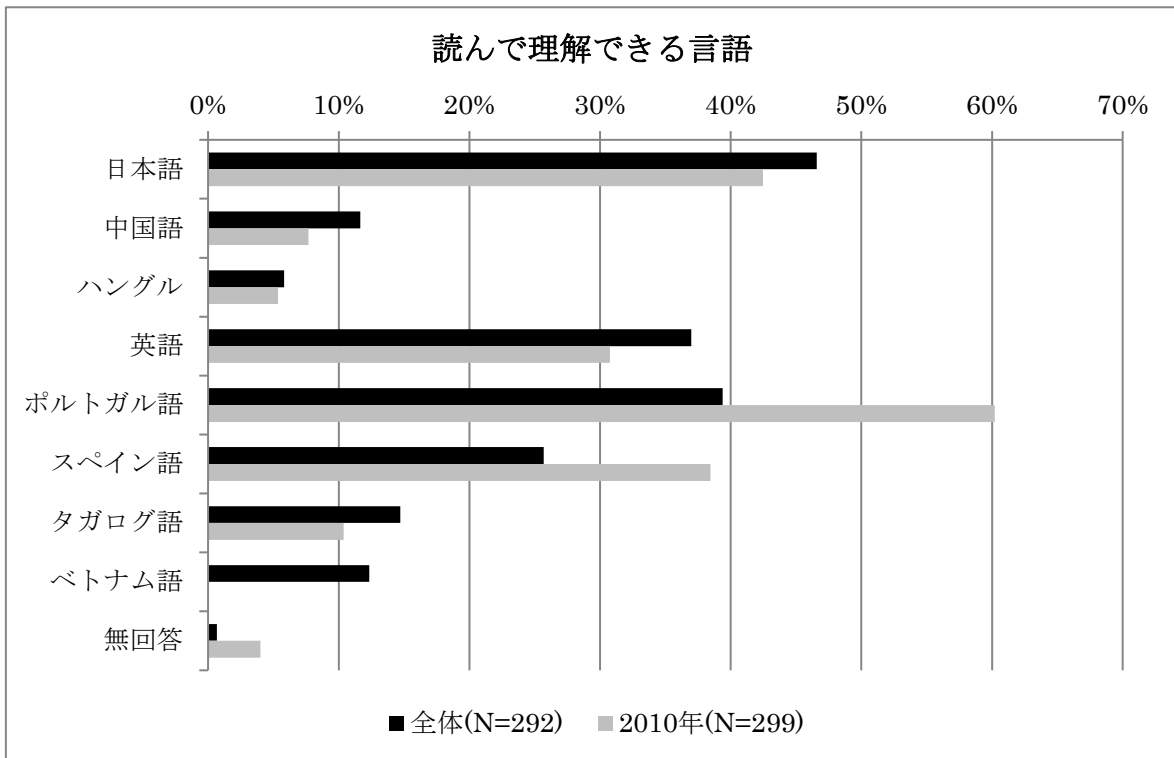
日本語能力（書く）



問 18. あなたが読んで理解できる言語は何ですか。(複数回答)

「日本語」「ポルトガル語」「英語」と回答した割合が3割を超える。2010年調査と比べると、「ポルトガル語」「スペイン語」と回答した割合が減少している。

	日本語	中国語	ハングル	英語	ポルトガル語	スペイン語	タガログ語	ベトナム語	無回答	有効計	回答者数
全体	136	34	17	108	115	75	43	36	2	564	292
2010年調査	127	23	16	92	180	115	31	-	12	584	299



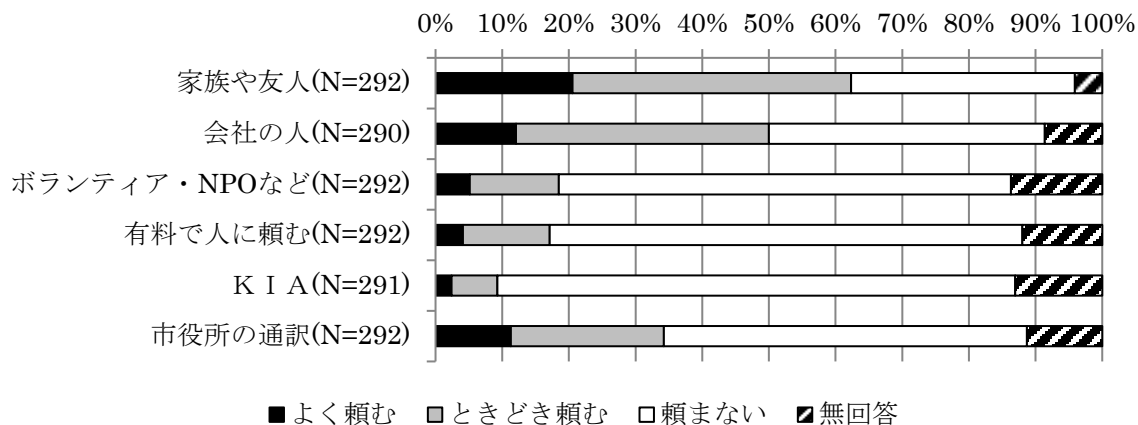
問 19. あなたは日本語の通訳や翻訳を人に頼むことはありますか。

- ① よく頼む ② ときどき頼む ③ 頼まない

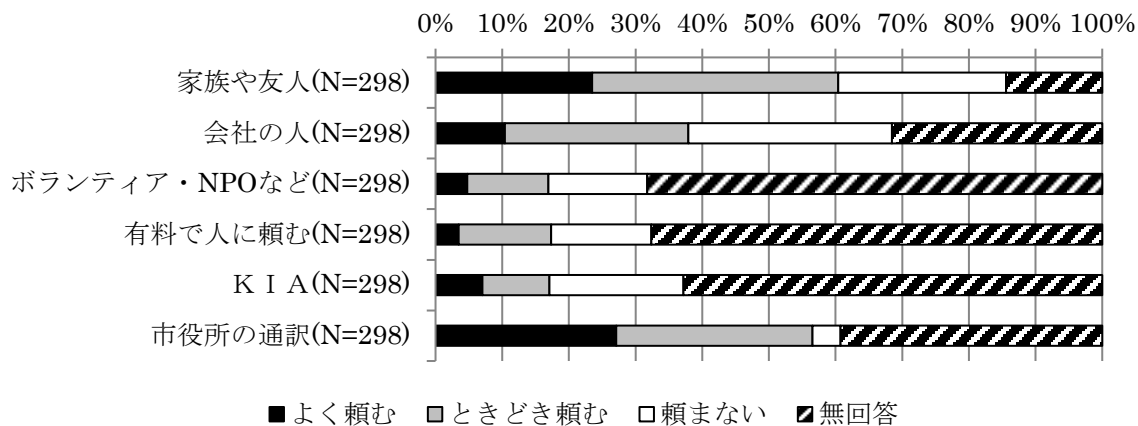
「家族や友人」「会社の人」に頼む人の割合が5割以上となっている。2010年調査と比べ「頼まない」と回答する割合が増加している。

		①	②	③	無回答	有効計	無効	合計
全体	家族や友人	60	122	98	12	292	0	292
	会社の人	35	110	120	25	290	2	292
	ボランティア・NPO など	15	39	198	40	292	0	292
	有料で人に頼む	12	38	207	35	292	0	292
	KIA	7	20	226	38	291	1	292
	市役所の通訳	33	67	159	33	292	0	292
2010年調査	家族や友人	70	110	75	43	298	1	299
	会社の人	31	82	91	94	298	1	299
	ボランティア・NPO など	9	23	28	129	298	1	299
	有料で人に頼む	6	24	26	117	298	1	299
	KIA	14	20	40	125	298	1	299
	市役所の通訳	58	63	9	84	298	1	299

通訳・翻訳依頼（全体）



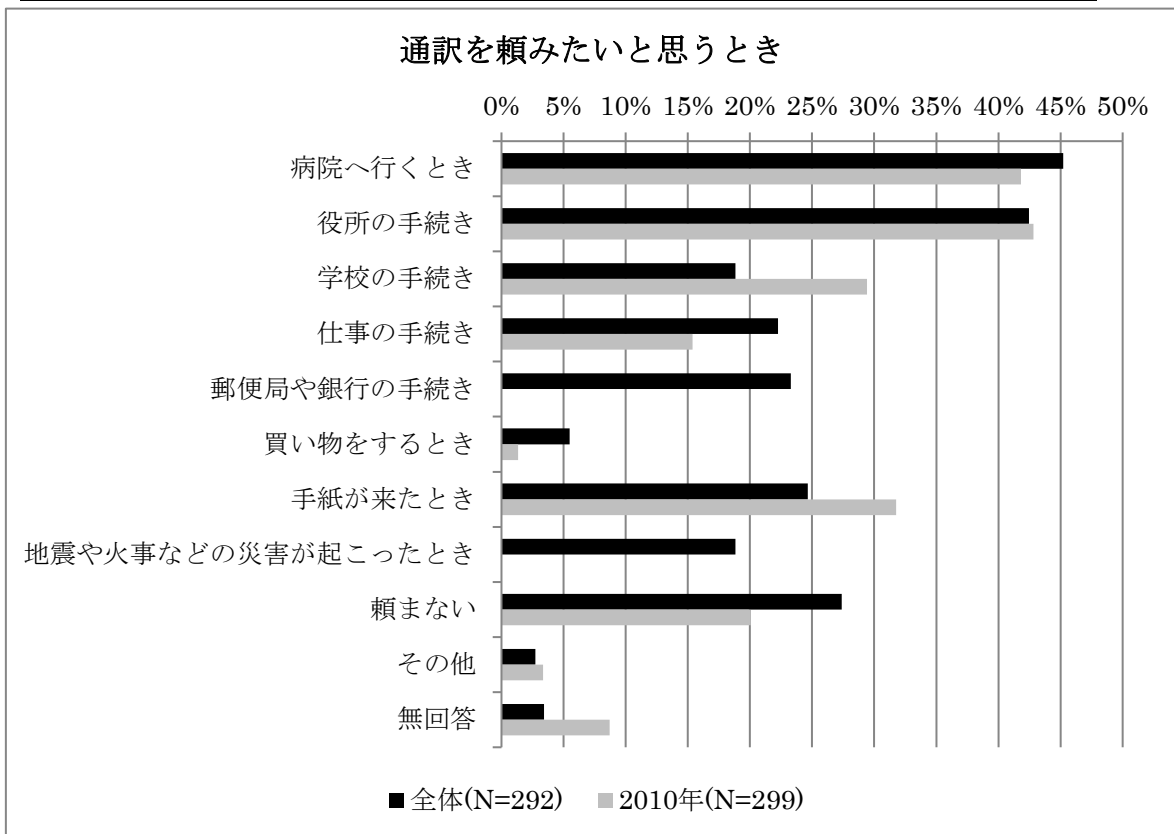
通訳・翻訳依頼（2010年）



問20.あなたはどんなときに日本語の通訳を頼みたいと思いますか。(複数回答)

「病院へ行くとき」「役所の手続き」と回答した人の割合が多い。2010年調査と比べ、「学校の手続き」と回答した人の割合が減少している。

	全体	2010年調査
1 病院へ行くとき	132	125
2 役所の手続き	124	128
3 学校の手続き	55	88
4 仕事の手続き	65	46
5 郵便局や銀行の手続き	68	-
6 買い物をするとき	16	4
7 手紙が来たとき	72	95
8 地震や火事などの災害が起こったとき	55	-
9 頼まない	80	60
10 その他	8	10
無回答	10	26
有効計	675	556
回答者数	292	299

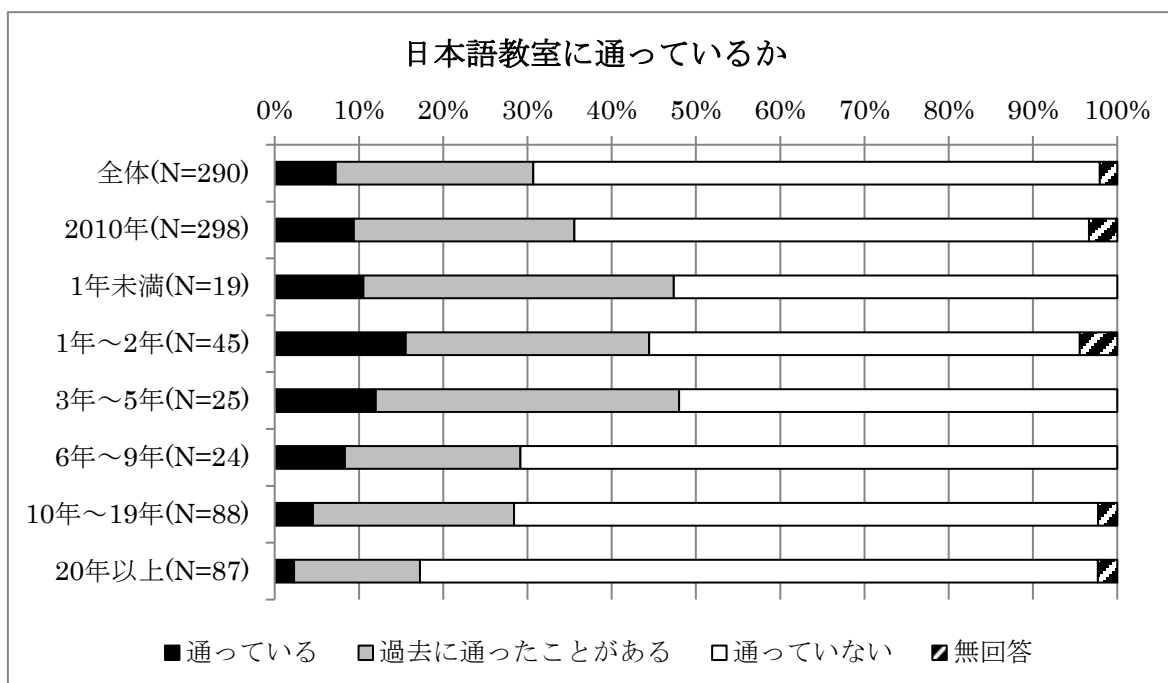


問 2 1 . あなたは日本語教室に通っていますか。

- ① 通っている ② 過去に通ったことがある ③ 通っていない

「通っている」「過去に通ったことがある」と回答した割合は約 3 割。2010 年調査と比べ大きな変化はない。日本における在留年数別では、20 年以上在留している人で「通っている」「過去に通ったことがある」と回答した割合が少ない。

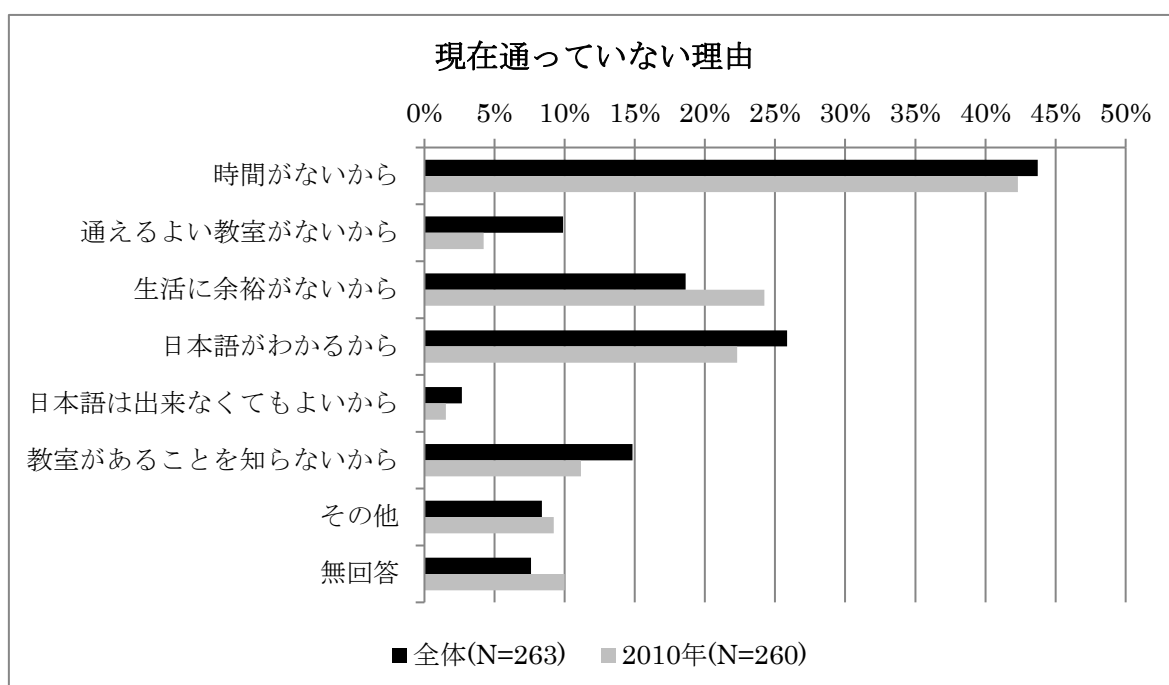
		①	②	③	無回答	有効計	無効	合計
全体		21	68	195	6	290	2	292
2010 年調査		28	78	182	10	298	1	299
在留年数 日本における	1 年未満	2	7	10	0	19	0	19
	1 年～2 年	7	13	23	2	45	0	45
	3 年～5 年	3	9	13	0	25	0	25
	6 年～9 年	2	5	17	0	24	0	24
	10 年～19 年	4	21	61	2	88	1	89
	20 年以上	2	13	70	2	87	1	88



問 2 2 . 現在通っていない理由を教えてください。(複数回答)(問 2 1 で②または③と回答した人のみ)

「時間がないから」と回答した人の割合が 4 割を超え、「日本語がわかるから」「生活に余裕がないから」が続く。2010 年調査と比較すると、「生活に余裕がないから」が減少し、「通えるよい教室がないから」が増加している。

		全体	2010 年調査
1	時間がないから	115	110
2	通えるよい教室がないから	26	11
3	生活に余裕がないから	49	63
4	日本語がわかるから	68	58
5	日本語は出来なくてもよいから	7	4
6	教室があることを知らないから	39	29
7	その他	22	24
無回答		20	26
有効計		326	299
回答者数		263	260



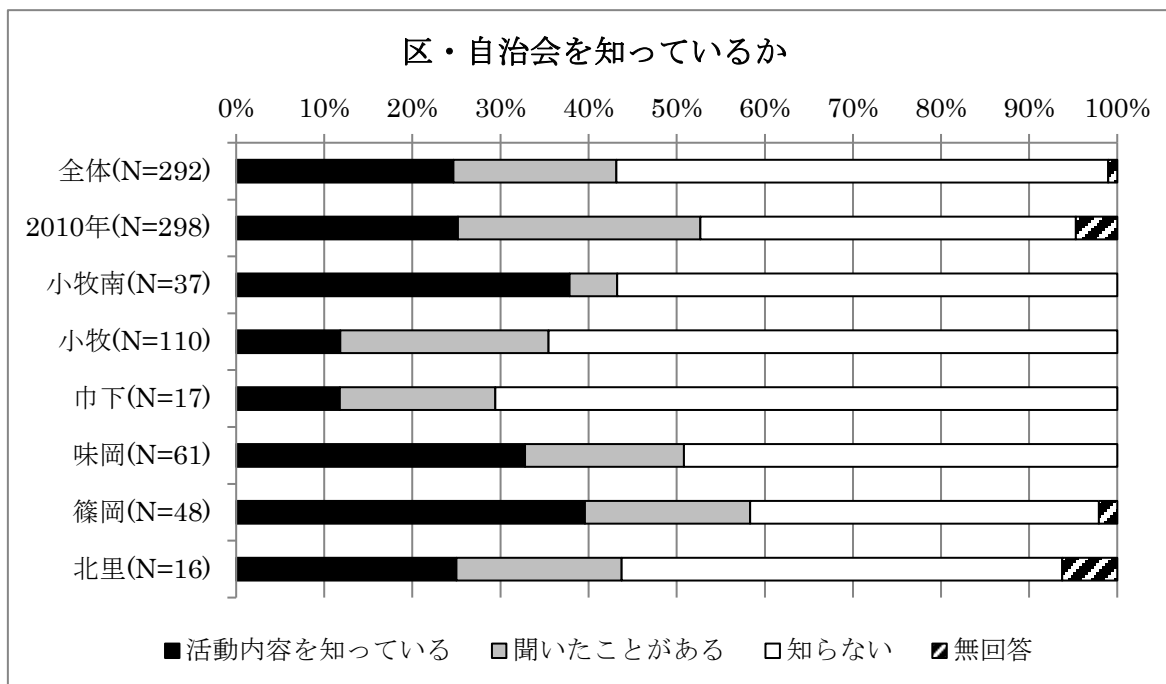
<あなたの住んでいる地域での生活>

問 23. あなたは、区・自治会を知っていますか。

- ① 活動内容を知っている ② 聞いたことがある ③ 知らない

「知らない」と回答した割合が5割を超える。2010年の調査と比較しても、「知らない」と回答した割合が増加している。居住地区別では、味岡地区と篠岡地区では、「知らない」と回答した割合が比較的少ない。

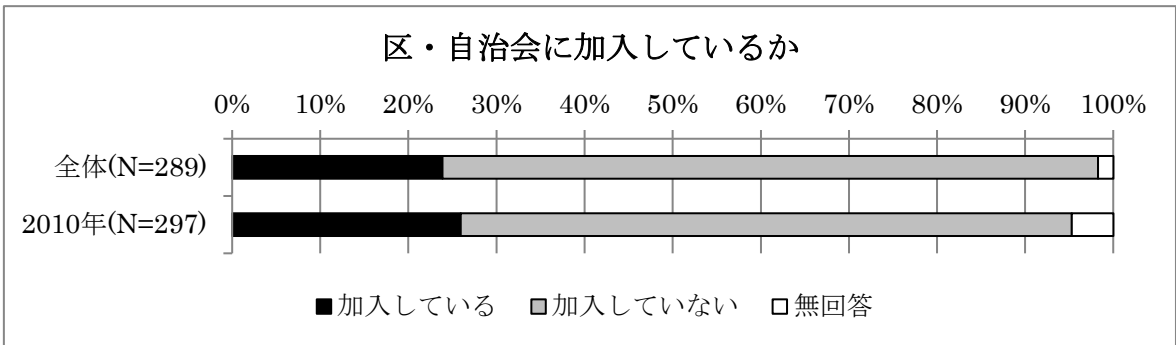
		①	②	③	無回答	有効計	無効	合計
全体		72	54	163	3	292	0	292
2010年調査		75	82	127	14	298	1	299
居住地区	小牧南	14	2	21	0	37	0	37
	小牧	13	26	71	0	110	0	110
	巾下	2	3	12	0	17	0	17
	味岡	20	11	30	0	61	0	61
	篠岡	19	9	19	1	48	0	48
	北里	4	3	8	1	16	0	16



問 2 4 . あなたは、区・自治会に加入していますか。

「加入していない」と回答した割合が約 4 分の 3 を占める。2010 年の調査と比べ大きな変化はない。

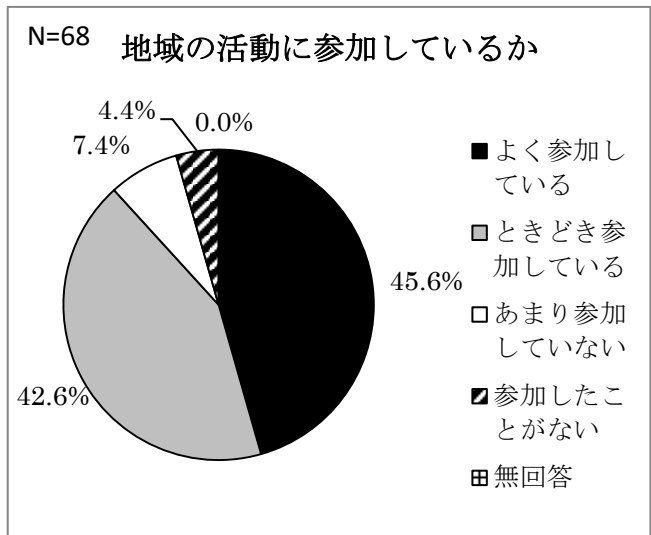
	加入している	加入していない	無回答	有効計	無効	合計
全体	69	215	5	289	3	292
2010 年調査	77	206	14	297	2	299



問 2 5 . あなたは、区・自治会の活動（まちの掃除や防犯の活動など）や地域のお祭りなど、地域の活動に参加していますか。(問 2 4 で①と回答した人のみ)

「よく参加している」「ときどき参加している」と回答した割合が 9 割弱を占める。

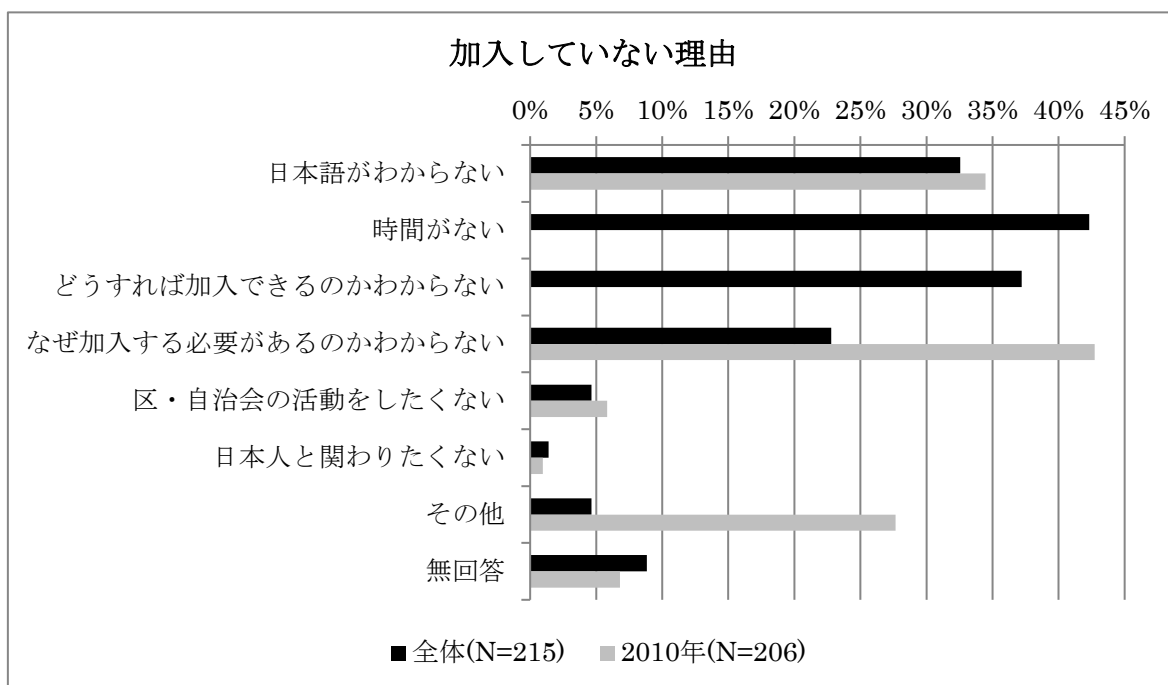
	全体
よく参加している	31
ときどき参加している	29
あまり参加していない	5
参加したことがない	3
無回答	0
有効計	68
無効	1
合計	69



問 2 6 . 区・自治会に加入していない理由を教えてください。(複数選択)(問 2 4 で②と回答した人のみ)

「時間がないから」「どうすれば加入できるのかわからない」「日本語がわからない」の順に回答が多い。2010 年調査と比べ、「なぜ加入する必要があるのかわからない」と回答した割合は減少している。

		全体	2010 年調査
1	日本語がわからない	70	71
2	時間がない	91	-
3	どうすれば加入できるのかわからない	80	-
4	なぜ加入する必要があるのかわからない	49	88
5	区・自治会の活動をしたくない	10	12
6	日本人と関わりたくない	3	2
7	その他	10	57
無回答		19	14
有効計		313	230
回答者数		215	206

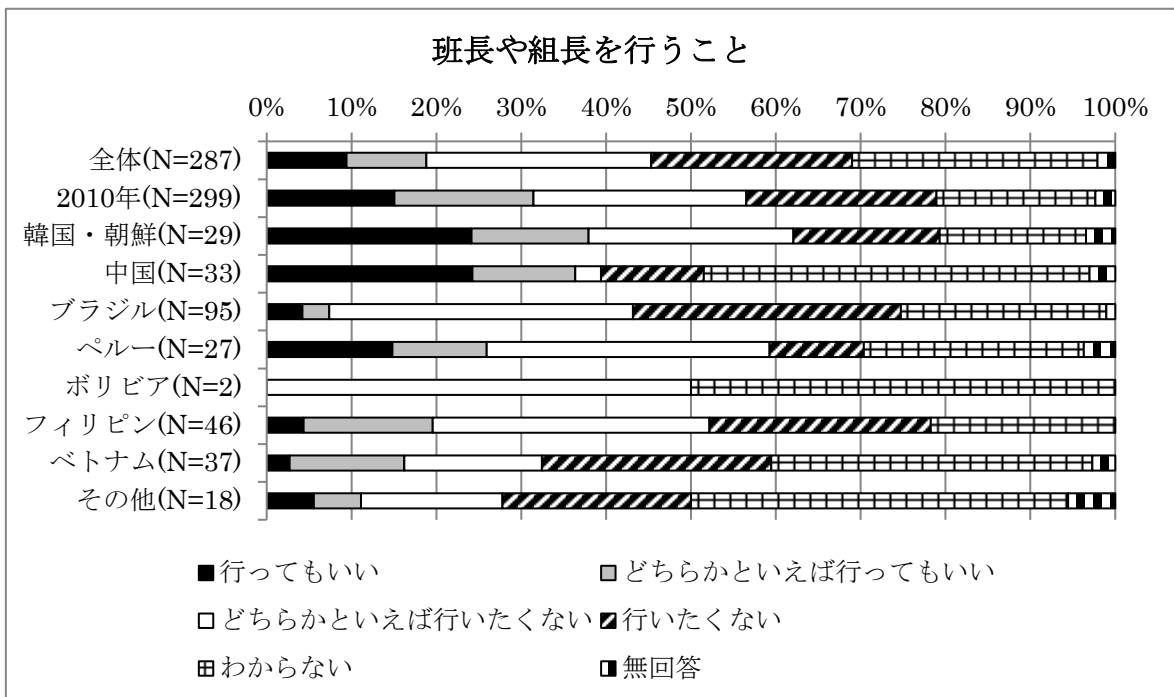


問 27. あなたは、区・自治会で組長や班長を行うことをどのように思いますか。

- ① 行ってもいい ② どちらかといえば行ってもいい
 ③ どちらかといえば行いたくない ④ 行いたくない
 ⑤ わからない

「行ってもいい」「どちらかといえば行ってもいい」と回答した割合が 2 割に満たない。2010 年調査と比べ減少している。国籍別では、ブラジル国籍の人で「行ってもいい」「どちらかといえば行ってもいい」と回答した割合が少ない。

	①	②	③	④	⑤	無回答	有効計	無効	合計
全体	27	27	76	68	83	6	287	5	292
2010 年調査	45	49	75	67	56	7	299	0	299
韓国・朝鮮	7	4	7	5	5	1	29	0	29
中国	8	4	1	4	15	1	33	0	33
ブラジル	4	3	34	30	23	1	95	2	97
ペルー	4	3	9	3	7	1	27	0	27
ボリビア	0	0	1	0	1	0	2	0	2
フィリピン	2	7	15	12	10	0	46	1	47
ベトナム	1	5	6	10	14	1	37	0	37
その他	1	1	3	4	8	1	18	2	20

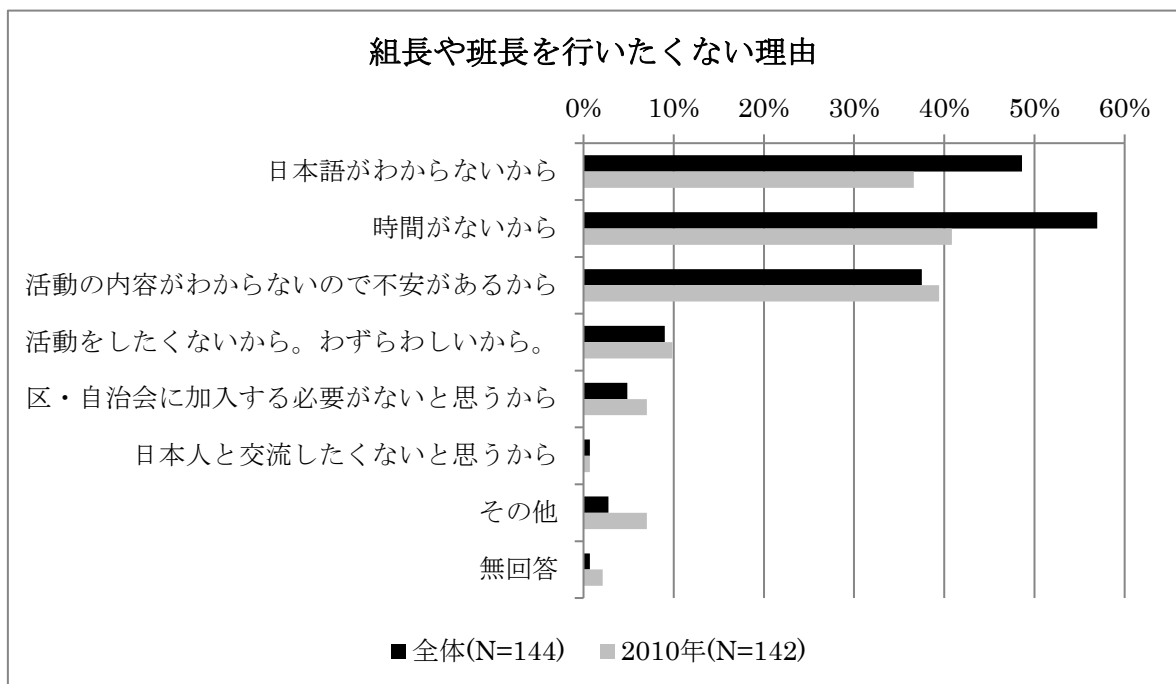


問 28. 組長や班長を行いたくない理由を教えてください。(複数選択)(問 27で③または④と回答した人のみ)

- ① 日本語がわからないから ② 時間がないから
- ③ 活動の内容がわからないので不安があるから
- ④ 活動をしたくないから。わずらわしいから。
- ⑤ 区・自治会に加入する必要がないと思うから
- ⑥ 日本人と交流したくないと思うから ⑦ その他

「時間がないから」「日本語がわからないから」「活動の内容がわからないので不安があるから」の順に回答した割合が多い。2010年調査と比べ「時間がないから」「日本語がわからないから」と回答した割合が増えている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	無回答	有効計	回答者数
全体	70	82	54	13	7	1	4	1	231	144
2010年調査	52	58	56	14	10	1	10	3	201	142

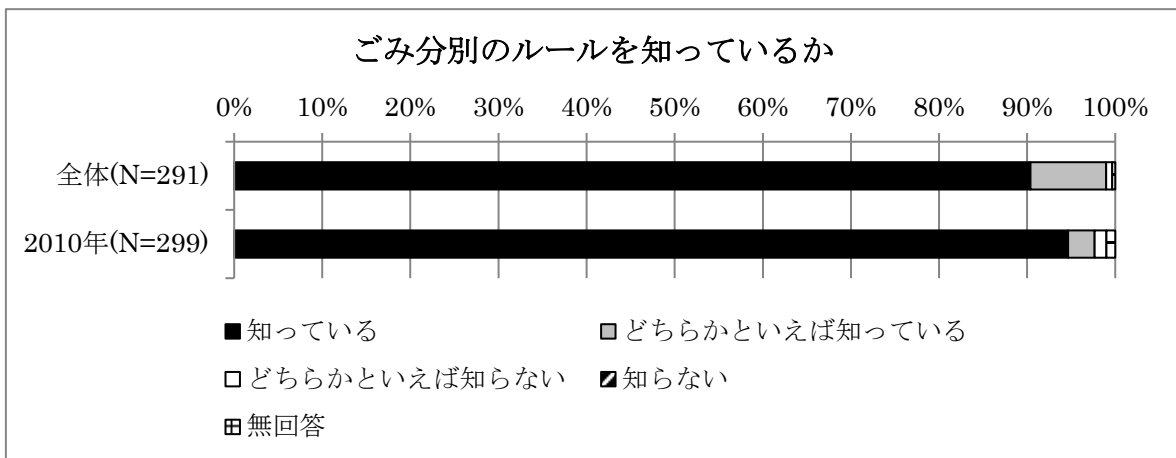


問 29. 小牧市では日常の資源・ごみを「燃やすごみ」「破碎ごみ」「粗大ごみ」「プラスチック製容器包装」など分けるルールがあることを知っていますか。

- ① 知っている ② どちらかといえば知っている
 ③ どちらかといえば知らない ④ 知らない

ほとんどの人が「知っている」「どちらかといえば知っている」と回答している。2010年調査と比べ大きな変化はない。

	①	②	③	④	無回答	有効計	無効	合計
全体	263	25	2	0	1	291	1	292
2010年調査	283	9	4	0	3	299	0	299

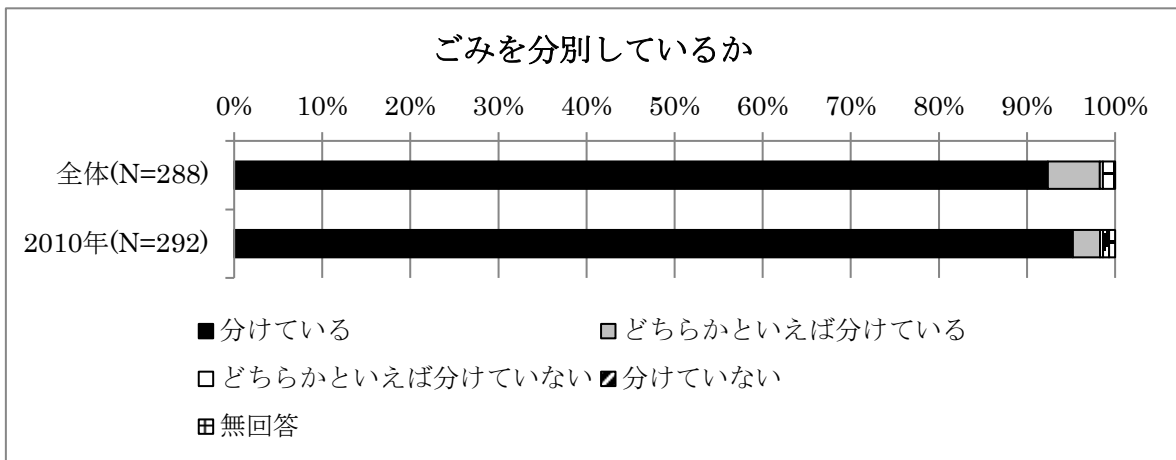


問 30. 資源・ごみを分けていますか。(問 29 で①または②と回答した人のみ)

- ① 分けている ② どちらかといえば分けている
 ③ どちらかといえば分けていない ④ 分けていない

ほとんどの人が「分けている」「どちらかといえば分けている」と回答している。2010年調査と比べ大きな変化はない。

	①	②	③	④	無回答	有効計	無効	合計
全体	266	17	1	0	4	288	0	288
2010年調査	278	9	1	2	2	292	0	292

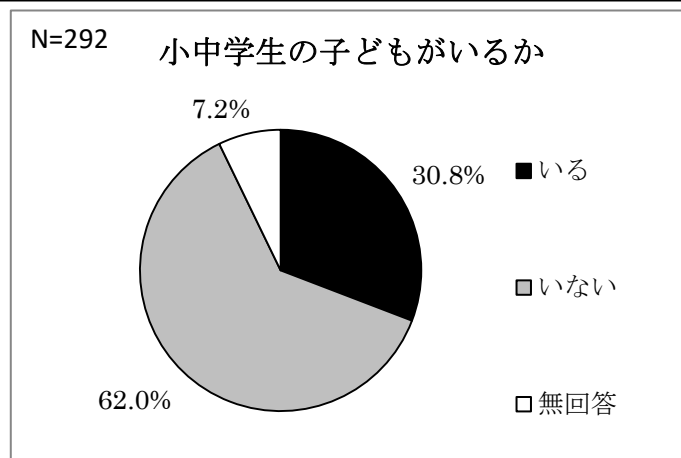


<子どもの教育について>

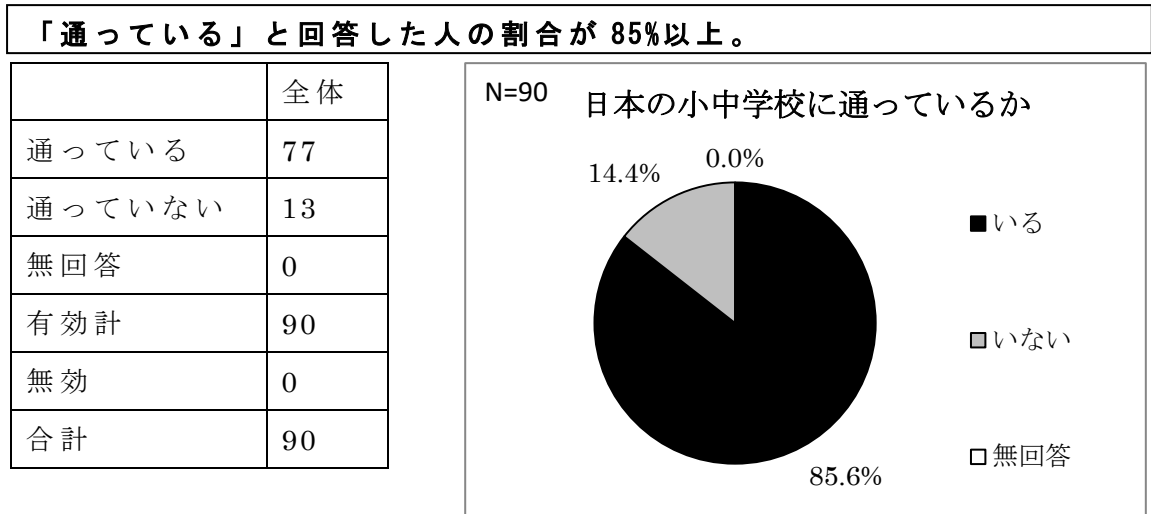
問 31. 2018年3月1日現在で、あなたに、6歳から15歳（日本の小学校・中学校に通う年齢）の子どもがいますか。

「いる」と回答した人の割合が約3割。

	全体
いる	90
いない	181
無回答	21
有効計	292
無効	0
合計	292



問 3 2 . あなたの子どもは日本の小学校・中学校に通っていますか。(問 3 1 で①と回答した人のみ)

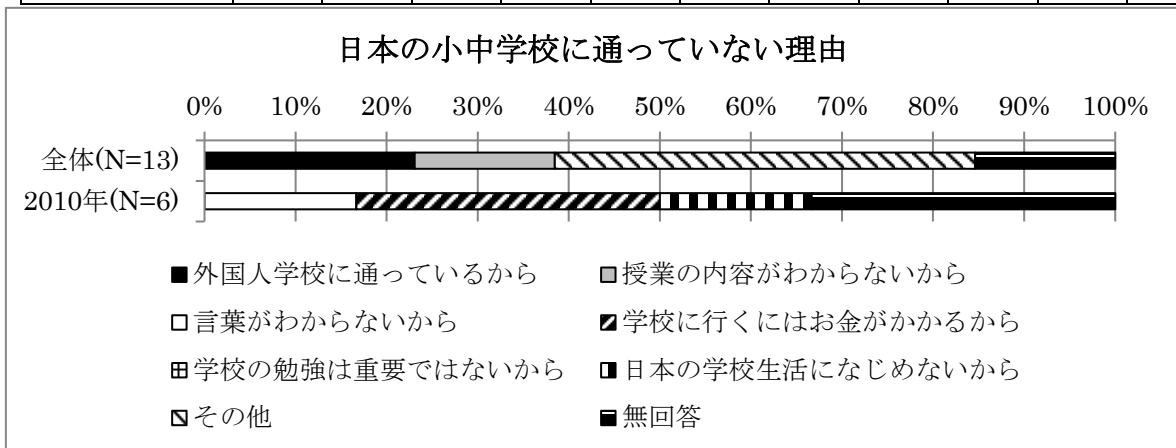


問 3 3 . 日本の小中学校に通っていない理由を教えてください。(問 3 2 で②と回答した人のみ)

- ① 外国人学校に通っているから ② 授業の内容がわからないから
 ③ 言葉がわからないから ④ 学校に行くにはお金がかかるから
 ⑤ 学校の勉強は重要ではないから
 ⑥ 日本の学校生活になじめないから ⑦ その他

「授業の内容がわからないから」が 2 件あった。「その他」では、「母国で勉強している」との回答があった。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	無回答	有効計	無効	合計
全体	3	2	0	0	0	0	6	2	13	0	13
2010年調査	-	0	1	2	0	1	-	2	6	0	6



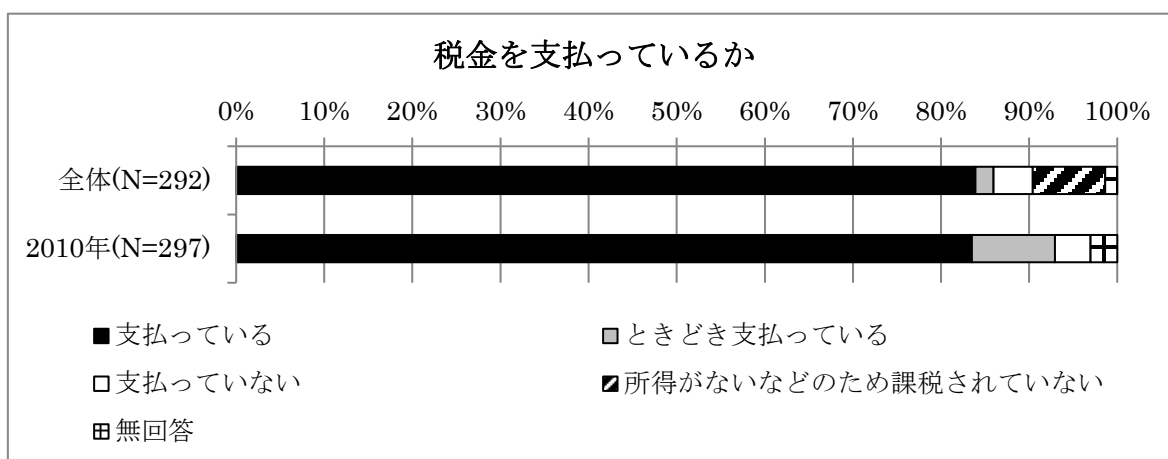
<保険・医療・福祉>

問34. あなたは所得税、市県民税などの、所得にかかる税金を支払っていますか。

- ① 支払っている ② ときどき支払っている ③ 支払っていない
④ 所得がないなどのため課税されていない

「ときどき支払っている」「支払っていない」と答えた人の割合は約7%。
2010年調査と比べ減少している。

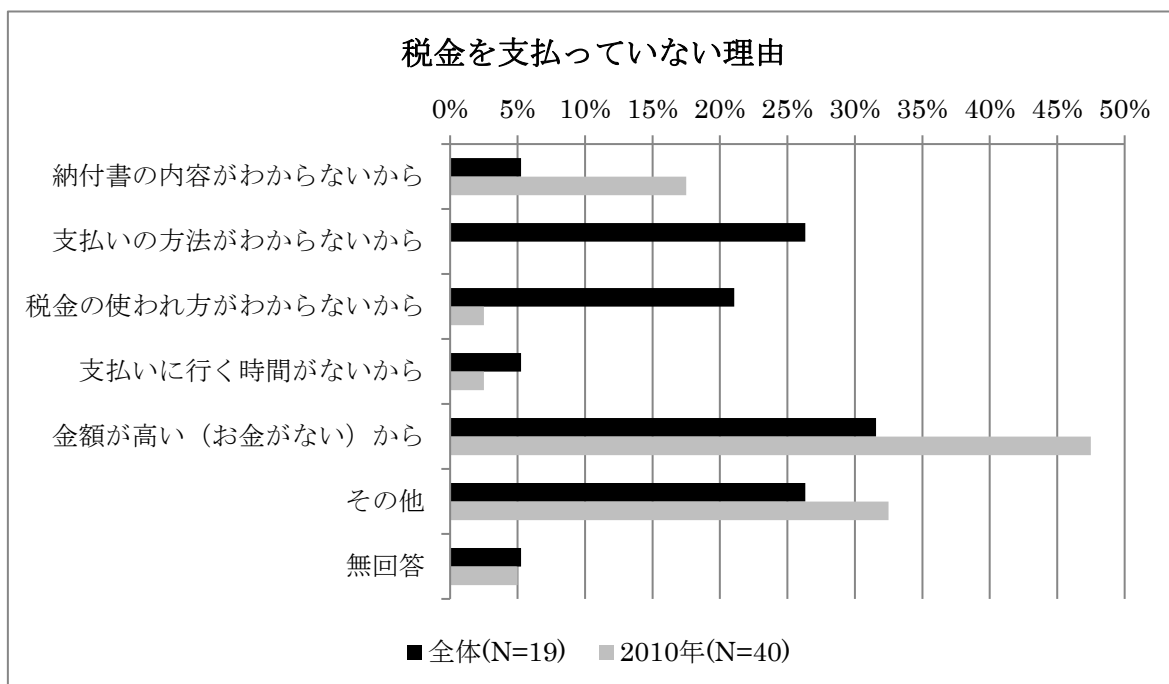
	①	②	③	④	無回答	有効計	無効	合計
全体	245	6	13	24	4	292	0	292
2010年調査	248	28	12	-	9	297	2	299



問 3 5 . 税金を支払っていない理由を教えてください。(複数回答)(問 3 4 で② または③と回答した人のみ)

「金額が高い(お金がない)から」が最も多いが、「支払い方法」や「税金の使われ方」がわからないとの回答もあった。

		全体	2010年調査
1	納付書の内容がわからないから	1	7
2	支払いの方法がわからないから	5	0
3	税金の使われ方がわからないから	4	1
4	支払いに行く時間がないから	1	1
5	金額が高い(お金がない)から	6	19
6	その他	5	13
無回答		1	2
有効計		22	41
回答者数		19	40

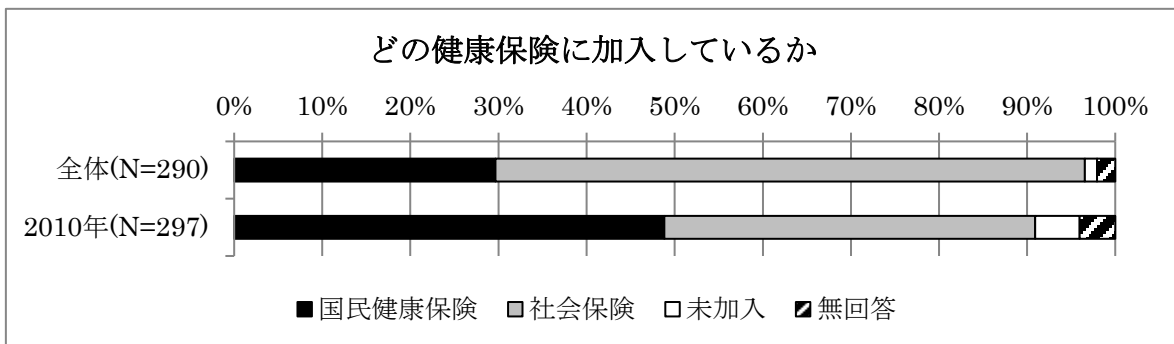


問 3 6 . あなたはどのような健康保険（病院に行ったときに使う保険）に加入していますか。

- ① 市で加入の手続きをする国民健康保険に加入している
- ② 会社や団体などで入る保険に加入している
- ③ どこにも加入していない

「会社や団体などで入る保険」（社会保険）に加入していると回答した人の割合が約3分の2を占める。2010年調査と比べ、この割合が増えている。

	①	②	③	無回答	有効計	無効	合計
全体	86	194	4	6	290	2	292
2010年調査	145	125	15	12	297	2	299

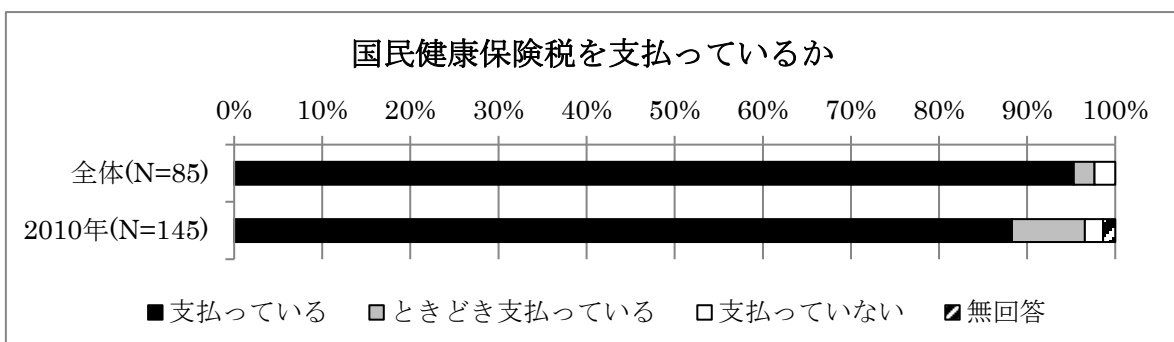


問 3 7 . あなたは国民健康保険税を支払っていますか。(問 3 6 で①と回答した人のみ)

- ① 支払っている
- ② ときどき支払っている
- ③ 支払っていない

「ときどき支払っている」「支払っていない」と回答した人の割合は約5%。2010年調査と比べ減少している。

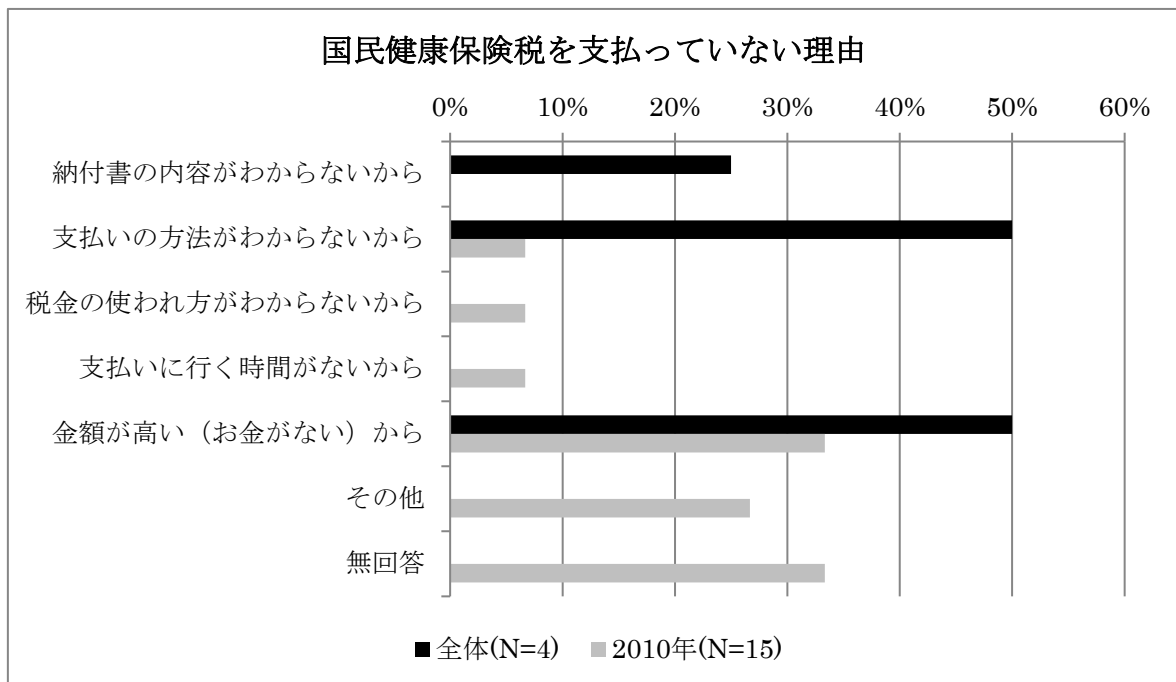
	①	②	③	無回答	有効計	無効	合計
全体	81	2	2	0	85	1	86
2010年調査	128	12	3	2	145	0	145



問 3 8 . 国民健康保険税を支払っていない理由を教えてください。(複数回答)(問 3 7 で②または③と回答した人のみ)

「金額が高い(お金がない)から」に加え、「支払い方法」や「納付書の内容」がわからないとの回答があった。

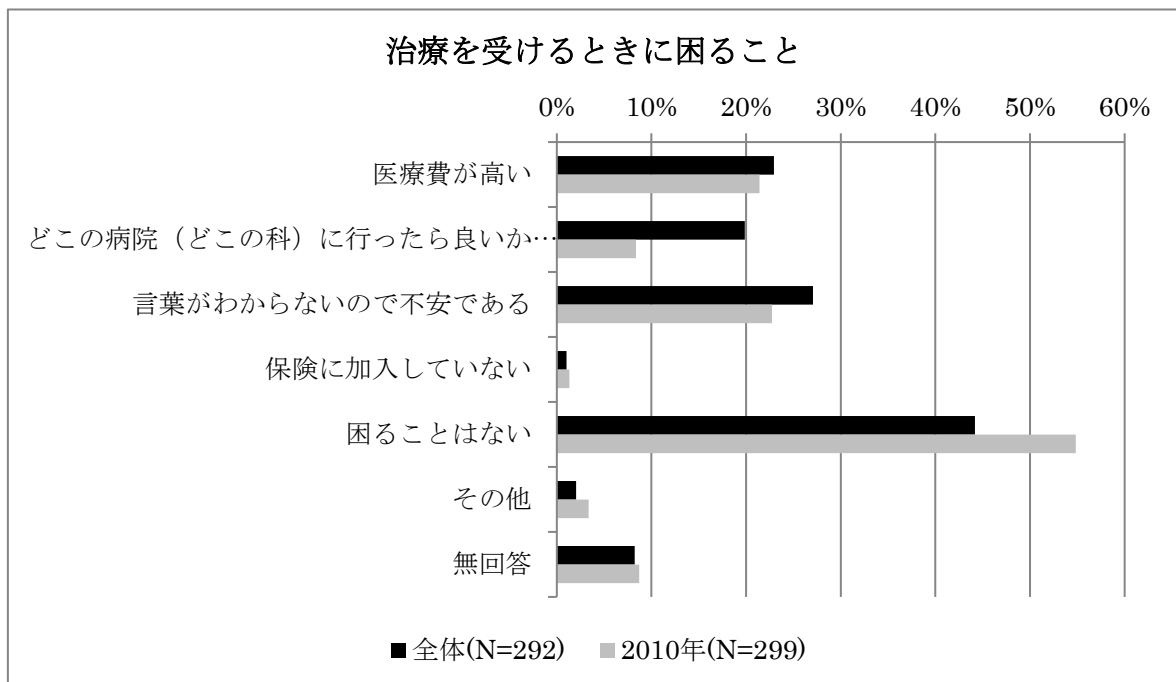
		全体	2010年調査
1	納付書の内容がわからないから	1	0
2	支払いの方法がわからないから	2	1
3	税金の使われ方がわからないから	0	1
4	支払いに行く時間がないから	0	1
5	金額が高い(お金がない)から	2	5
6	その他	0	4
無回答		0	5
有効計		5	12
回答者数		4	15



問39. あなたは、病気やケガで治療を受けるときに困ることはありますか。(複数回答)

「困ることはない」を除くと、「言葉がわからない」「医療費が高い」「どこの病院に行けばよいかわからない」と回答した割合が多い。

		全体	2010年調査
1	医療費が高い	67	64
2	どこの病院(どこの科)に行ったら良いかわからない	58	25
3	言葉がわからないので不安である	79	68
4	保険に加入していない	3	4
5	困ることはない	129	164
6	その他	6	10
無回答		24	26
有効計		342	335
回答者数		292	299



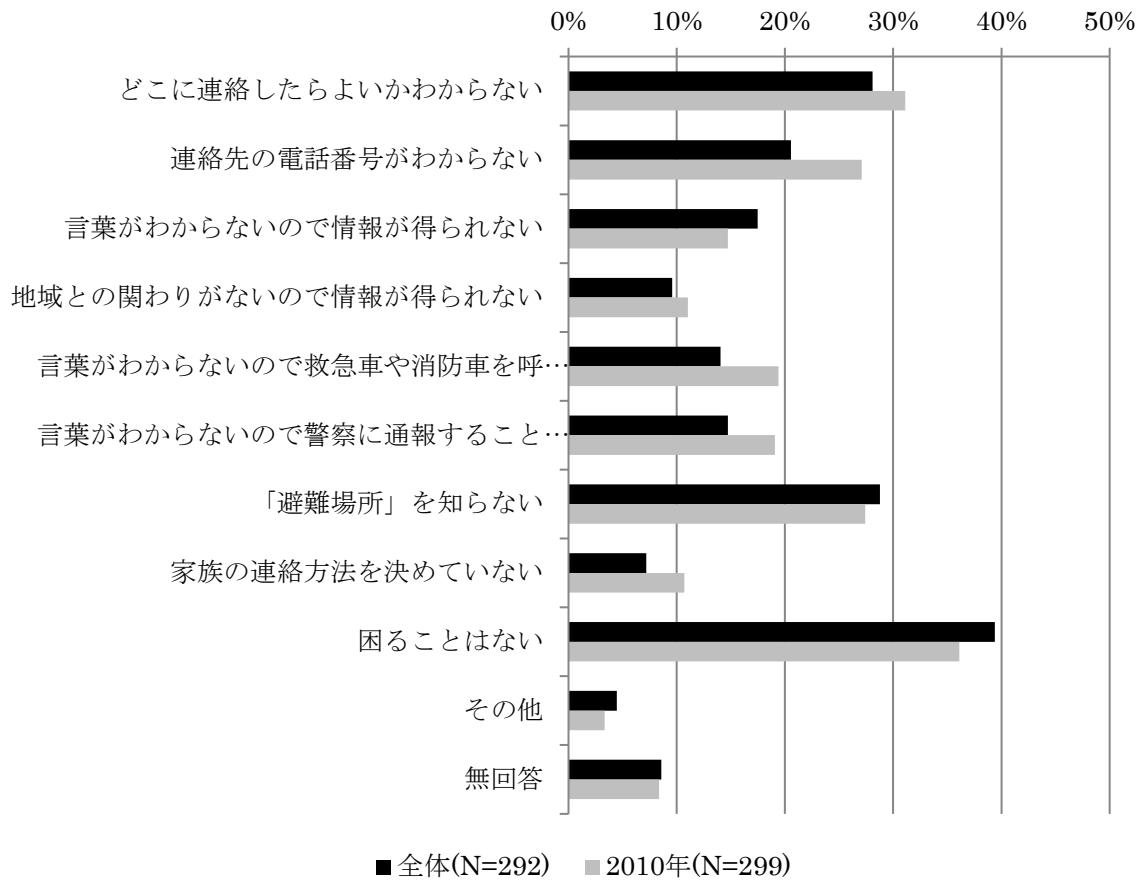
<防災・防犯・交通安全>

問40. 地震・火事・事件・事故などの災害のとき、あなたが困ることはありますか。(複数回答)

「困ることはない」を除くと、「避難場所」を知らない」「どこに連絡したらよいかわからない」の順に回答数が多い。2010年調査と比べ大きな変化はない。

		全体	2010年調査
1	どこに連絡したらよいかわからない	82	93
2	連絡先の電話番号がわからない	60	81
3	言葉がわからないので情報が得られない	51	44
4	地域との関わりがないので情報が得られない	28	33
5	言葉がわからないので救急車や消防車を呼ぶことができない	41	58
6	言葉がわからないので警察に通報することができない	43	57
7	「避難場所」を知らない	84	82
8	家族の連絡方法を決めていない	21	32
9	困ることはない	115	108
10	その他	13	10
無回答		25	25
有効計		538	598
回答者数		2292	299

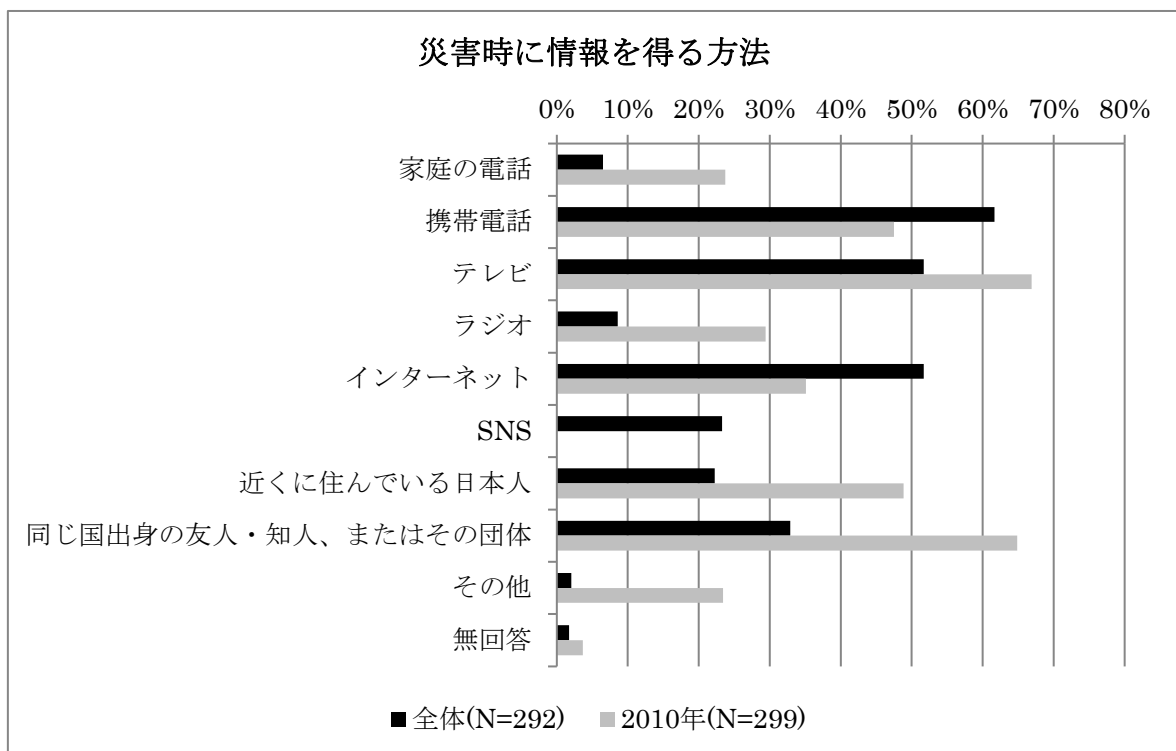
災害のとき困ること



問 4 1 . あなたは災害が起こったときにどのような方法で情報を得ますか。(複数回答)

「携帯電話」「テレビ」「インターネット」と回答した人が多い。2010年調査と比べると、「携帯電話」「インターネット」「SNS」と回答した人が増加した一方、「家庭の電話」「ラジオ」「近くに住んでいる日本人」「同じ国出身の友人・知人」と回答した人が減少している。

		全体	2010年調査
1	家庭の電話	19	71
2	携帯電話	180	142
3	テレビ	151	200
4	ラジオ	25	88
5	インターネット	151	105
6	SNS	68	-
7	近くに住んでいる日本人	65	146
8	同じ国出身の友人・知人、またはその団体	96	194
9	その他	6	70
無回答		5	11
有効計		761	1016
回答者数		292	299



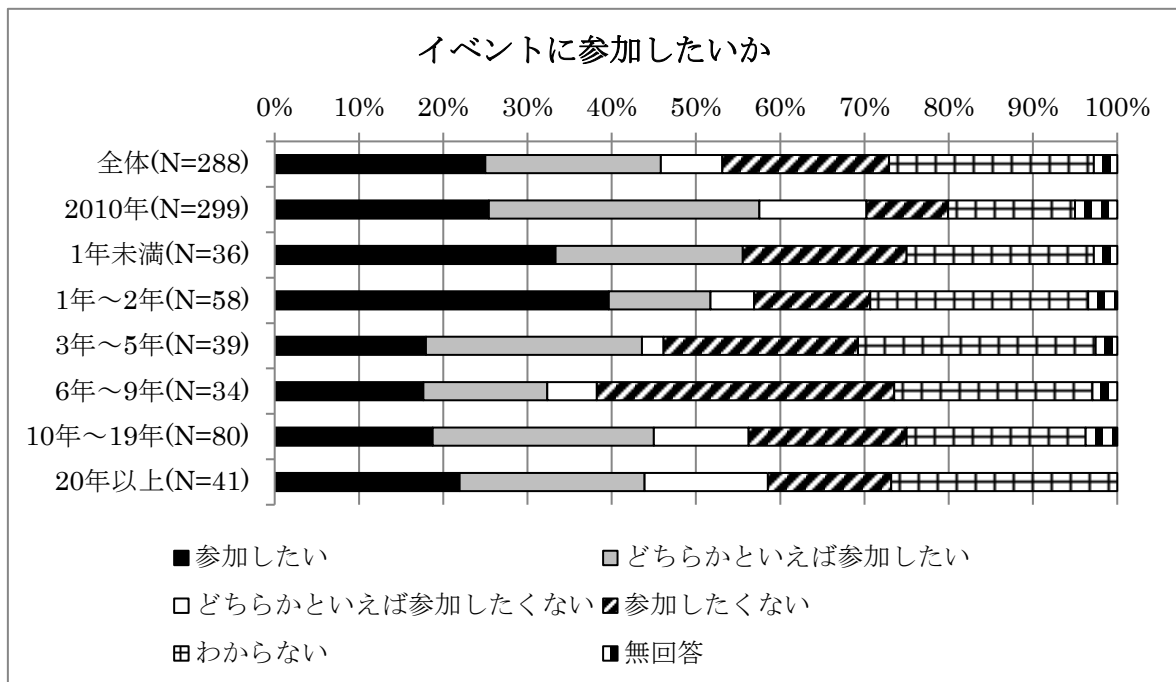
<イベントへの参加について>

問 4 2. 小牧市には、たくさんのイベントがあります。あなたは参加したいと思いますか。

- ① 参加したい ② どちらかといえば参加したい
 ③ どちらかといえば参加したくない ④ 参加したくない
 ⑤ わからない

「参加したい」「どちらかといえば参加したい」が約 46%。2010 年調査と比べ減少している。小牧市在住年数別では、6～9 年目で「参加したくない」と回答する割合が多い。

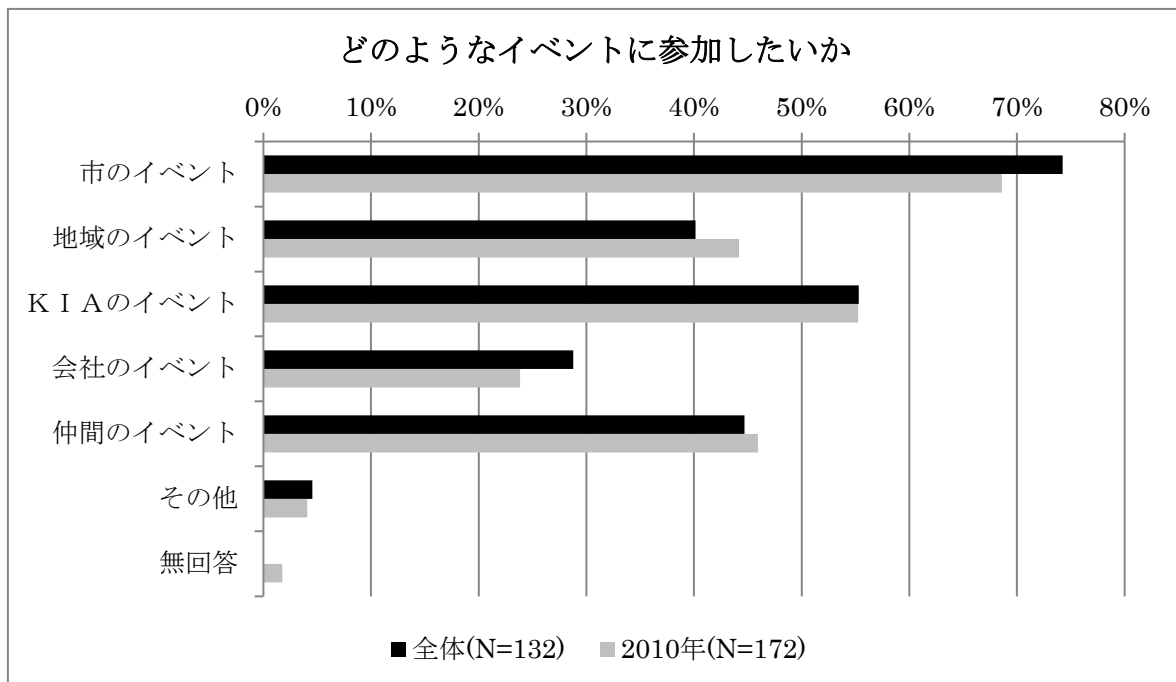
		①	②	③	④	⑤	無回答	有効計	無効	合計
全体		72	60	21	57	70	8	288	4	292
2010 年調査		76	96	38	29	45	15	299	0	299
小牧市 在住年数	1 年未満	12	8	0	7	8	1	36	1	37
	1 年～2 年	23	7	3	8	15	2	58	0	58
	3 年～5 年	7	10	1	9	11	1	39	2	41
	6 年～9 年	6	5	2	12	8	1	34	0	34
	10 年～19 年	15	21	9	15	17	3	80	0	80
	20 年以上	9	9	6	6	11	0	41	0	41



問 4 3 . あなたはどのようなイベントに参加したいと思いますか。(複数回答)(問 4 2 で①または②と回答した人のみ)

「市のイベント」「K I Aのイベント」等を回答した人が多い。2010 調査と比べ大きな変化はない。

		全体	2010年調査
1	市民まつり・平成夏まつりなどの市のイベント	98	118
2	区・自治会などが行う地域のイベント	53	76
3	小牧市国際交流協会(K I A)のイベント	73	95
4	会社(勤務先)のイベント	38	41
5	同じ国出身の仲間によるイベント	59	79
6	その他	6	7
無回答		0	3
有効計		327	416
回答者数		132	172

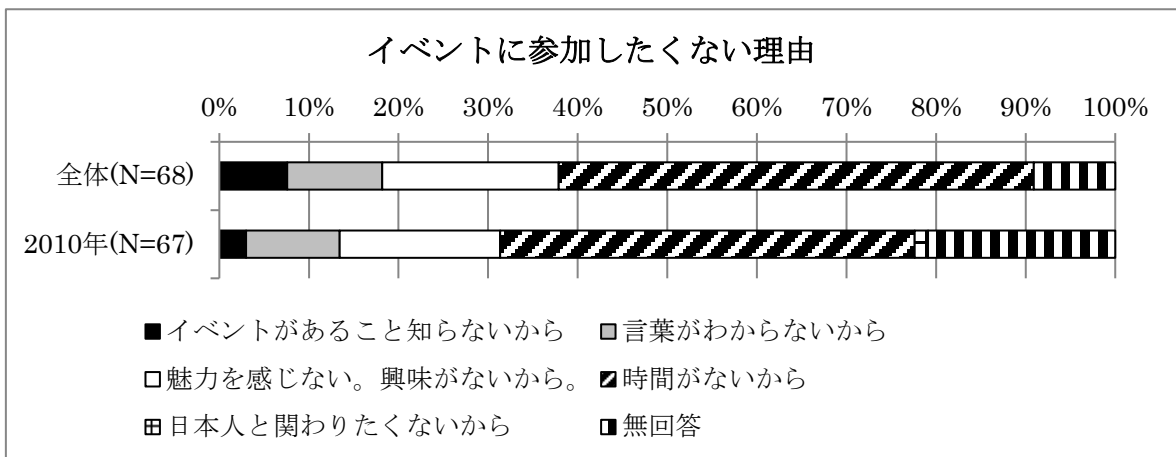


問 4 4 . イベントに参加したくない理由を教えてください。(問 4 2 で③または④と回答した人のみ)

- ① イベントがあること知らないから ② 言葉がわからないから
 ③ 魅力を感じない。興味がないから。 ④ 時間がないから
 ⑤ 日本人と関わりたくないから ⑥ その他

「時間がないから」と回答した人の割合が約 5 割。2010 年の調査と比べ大きな変化はない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	有効計	無効	合計
全体	5	7	13	35	0	2	6	68	10	78
2010 年 調査	2	7	12	31	1	0	14	67	0	67

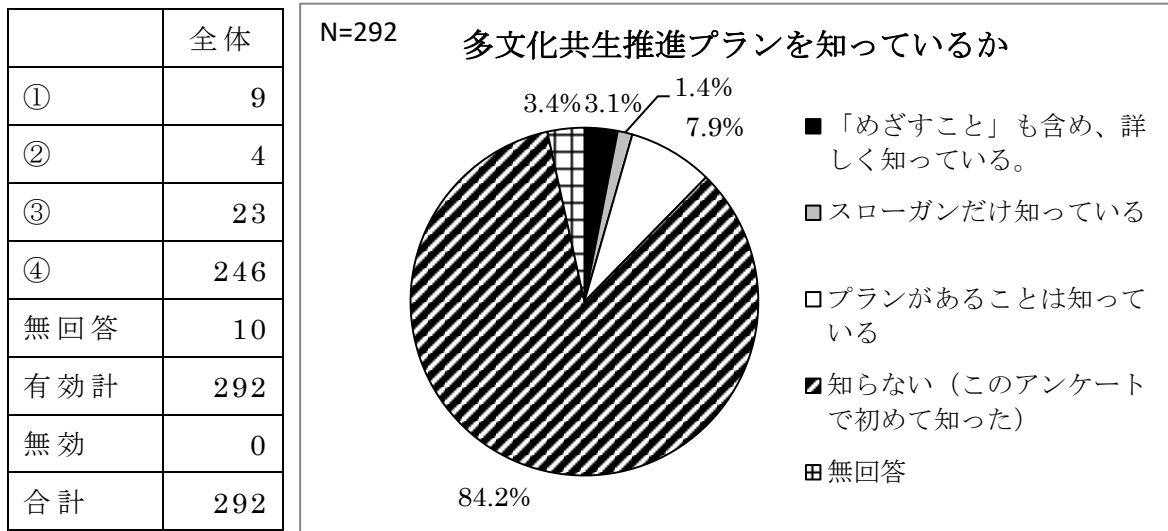


<小牧市多文化共生推進プランについて>

問 4 5 . あなたは、小牧市多文化共生推進プランを知っていますか。

- ① 「めざすこと」も含め、詳しく知っている。
- ② スローガンだけ知っている ③ プランがあることは知っている
- ④ 知らない（このアンケートで初めて知った）

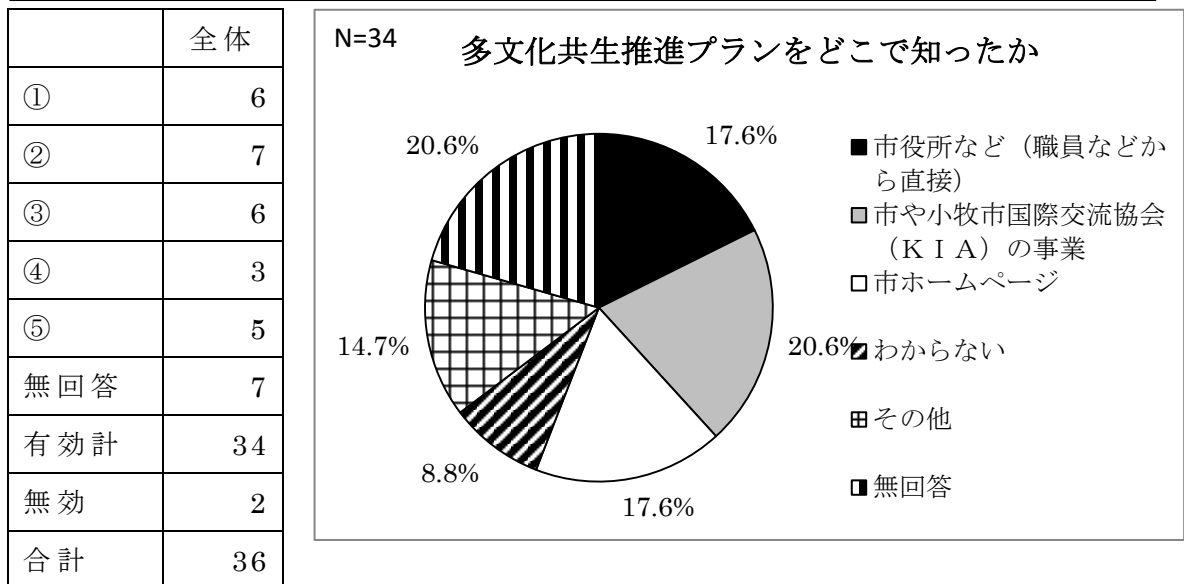
プランの認知度は 12.3%。



問 4 6 . 小牧市多文化共生推進プランをどこで知りましたか。（問 4 5 で①、②、③と回答した人のみ）

- ① 市役所など（職員などから直接）
- ② 市や小牧市国際交流協会（K I A）の事業 ③ 市ホームページ
- ④ わからない ⑤ その他

市・K I A の事業や職員、市ホームページなど、様々な回答が選ばれた。

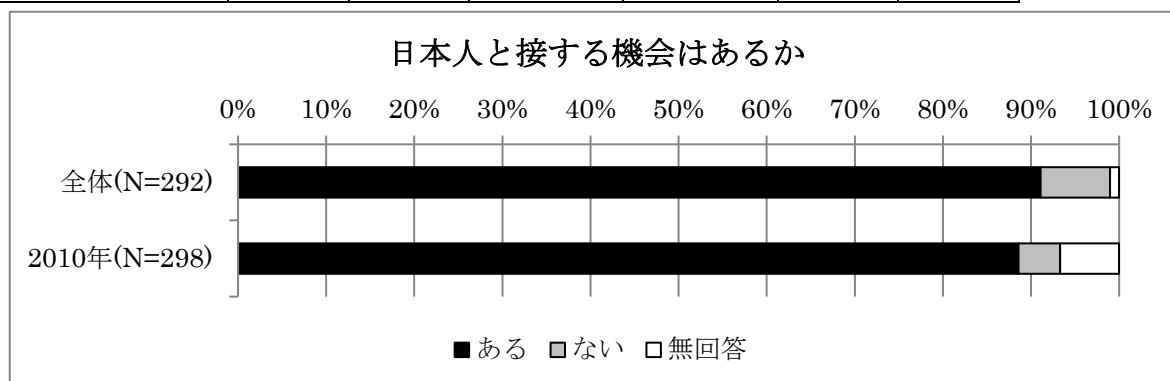


<その他>

問 47. あなたは日常生活で日本人と接する機会がありますか。

約 9 割が「ある」と回答。2010 年の調査と比べ大きな変化はない。

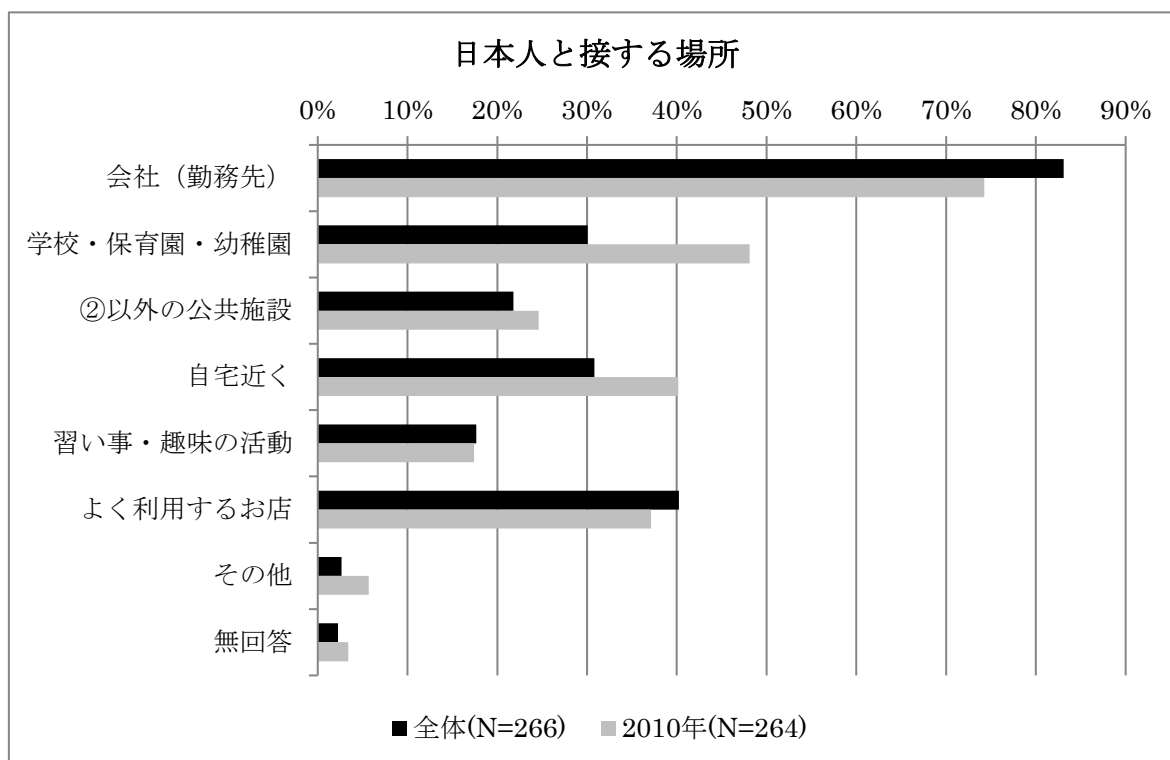
	ある	ない	無回答	有効計	無効	合計
全体	266	23	3	292	0	292
2010 年調査	264	14	20	298	1	299



問 4 8 . 日常生活で日本人と接する場所はどこですか。(複数回答)(問 4 7 で「あ
る」と回答した人のみ)

「会社(勤務先)」と回答した人の割合が 8 割を超える。2010 年調査と比
べると、「学校・保育園・幼稚園」で接すると回答した割合が減少してい
る。

		全体	2010 年調査
1	会社(勤務先)	221	196
2	学校・保育園・幼稚園(子どもを通じた交流も 含む)	80	127
3	②以外の公共施設	58	65
4	自宅近く(区・自治会などの集まりも含む)	82	106
5	習い事・趣味の活動	47	46
6	よく利用するお店	107	98
7	その他	7	15
無回答		6	9
有効計		602	653
回答者数		266	264



問 5 1 . あなたは毎日の生活の中で、地域になじみ、日本人と交流・共生していくためには、何が重要だと思いますか。(外国人に必要なこと・地域の日本人に必要なこと・市に必要なこと・会社(勤務先)に必要なことなど、自由に意見を書いてください。)

- ・自由意見については、292人中170人(58.2%)から回答があった。
- ・「日本人」「外国人」双方について、お互いを理解したりコミュニケーションを図ることが必要であるとの意見が多かった。
- ・「外国人」に対しては、日本語や日本の生活に必要なルール等を学ぶ必要性を訴える意見が多かった。日本の生活に必要なルールとして、ゴミ出しの他、交通ルールを挙げる意見もあった。
- ・「日本人」に対しては、差別や偏見をなくしてほしいとの意見があった。
- ・「市」に対しては、外国人に向けた、母国語ややさしい日本語での情報提供を求める意見があった。
- ・「企業」に対しては、処遇改善や日本語の勉強機会を求める意見があった。

調査票

たぶんかきょうせい かん あんけーと ねが 多文化共生に関するアンケートのお願い

小牧市では、2011年3月に「小牧市多文化共生推進プラン（以下「プラン」といいます。）」を作り、市全体で多文化共生を進めてきました。プランを作ってから5年以上が経ち、今後は、2019年度に作る予定の「小牧市まちづくり推進計画」にあわせ、プランの改定（見直すこと）を行っていく予定です。このため、プランを作ったときからの市民の意向の変化やプランの認知度を調べ、プランの改定に向けた準備を行うため、アンケートを行います。

このアンケートは、18歳以上で小牧市内に住んでいる人から無作為に3,000人（日本人市民1,000人、外国人市民2,000人）に送っています。回答した内容は、プライバシーを保護し、他の目的には使いません。

つきましては、別紙アンケートを回答することに、協力をお願いします。

2018年3月 小牧市

アンケートの回答のしかた

- 1 このアンケートが届いた本人が記入（回答して書くこと）してください。ただし、本人が記入することが難しいときは、18歳以上の家族が記入してください。
- 2 問いの右側にある□（四角）の中に、当てはまる番号を1つ記入してください。ただし、「当てはまるものを全て選んでください。」と書いてあるときは、当てはまる番号を全て記入してください。その他を選んだときは、その内容を（ ）の中に記入してください。
- 3 アンケートを記入したら、一緒に入っていた封筒に入れて、**3月23日（金）まで**に郵便ポストに入れてください（切手はいりません）。

【問合先】

小牧市 地域活性化営業部 シティプロモーション課 にぎわい創出係
〒485-8650 小牧市堀の内三丁目1番地 電話：0568-76-1173

ようご せつめい 用語の説明

○多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

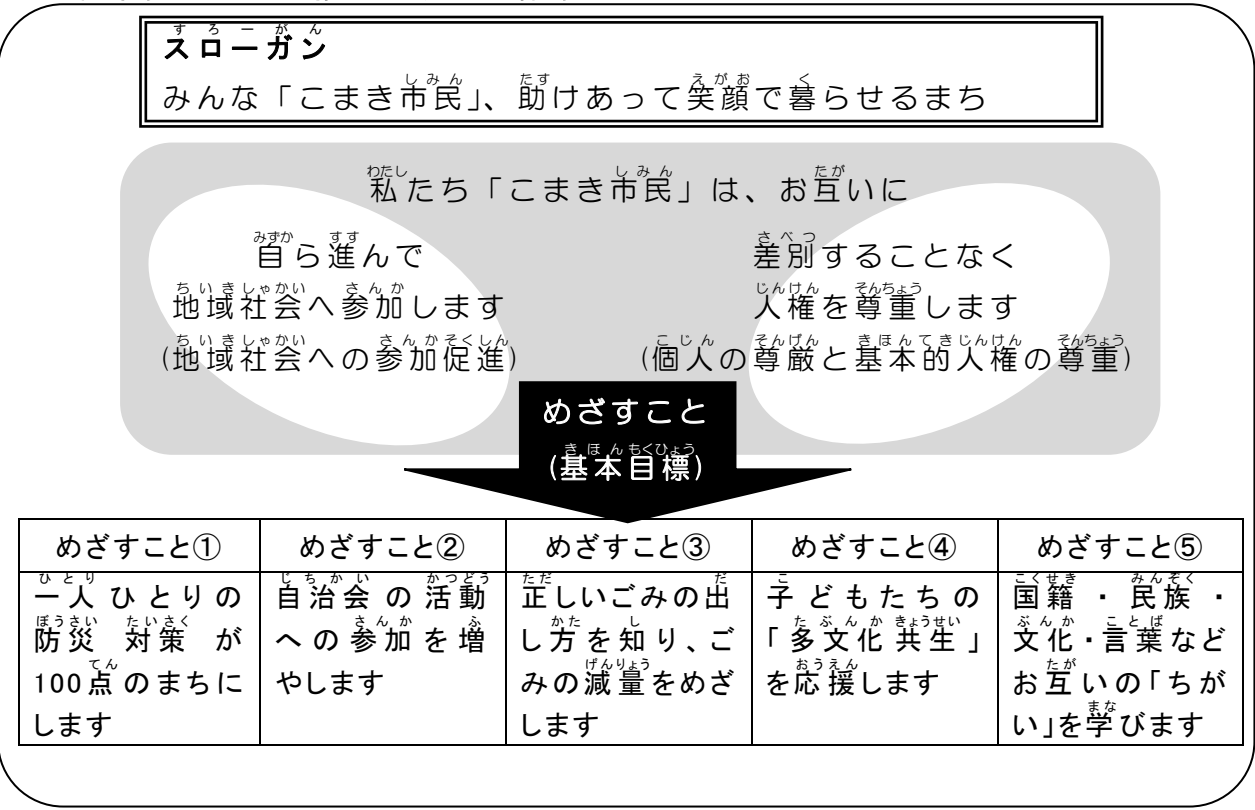
○外国人市民

一般的には外国籍の人を表しますが、このアンケートでは外国にルーツを持つ日本国籍の人も含みます。

○多文化共生推進プラン

2011年3月に小牧市が外国人雇用に関わる企業や多文化共生に関わる日本人市民、外国人市民などと一緒に作ったプランです。外国人住民の滞在の長期化や定住化、日本で生まれ育った外国にルーツを持つ子どもの増加などにより、表面化した様々な日常の地域生活の課題を解決するため、行政サービスだけでなく、市民と企業と行政が一体となり、実際に生活をしている地域の目線に立った取り組みを掲げています。「みんな「こまき市民」、助けあって笑顔で暮らせるまち」をスローガンに、下の図のとおり、5つの「めざすこと」を掲げています。

○小牧市多文化共生推進プラン 体系図



たぶんかきょうせい かん あんけーと
多文化共生に関するアンケート

<あなた自身に関すること>

問1 あなたの国籍を教えてください。

- ① 韓国・朝鮮 ② 中国 ③ ブラジル ④ ペルー
 ⑤ ポリビア ⑥ フィリピン ⑦ ベトナム
 ⑧ その他 (_____)

問2 あなたの性別を教えてください。

- ① 男性 ② 女性

問3 あなたの年齢を教えてください。

- ① 18歳・19歳 ② 20歳～29歳 ③ 30歳～39歳
 ④ 40歳～49歳 ⑤ 50歳～59歳 ⑥ 60歳～69歳
 ⑦ 70歳以上

問4 あなたは、日本にどのくらい住んでいますか。

- ① 1年未満 ② 1年～2年 ③ 3年～5年
 ④ 6年～9年 ⑤ 10年～19年 ⑥ 20年以上

問5 あなたは、小牧市にどのくらい住んでいますか。

- ① 1年未満 ② 1年～2年 ③ 3年～5年
 ④ 6年～9年 ⑤ 10年～19年 ⑥ 20年以上

問6 あなたはどのような家に住んでいますか。

- ① 公営住宅（県営・市営住宅など）
 ② 民間のアパート・賃貸マンション ③ 持ち家
 ④ 会社の寮 ⑤ その他 (_____)

問7 あなたの今現在の最終学歴（どの学校を最後に卒業したか）を教えてください。

（日本の学校でも母国などの学校でもどちらでも構いません。）

- ① 中学校 ② 高校 ③ 短期大学・専門学校 ④ 大学
 ⑤ 大学院 ⑥ その他 (_____)

問8 あなたの仕事について教えてください。

- ① 自営業（農林漁業、商店など） ② 会社員（正社員）
 ③ 契約社員・派遣社員 ④ パート・アルバイト ⑤ 研修生・技能実習生
 ⑥ 学生 ⑦ 専業主婦（夫） ⑧ 休職中（失業中） ⑨ 無職（定年後を含む）
 ⑩ その他 (_____)

問9 あなたの家族構成を教えてください。

- ① 自分一人の単身者世帯 ② 夫婦二人の世帯
③ 親と子の二世帯世帯 ④ 祖父母と親と子（親と子と孫）の三世帯世帯
⑤ その他（ _____ ）

問10 あなたの住んでいる地区を教えてください。（地区が分からない場合は、住んでいる地区の郵便番号を教えてください。）

- ① 小牧南地区（北外山など） ② 小牧地区（小牧など）
③ 巾下地区（舟津など） ④ 味岡地区（岩崎など）
⑤ 篠岡地区（桃花台など） ⑥ 北里地区（藤島など）

<生活の情報>

問11 あなたは生活に必要な情報を、何を通して得ていますか。（当てはまるものを全て選んでください。）

- ① 母語・母文化の新聞・雑誌 ② 母語・母文化のラジオ・テレビ
③ 日本語の新聞・雑誌 ④ 日本のテレビ・ラジオ ⑤ 市の広報
⑥ 市の外国語版生活情報誌 ⑦ 市のホームページ・SNS
⑧ 小牧市国際交流協会（K I A） ⑨ インターネット
⑩ SNS（Facebook、LINEなど） ⑪ 日本の友人・知人・親戚
⑫ 同じ国出身の友人・知人、またはその団体・コミュニティ
⑬ 会社や学校・日本語教室 ⑭ 宗教施設（教会など）
⑮ 市役所などの公共施設 ⑯ 大使館や領事館
⑰ その他（ _____ ）

問12 小牧市が提供している生活に関する情報の中で、あなたの役に立っているものは何ですか。（当てはまるものを全て選んでください。）

- ① 市の広報 ② 市の外国語版生活情報誌
③ 市のホームページ・SNS ④ 外国語版ごみ分別アプリ
⑤ 小牧市防災情報メール配信サービス
⑥ その他（ _____ ）

問13 外国語版生活情報誌や市のホームページを、より役立つものにするためには、どうすればよいと思いますか。

- ① イラストや写真を増やして読みやすくする
② 文化情報やイベント情報を充実させる ③ 公共施設の情報を充実させる
④ 日本語の学習など講座の情報を充実させる
⑤ その他（ _____ ）

問14 あなたは市からのお知らせや回覧板などの郵便物が届いたときに、書いてある内容が分からないことはありますか。

- ① ある ② ときどきある ③ ない
④ その他（ _____ ）

問15 '問14'で①および②と答えた人にお聞きします。分からないときはどうしますか。(当てはまるものを全て選んでください。)

- ① 書いてある「問合せ先」に電話する ② 書いてある「問合せ先」に質問に行く
 ③ 日本語の分かる友人に聞く ④ 日本語の分かる子どもに聞く
 ⑤ 近所の日本人に聞く ⑥ 市の通訳に聞く ⑦ 分からないままにする
 ⑧ その他 (_____)

問16 '問15'で⑦と答えた人にお聞きします。理由を教えてください。(当てはまるものを全て選んでください。)

- ① 時間がないから ② 重要な文書ではないと思うから
 ③ 書いてある中から「問合せ先」を見つけないから
 ④ 日本語の分かる友人や子どもがいらないから
 ⑤ 日本語が分からないので、「問合せ先」や近所の日本人に質問ができないから
 ⑥ その他 (_____)

＜言語について＞

問17 あなたは日本語がどの程度できますか。

(1) 聞く

- ① まったく分からない ② 簡単な自己紹介が分かる
 ③ 日常会話が分かる ④ テレビやラジオのニュースが分かる

(2) 話す

- ① まったく話せない ② 簡単な自己紹介ができる
 ③ 日常会話ができる ④ 仕事や学校で打合せができる

(3) 読む

- ① まったく読めない ② ひらがな(カタカナ)を読める
 ③ 看板など、日常生活で見る漢字がわかる
 ④ 漢字を使った長い文章が読める

(4) 書く

- ① まったく書けない ② ひらがな(カタカナ)を書ける
 ③ 漢字を使って短い文章が書ける ④ 漢字を使って長い文章が書ける

問18 あなたが読んで理解できる言語は何ですか。(当てはまるものを全て選んでください。)

- ① 日本語 ② 中国語 ③ ハンゲル ④ 英語
 ⑤ ポルトガル語 ⑥ スペイン語 ⑦ タガログ語 ⑧ ベトナム語

問19 あなたは日本語の通訳や翻訳を人に頼むことはありますか。

(1) 家族や友人

- ① よく頼む ② ときどき頼む ③ 頼まない

(2) 会社の人

- ① よく頼む ② ときどき頼む ③ 頼まない

(3) ボランティア・NPO など

- ① よく頼む ② ときどき頼む ③ 頼まない

- (4) 有料で人に頼む
 ① よく頼む ② ときどき頼む ③ 頼まない
- (5) 小牧市国際交流協会 (K I A)
 ① よく頼む ② ときどき頼む ③ 頼まない
- (6) 市役所の通訳
 ① よく頼む ② ときどき頼む ③ 頼まない

(4)

(5)

(6)

問20 あなたはどんなときに日本語の通訳を頼みたいと思いますか。(当てはまるものを全て選んでください。)

- ① 病院へ行くとき ② 役所の手続き ③ 学校の手続き
 ④ 仕事の手続き ⑤ 郵便局や銀行の手続き ⑥ 買い物をするとき
 ⑦ 手紙が来たとき ⑧ 地震や火事などの災害が起こったとき ⑨ 頼まない
 ⑩ その他 ()

問21 あなたは日本語教室に通っていますか。

- ① 通っている ② 過去に通ったことがある ③ 通っていない

問22 ‘問21’で②および③と答えた人にお聞きします。現在通っていない理由を教えてください。(当てはまるものを全て選んでください。)

- ① 時間がないから ② 通える良い教室がないから
 ③ 生活に余裕がないから ④ 日本語がわかるから
 ⑤ 日本語は出来なくてもよいから ⑥ 教室があることを知らないから
 ⑦ その他 ()

<あなたの住んでいる地域での生活>

問23 あなたは、区・自治会を知っていますか。

- ① 活動内容を知っている ② 聞いたことがある ③ 知らない

問24 あなたは、区・自治会に加入していますか。

- ① 加入している ② 加入していない

問25 ‘問24’で①と答えた人にお聞きします。あなたは、区・自治会の活動(まちの掃除や防犯の活動など)や地域のお祭りなど、地域の活動に参加していますか。

- ① よく参加している ② ときどき参加している
 ③ あまり参加していない ④ 参加したことがない

問26 ‘問24’で②と答えた人にお聞きします。加入していない理由を教えてください。(当てはまるものを全て選んでください。)

- ① 日本語がわからない ② 時間がない
 ③ どうすれば加入できるのかわからない ④ なぜ加入する必要があるのかわからない
 ⑤ 区・自治会の活動をしたくない ⑥ 日本人と関わりたくない
 ⑦ その他 ()

問27 あなたは、区・自治会で組長や班長を行うことをどのように思いますか。

- ① 行っていい ② どちらかといえば行っていい
③ どちらかといえば行いたくない ④ 行いたくない ⑤ わからない

問28 ‘問27’で③および④と答えた人にお聞きします。行いたくない理由を教

えてください。(当てはまるものを全て選んでください。)

- ① 日本語がわからないから ② 時間がないから
③ 活動の内容がわからないので不安があるから
④ 活動をしたくないから。わずらわしいから。
⑤ 区・自治会に加入する必要がないと思うから ⑥ 日本人と交流したくないと思うから
⑦ その他 ()

問29 小牧市では日常の資源・ごみを「燃やすごみ」「破砕ごみ」「粗大ごみ」「プラスチック製容器包装」などに分けるルールがあることを知っていますか。

- ① 知っている ② どちらかといえば知っている
③ どちらかといえば知らない ④ 知らない

問30 ‘問29’で①および②と答えた人にお聞きします。資源・ごみを分けていますか。

- ① 分けている ② どちらかといえば分けている
③ どちらかといえば分けていない ④ 分けていない

<子どもの教育について>

問31 3月1日現在で、あなたに、6歳から15歳(日本の小学校・中学校に通う年齢)の子どもがいますか。

- ① いる ② いない

問32 ‘問31’で①と答えた人にお聞きします。あなたの子どもは日本の小学校・中学校に通っていますか。

- ① 通っている ② 通っていない

問33 ‘問32’で②と答えた人にお聞きします。通っていない理由を教えてください。

- ① 外国人学校に通っているから ② 授業の内容がわからないから
③ 言葉がわからないから ④ 学校に行くにはお金がかかるから
⑤ 学校の勉強は重要ではないから ⑥ 日本の学校生活になじめないから
⑦ その他 ()

<保険・医療・福祉>

問34 あなたは所得税、市県民税などの、所得にかかる税金を支払っていますか。

- ① 支払っている ② ときどき支払っている ③ 支払っていない
④ 所得がないなどのため課税されていない

問35 ‘問34’で②および③と答えた人にお聞きします。支払っていない理由を教えてください。(当てはまるものを全て選んでください。)

- ① 納付書の内容がわからないから ② 支払いの方法がわからないから
③ 税金の使われ方がわからないから ④ 支払いに行く時間がないから
⑤ 金額が高い(お金がない)から
⑥ その他(_____)

問36 あなたはどのような健康保険(病院に行ったときに使う保険)に加入していますか。

- ① 市で加入の手続きをする国民健康保険に加入している
② 会社や団体などで入る保険に加入している ③ どこにも加入していない

問37 ‘問36’で①と答えた人にお聞きします。あなたは国民健康保険税を支払っていますか。

- ① 支払っている ② ときどき支払っている ③ 支払っていない

問38 ‘問37’で②および③と答えた人にお聞きします。支払っていない理由を教えてください。(当てはまるものを全て選んでください。)

- ① 納付書の内容がわからないから ② 支払いの方法がわからないから
③ 税金の使われ方がわからないから ④ 支払いに行く時間がないから
⑤ 金額が高い(お金がない)から
⑥ その他(_____)

問39 あなたは、病気やケガで治療を受けるときに困ることはありますか。(当てはまるものを全て選んでください。)

- ① 医療費が高い
② どの病院(どの科)に行ったら良いかわからない
③ 言葉がわからないので不安である ④ 保険に加入していない
⑤ 困ることはない
⑥ その他(_____)

＜防災・防犯・交通安全＞

問40 地震・火事・事件・事故などの災害のとき、あなたが困ることはありますか。(当てはまるものを全て選んでください。)

- ① どこに連絡したらよいかわからない ② 連絡先の電話番号がわからない
③ 言葉がわからないので情報が得られない
④ 地域との関わりがないので情報が得られない
⑤ 言葉がわからないので救急車や消防車を呼ぶことができない
⑥ 言葉がわからないので警察に通報することができない
⑦ 「避難場所」を知らない ⑧ 家族の連絡方法を決めていない ⑨ 困ることはない
⑩ その他(_____)

問41 あなたは災害が起こったときにどのような方法で情報を得ますか。(当てはまるものを全て選んでください。)

- ① 家庭の電話 ② 携帯電話 ③ テレビ ④ ラジオ
⑤ インターネット ⑥ SNS ⑦ 近くに住んでいる日本人
⑧ 同じ国出身の友人・知人、またはその団体
⑨ その他 ()

<イベントへの参加について>

問42 小牧市には、たくさんのイベントがあります。あなたは参加したいと思いますか。

- ① 参加したい ② どちらかといえば参加したい
③ どちらかといえば参加したくない ④ 参加したくない
⑤ わからない

問43 '問42'で①および②と答えた人にお聞きします。あなたはどのようなイベントに参加したいと思いますか。(当てはまるものを全て選んでください。)

- ① 市民まつり・平成夏まつりなどの市のイベント
② 区・自治会などが行う地域のイベント
③ 小牧市国際交流協会(KIA)のイベント
④ 会社(勤務先)のイベント ⑤ 同じ国出身の仲間によるイベント
⑥ その他 ()

問44 '問42'で③および④と答えた人にお聞きします。イベントに参加したくない理由を教えてください。

- ① イベントがあることを知らないから ② 言葉がわからないから
③ 魅力を感じないから。興味がなから。 ④ 時間がないから
⑤ 日本人と関わりたくないから
⑥ その他 ()

<小牧市多文化共生推進プランについて>

問45 あなたは、小牧市多文化共生推進プランを知っていますか。

- ① 「めざすこと」も含め、詳しく知っている。
② スローガンだけ知っている ③ プランがあることは知っている
④ 知らない(このアンケートで初めて知った)

問46 '問45'で①～③と答えた人にお聞きします。どこで知りましたか。

- ① 市役所など(職員などから直接)
② 市や小牧市国際交流協会(KIA)の事業
③ 市ホームページ ④ わからない
⑤ その他 ()

<その他>

問47 あなたは日常生活で日本人と接する機会がありますか。

- ① ある ② ない

問48 '問47'で①と答えた人にお聞きします。その場所はどこですか。(当てはまるものを全て選んでください。)

- ① 会社(勤務先) ② 学校・保育園・幼稚園(子どもを通じた交流も含む)
③ ②以外の公共施設 ④ 自宅近く(区・自治会などの集まりも含む)
⑤ 習い事・趣味の活動 ⑥ よく利用するお店
⑦ その他(_____)

問49 あなたは外国人であることで差別されたと感じたことはありますか。

- ① ある ② どちらかといえばある
③ どちらかといえない ④ ない

問50 あなたは今後、小牧市で日本人とどのように交流したいと思いますか。

- ① 同じ地域の住民として交流し、仲良く暮らしていきたい。
② 交流や共生はしなくてもよい ③ わからない
④ その他(_____)

問51 あなたは毎日の生活の中で、地域になじみ、日本人と交流・共生していくためには、何が必要だと思いますか。(外国人に必要なこと・地域の日本人に必要なこと・市に必要なこと・会社(勤務先)に必要なことなど、自由に意見を書いてください。)

《ご協力いただき、大変ありがとうございました。》

記入が終わったら、このアンケートを一緒に入っていた封筒に入れて、3月23日(金)までに郵便ポストにいれてください(切手はいりません)。